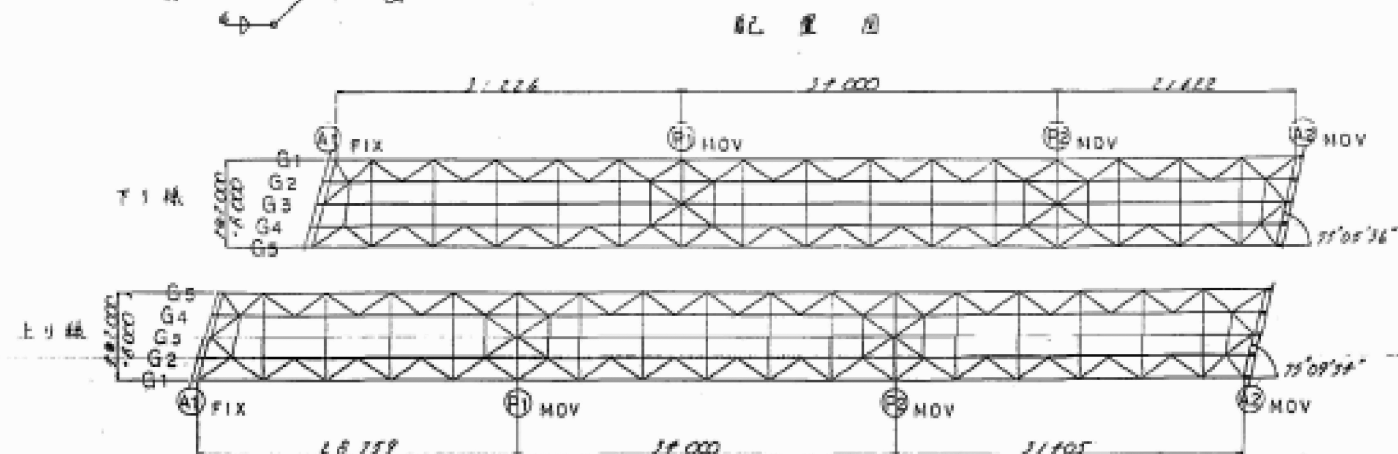
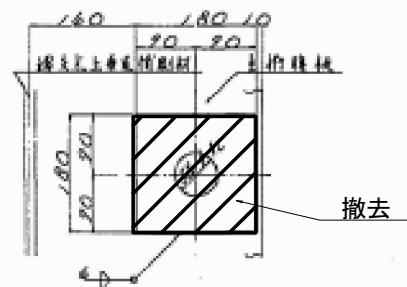
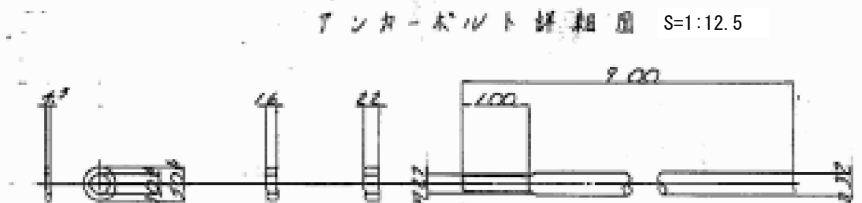
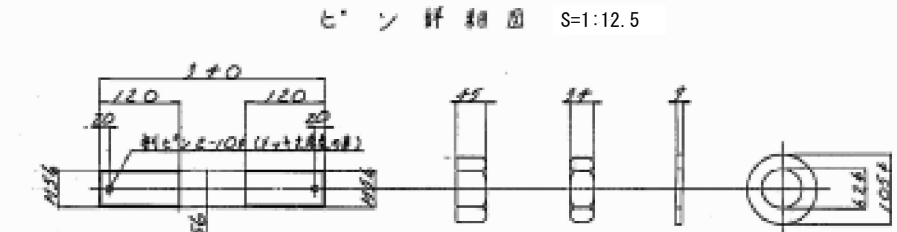
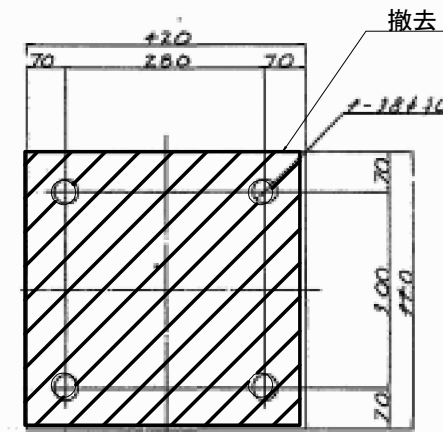
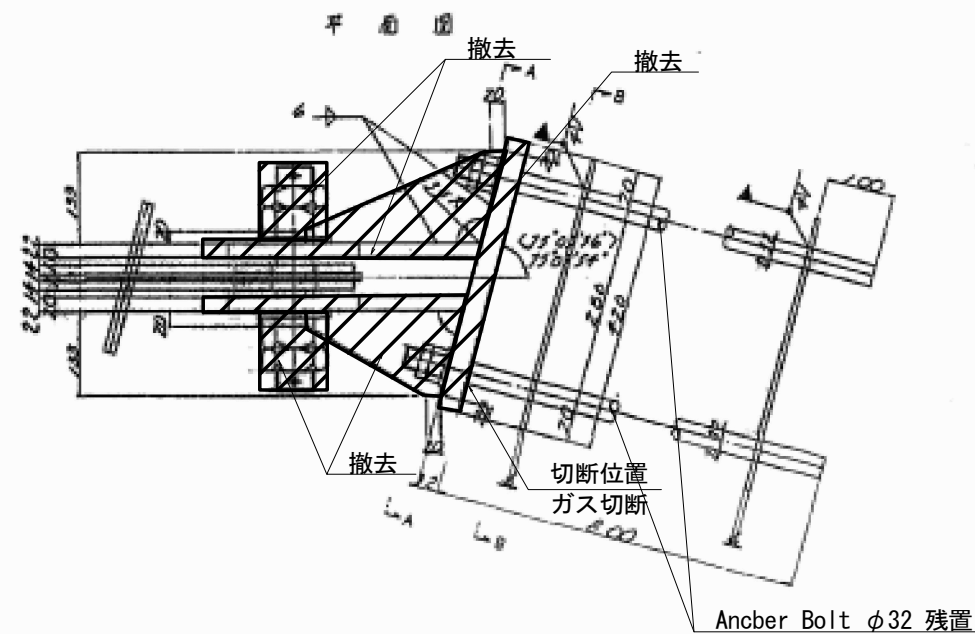



Line	時	H
下 り 旅	41	21.171
	42	21.215
	43	21.260
	44	21.304
	45	21.348
上 り 線	46	21.204
	47	21.248
	48	21.293
	49	21.337
	50	21.381



撤去材料(撤去数:5)

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1-BASE PL | 440x32x420 (SM400A) |
| 1- PL     | 400x22x418 (SS400)  |
| 1-PL      | 400x22x397 (SS400)  |
| 2-PL      | 180x14x180 (SS400)  |
| 2-RIB PL  | 133x16x299 (SS400)  |
| 2-RIB PL  | 133x16x201 (SS400)  |
| 1-PIN     | φ 56x340 (S35C)     |
| 2-NUT     | M56 (第1種) (SS400)   |
| 2-NUT     | M56 (第3種) (SS400)   |
| 2-座金      | φ 105x9 (SS400)     |
| 2-割ピン     | φ 10x100 (SWRM10)   |
| 4-NUT     | M27 (第1種) (SS400)   |
| 4-NUT     | M27 (第3種) (SS400)   |
| 4-座金      | φ 50x4.5 (SS400)    |

注記

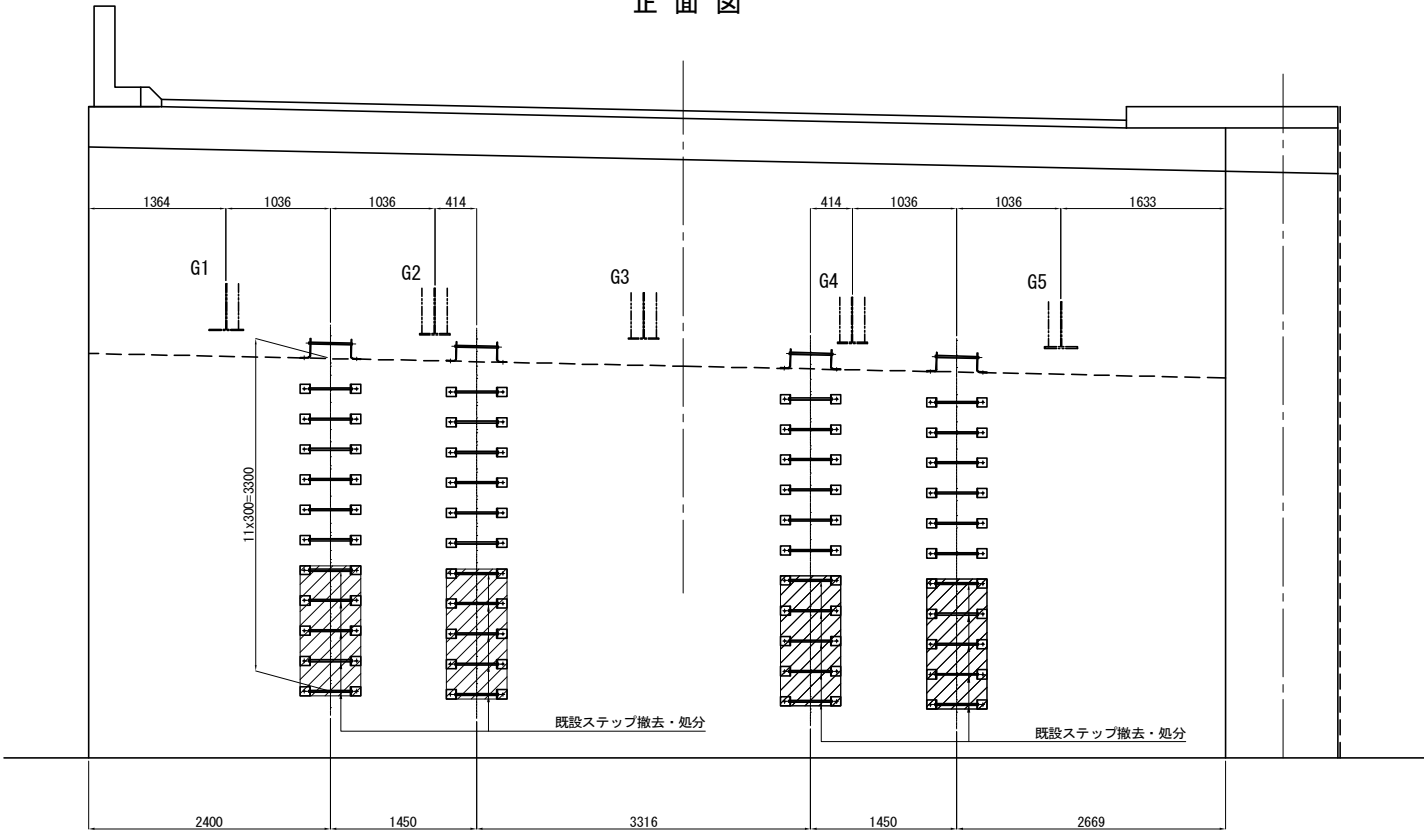
1. 完成図を基に作成している。
2. は、撤去部を示す。また、既設撤去後新設充填モルタル部を示す。
3. アンカーボルトの切断面は、防錆処理を行うこと。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類		中妻高架橋(上り線) A2橋台 撤去工 既設耐震補強工事	
縮 尺	図示	図面番号	28/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

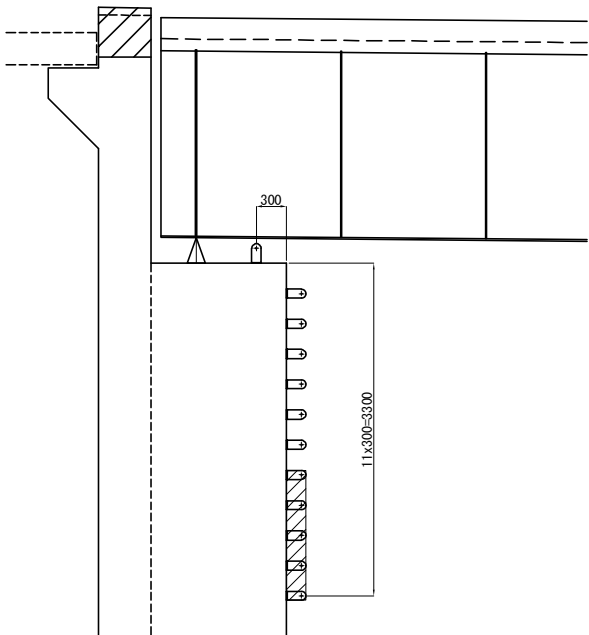
中妻高架橋(上り線) A1橋台 撤去工 検査路B 詳細図 S=1:75

撤去図

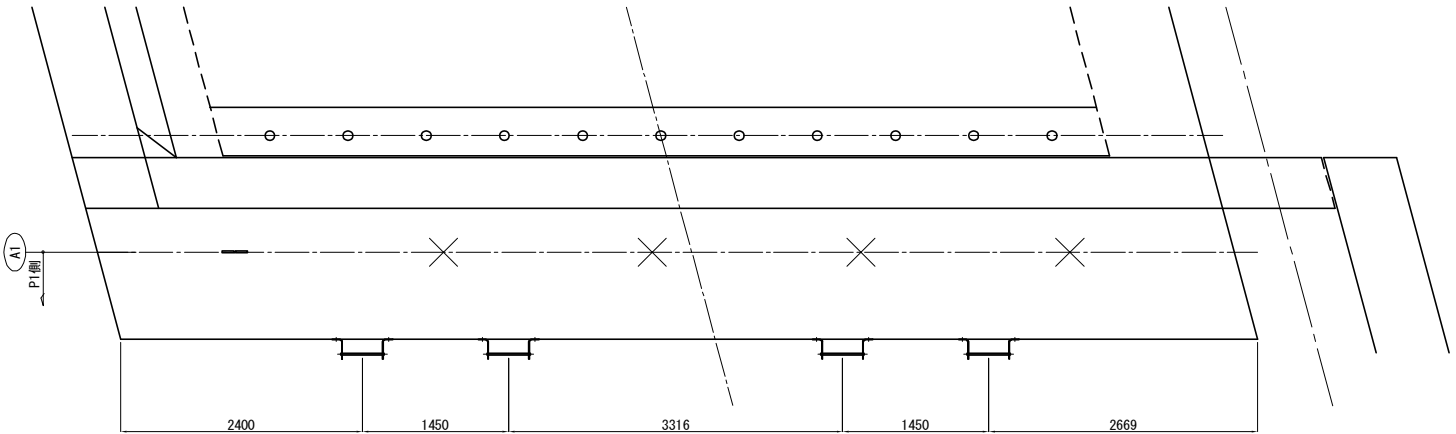
正面図



側面図



平面図



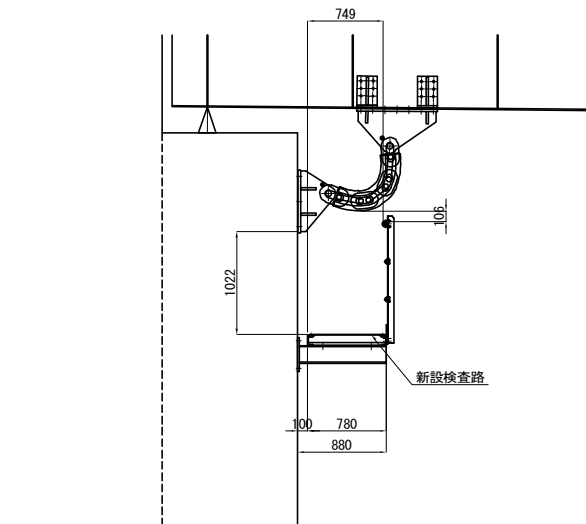
撤去・処分材料 (n=20)  
2-FB 90 x 6 x 289  
1-RB 19 φ x 432

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
  - ハッチングのステップは撤去する部分とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事				
図面の種類	中妻高架橋(上り線) A1橋台 撤去工 検査路B 詳細図			
	縮尺	図示	図面番号	29/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

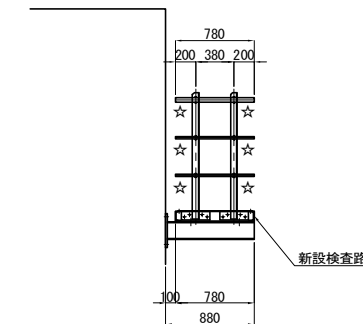


側面図 (2-2)



- 側面図 (1 - 1)

側面図 (1 - 1)



手摺り曲げ加工詳細 S=1:50

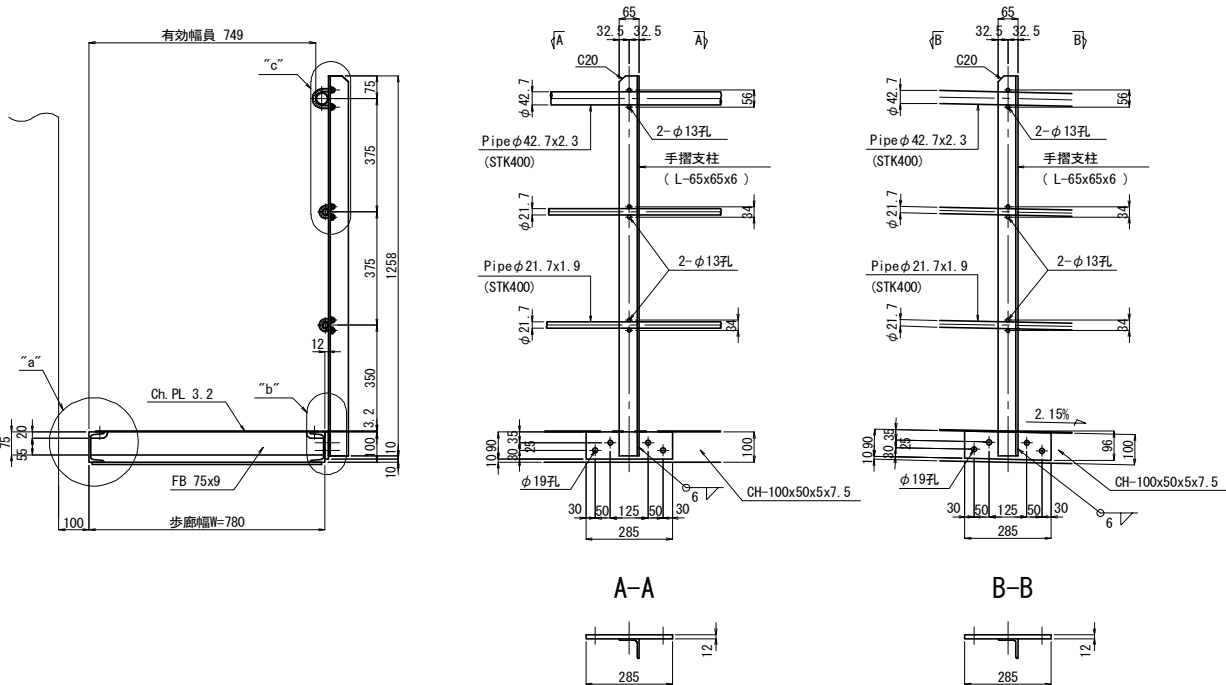


- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
  2. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。
  3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

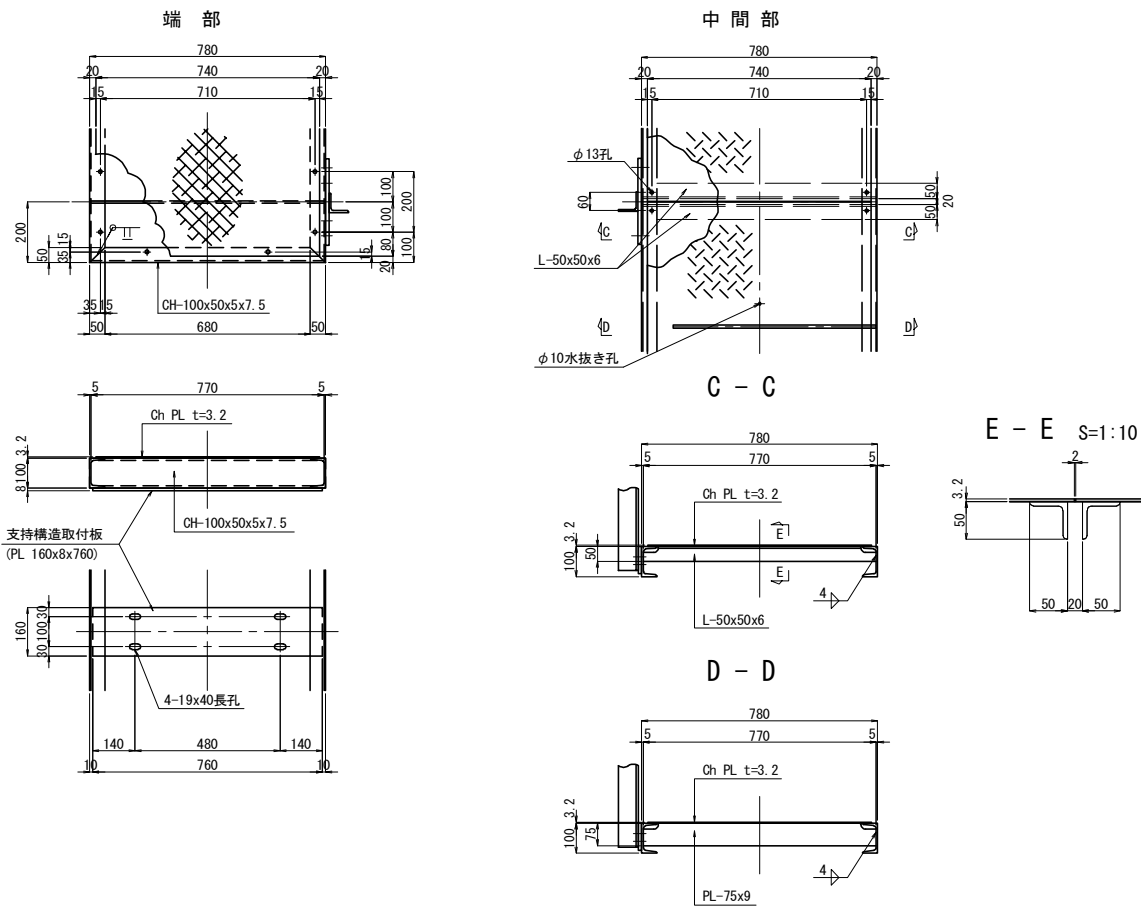
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	中妻高架橋(上り線) A1橋台 設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	30/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

中妻高架橋(上り線) A1橋台 設置工 検査路B 詳細図(その2) S=1:25

歩廊断面 及び 支柱詳細図



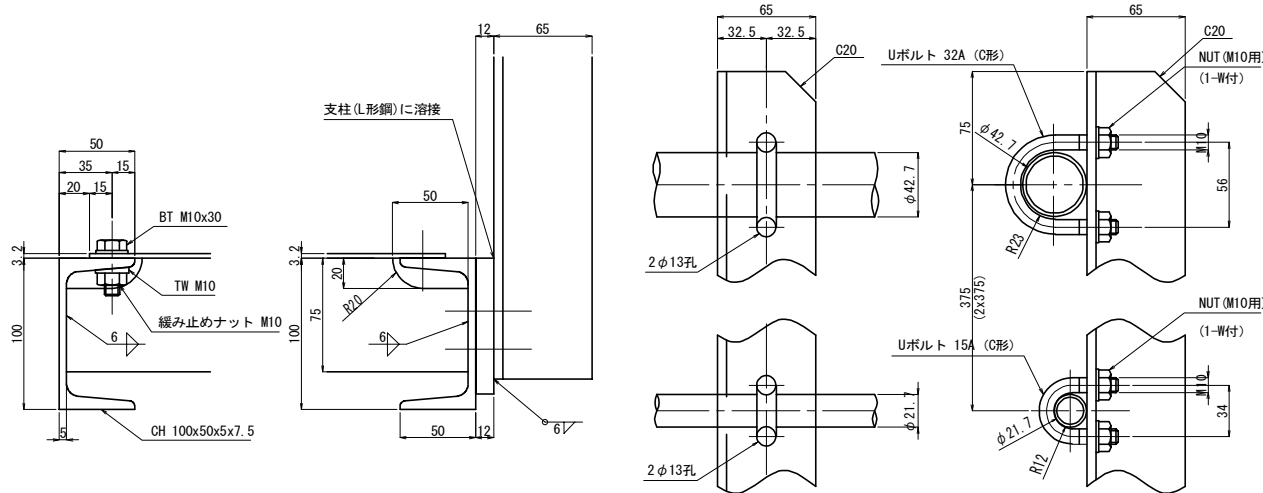
歩廊詳細



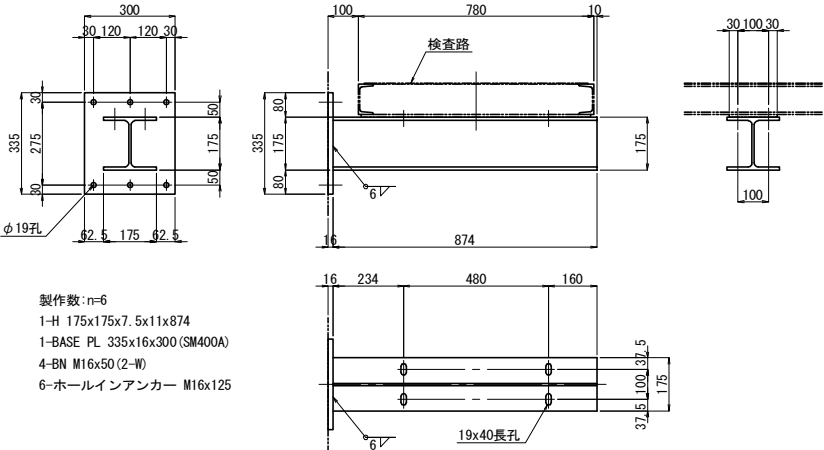
“a”部詳細 S=1:5

“b”部詳細 S=1:5

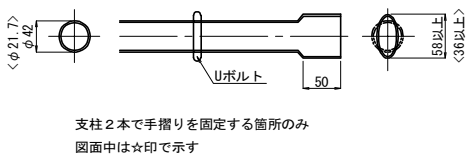
“c”部詳細 S=1:5



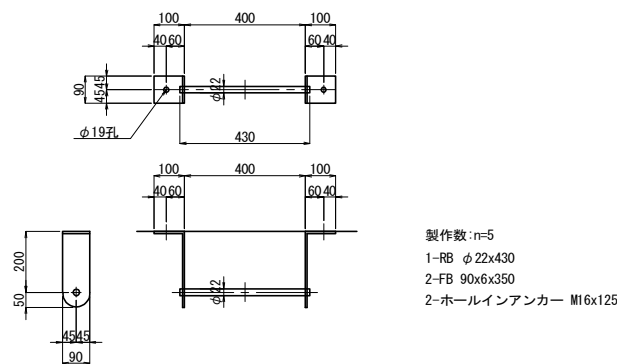
新設ブラケット詳細図  
BK1



手摺抜け落ち防止加工詳細 S=1:10

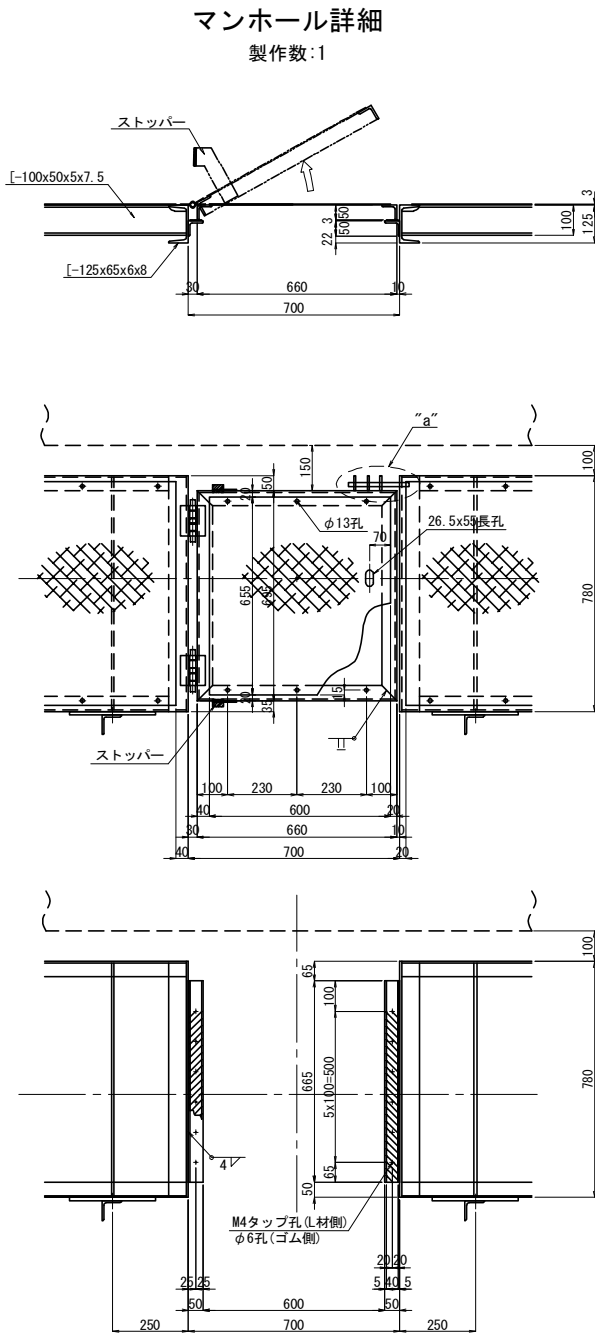


ステップ詳細

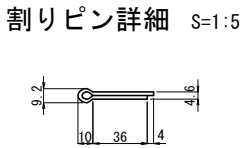
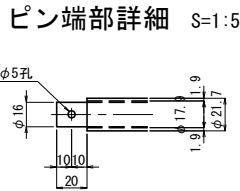
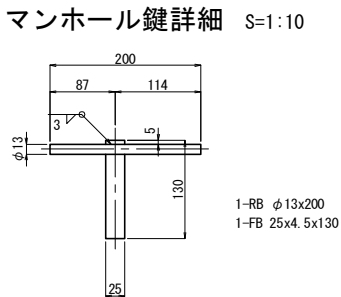
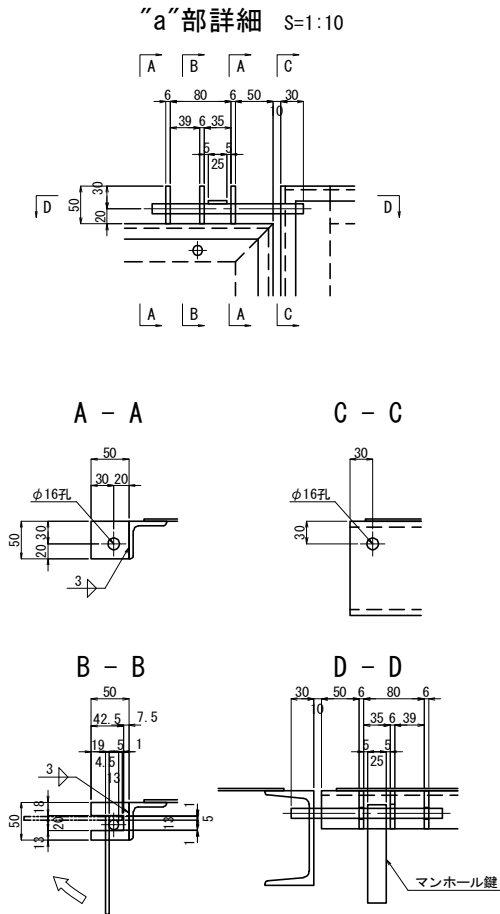
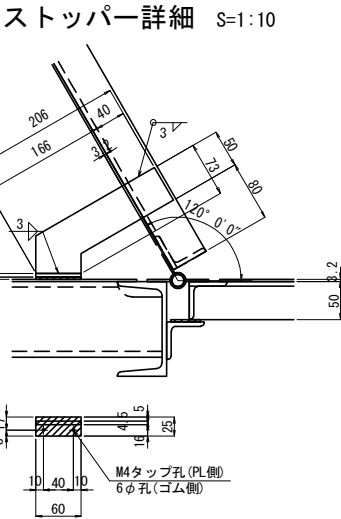
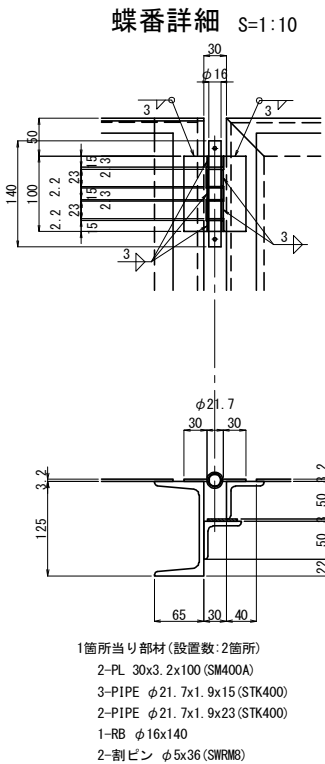


注記  
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
2. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。  
垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	中妻高架橋(上り線)		
	A1橋台 設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	31/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



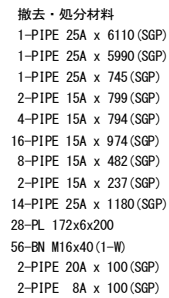
- 1-L 50x50x6x665  
1-ゴム 40x3x665 (エチレンプロピレンゴム)  
6-皿ネジ M4x8
- 1-Ch. PL 65x3. 2x600 (SS400相当品)  
2-L 50x50x6x660  
2-L 50x50x6x695  
6-BN M10x30 (2-W)  
3-FB 50x6x50
- 1-L 50x50x6x665  
1-ゴム 40x3x665 (エチレンプロピレンゴム)  
6-皿ネジ M4x8



- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
  - ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。
  - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
- 亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	中妻高架橋(上り線)		
	A1橋台 設置工 検査路B 詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	32/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

正面図

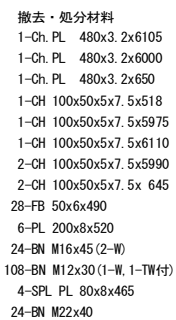


一時撤去材料

1-PIPE 25A x 1296 (SGP)  
1-PIPE 25A x 297 (SGP)  
1-PIPE 25A x 988 (SGP)  
1-PIPE 25A x 321 (SGP)  
1-PIPE 25A x 519 (SGP)  
2-PIPE 15A x 331 (SGP)  
2-PIPE 15A x 722 (SGP)  
2-PIPE 15A x 129 (SGP)  
2-PIPE 15A x 121 (SGP)  
2-PIPE 15A x 153 (SGP)  
2-PIPE 15A x 315 (SGP)  
2-PIPE 15A x 353 (SGP)

10-PL 170x6x200  
20-BN M16x40 (1-Ⅱ)

下り線



Technical drawing of a staircase section showing dimensions in millimeters. The drawing includes a vertical wall on the left, a staircase with four steps, and a horizontal landing area. Dimensions are indicated with leader lines and numbers: 150, 350, 100, 500, 29, 100, 360, 370, 370, 1200, and 1100.

一時撤去材料  
1-CH. PL 680x3. 2x1330  
1-CH. PL 480x3. 2x1112  
1-CH 100x50x5x7. 5x2456  
1-CH 100x50x5x7. 5x1262  
1-CH 100x50x5x7. 5x304  
1-CH 100x50x5x7. 5x950  
1-CH 100x50x5x7. 5x283  
1-CH 100x50x5x7. 5x500  
3-FB 50x6x490  
1-PL 200x8x520  
1-PL 200x8x720  
8-BN M16x45 (2-W)  
24-BN M12x30 (1-W, 1-TW付)

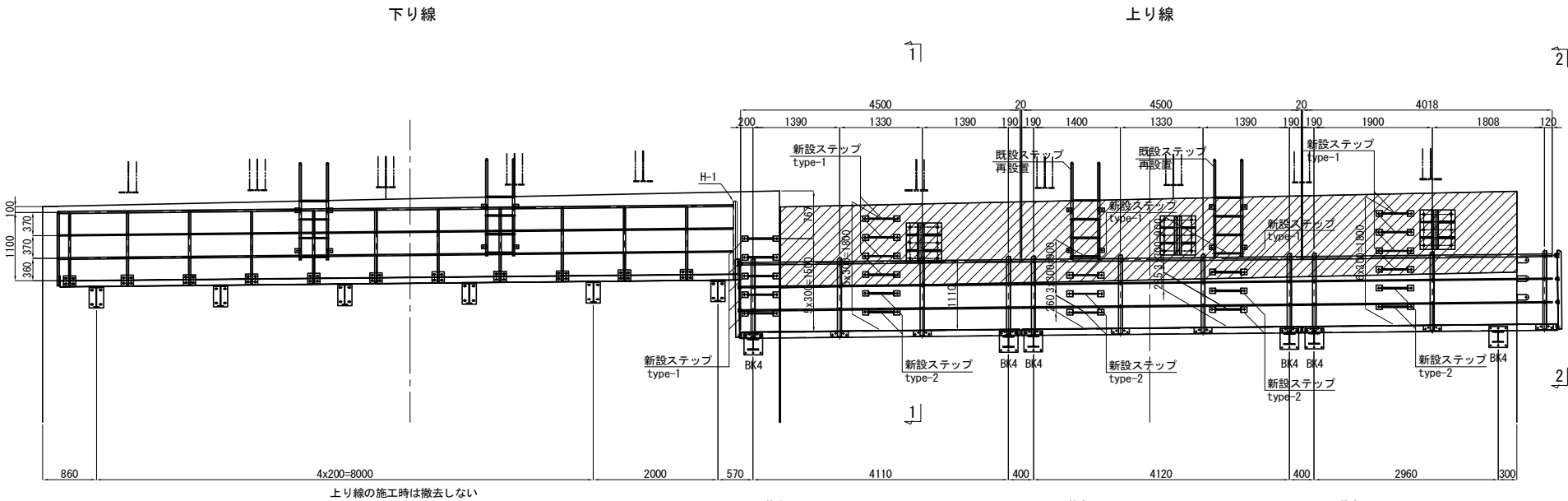
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
中妻高架橋(上り線)			
図面の種類		A2橋台 撤去工 検査路B 詳細図	
縮	尺	図示	図面番号 33/72
設計会社名		大日本ダイヤコンサルタント株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所	

中妻高架橋(上り線) A2橋台 設置工 検査路B 詳細図(その1) S=1:100

改造図

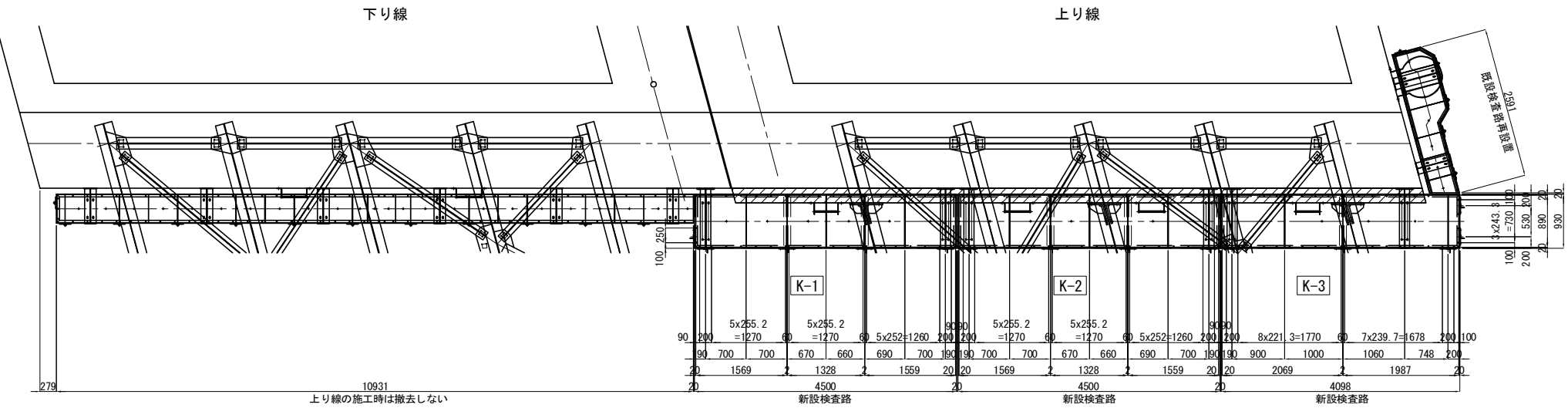
正面図

側面図(2-2)

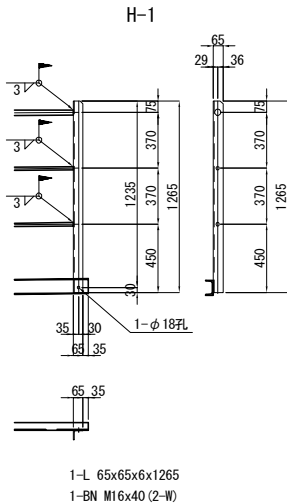


平面図

側面図(1-1)



手摺切断部詳細図 S=1:50



注記

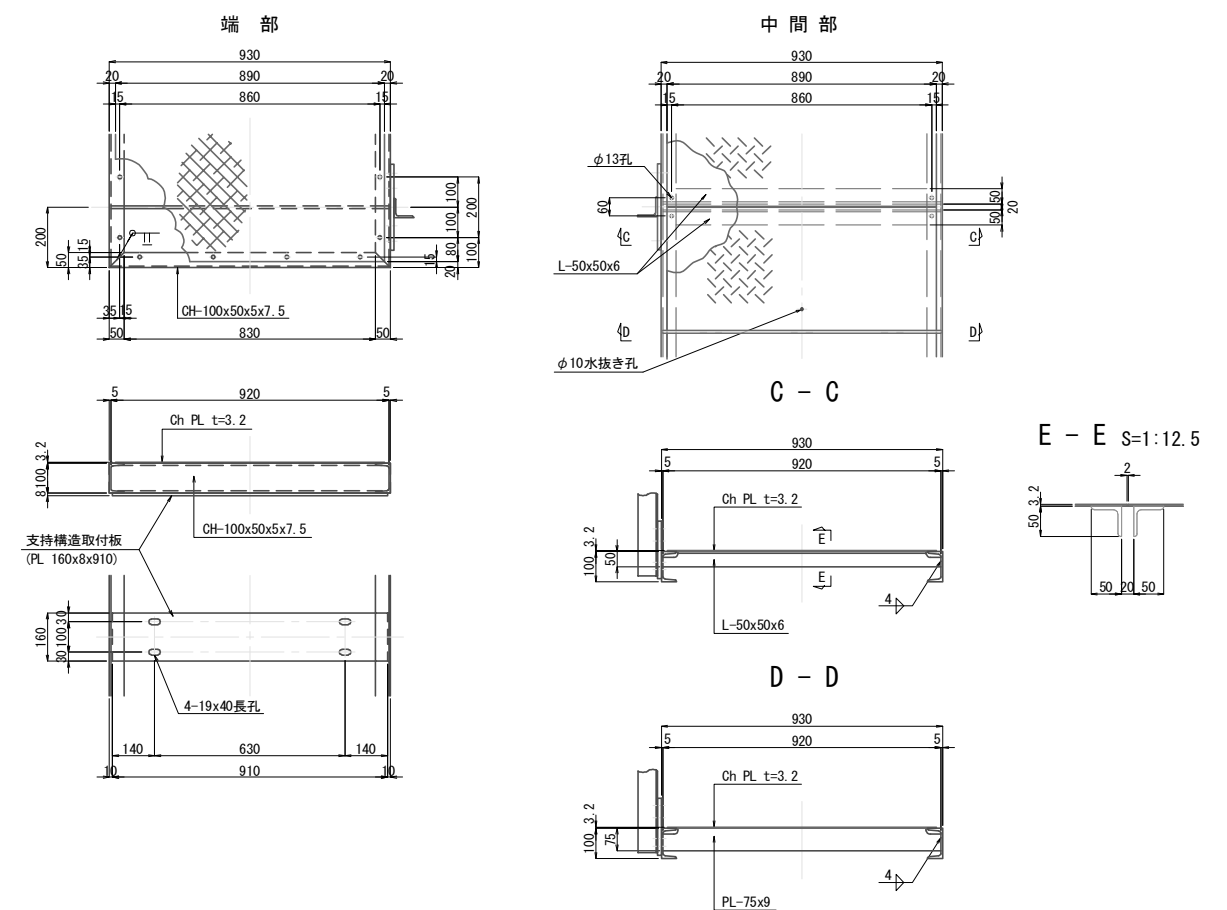
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。
- 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。

垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。

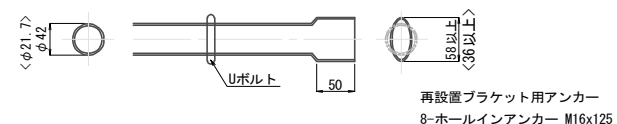
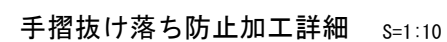
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	中妻高架橋(上り線)		
	A2橋台 設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	34/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

## 歩廊詳細



### 新設ブラケット詳細図



支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ  
図面中は☆印で示す

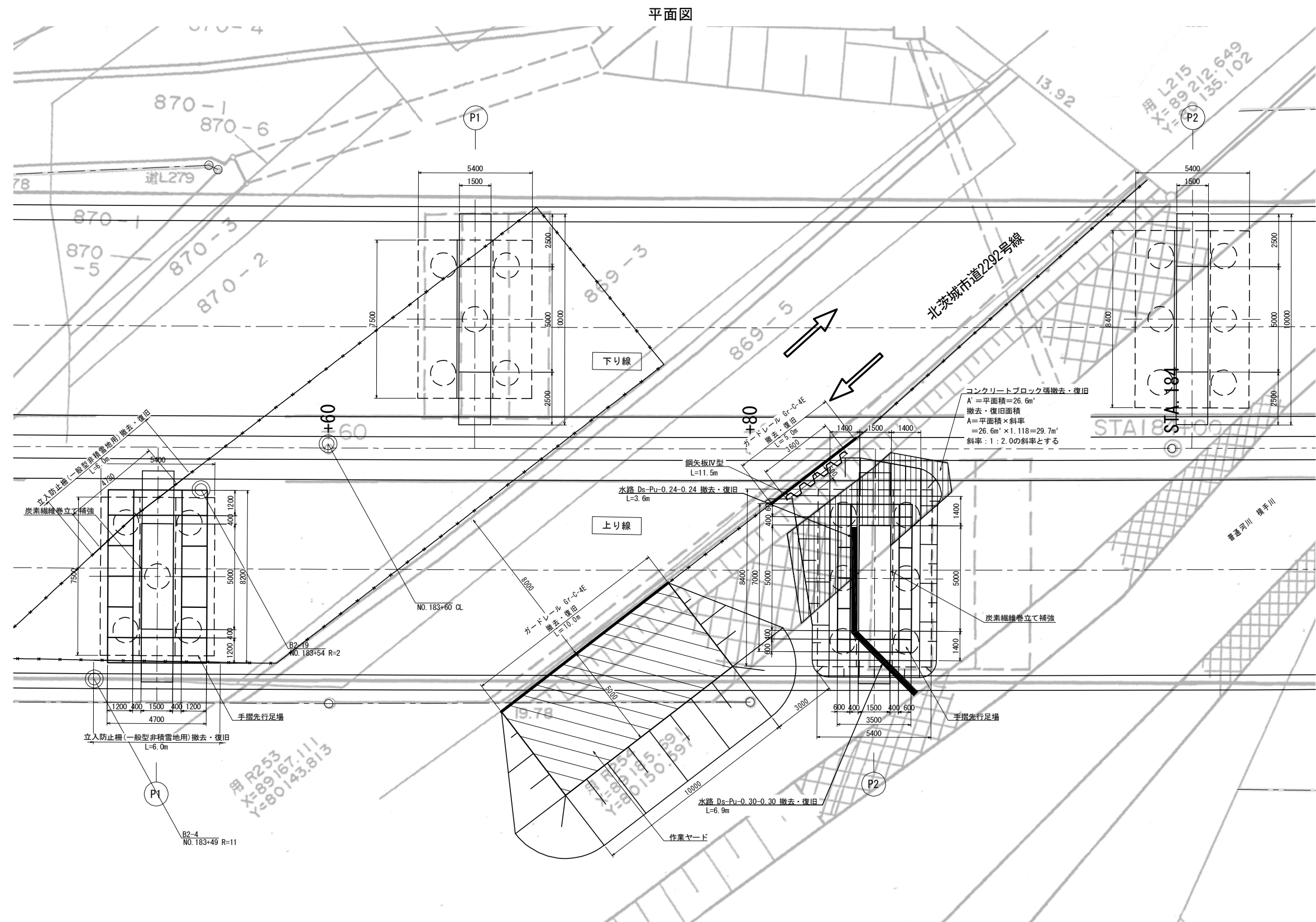
再設置ブラケット用アンカー  
8-ホールインアンカー M16x125

注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ボルト・ナットは経目止め機能のあるものを使用する。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	中妻高架橋(上り線) A2橋台 設置工 検査図B 詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	35/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



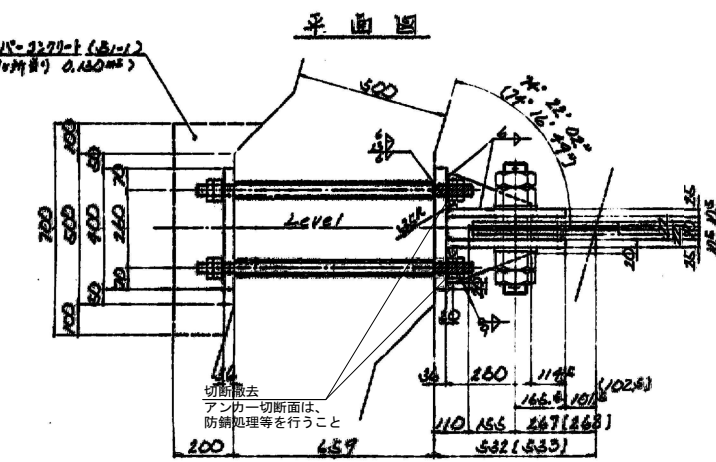
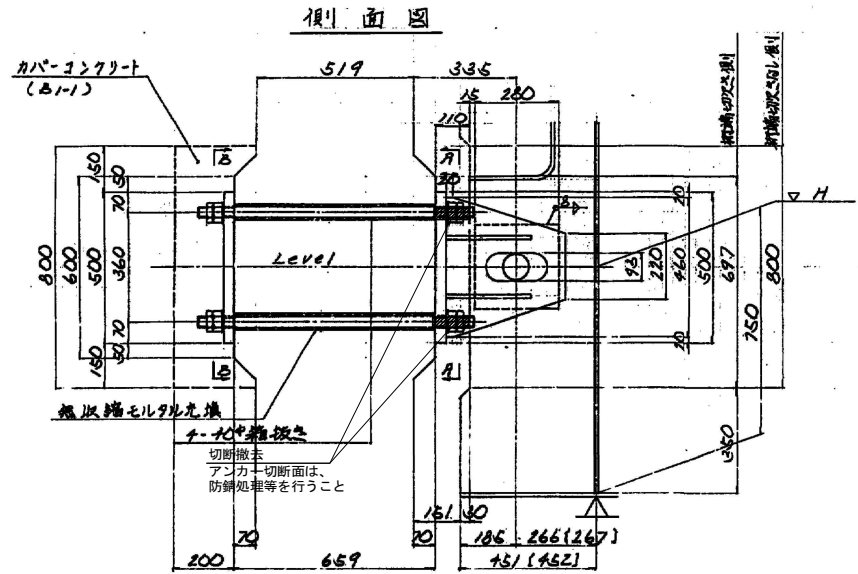


注記  
1. 水路、フェンス等の仕様は管理平面図からの読み取りである。  
構造物掘削等と干渉する水路やフェンス等は、現地に設置され  
ている形状や規格と同等品を再設置すること。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	中妻高架橋(上り線)		
	撤去・再設置図		
縮 尺	図 示	図面番号	37/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

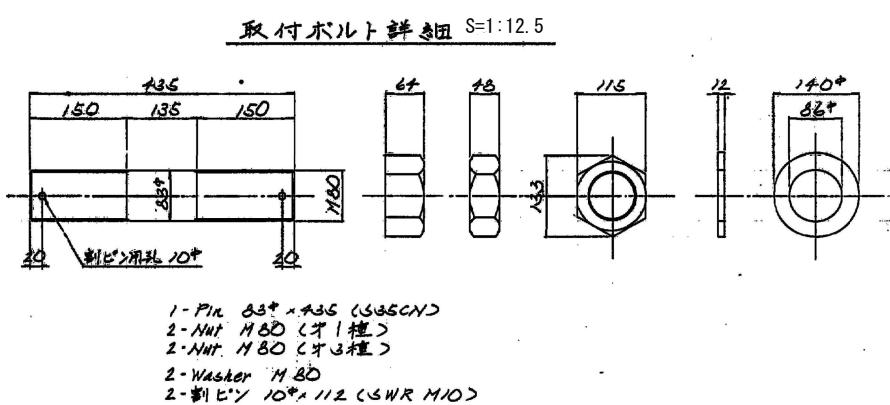
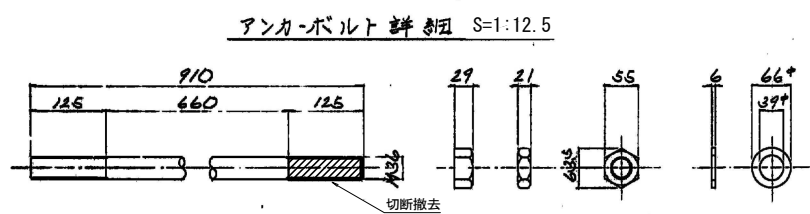
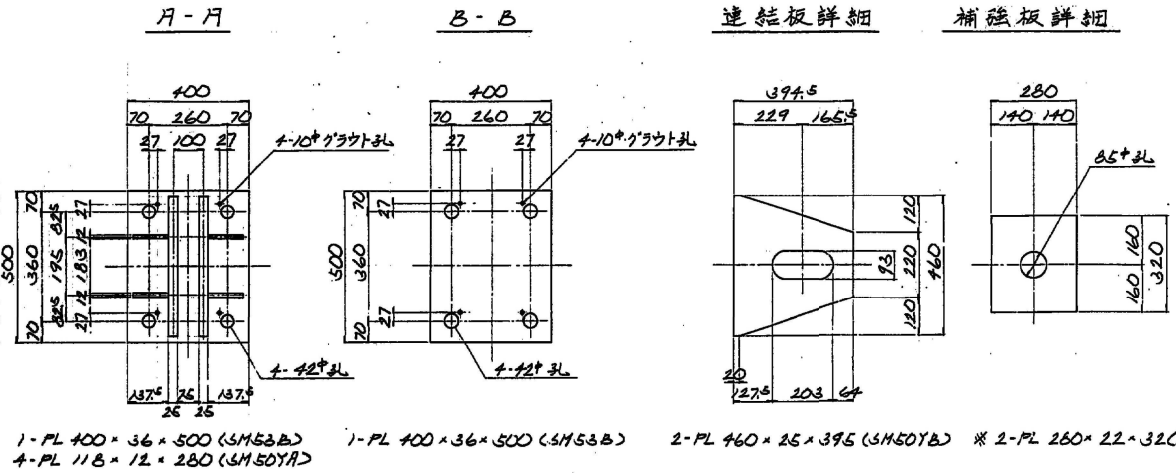


花園川橋(上り線) A1橋台 撤去工 既設耐震連結装置  
撤去 S=1:25



寸法表

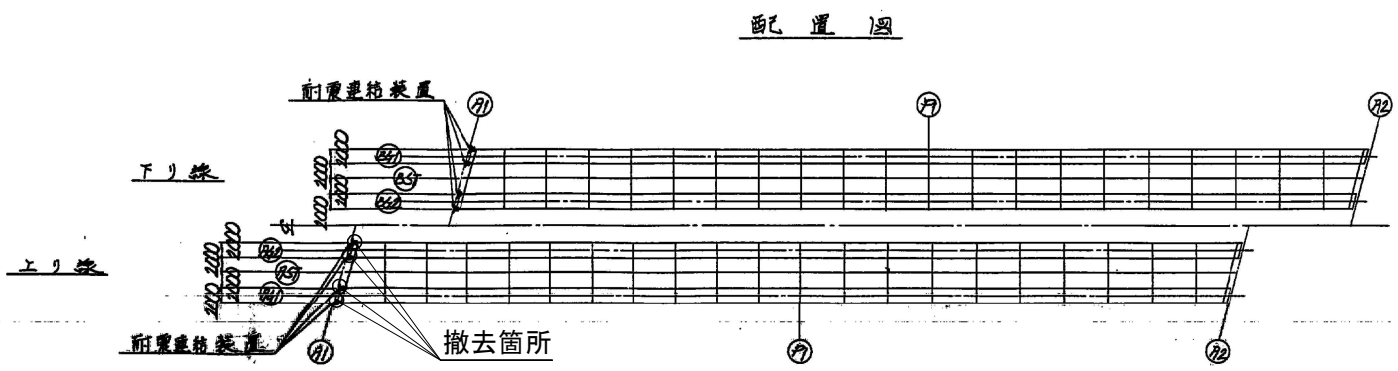
	H
下り線	
B41-L	19.395
E-R	19.395
B42-L	19.457
E-R	19.456
上り線	
A42-L	19.276
E-R	19.273
A41-L	19.385
E-R	19.383



カバ-コンクリート数量表

種別	単位	場所	計
下り			
A1	m³	0.130	0.52
A2		-	-
計			
上り			
A1		+	0.52
A2		-	-
計			
合計		3	1.04

- 注記
- 荷重係数等は設計図書に準ずる。
  - 部材の表面処理は溶融亜鉛メッキとする。  
メッキはJIS H 8641の HED55とする。  
尚、ボルト類は HED 35 とする。
  - 主筋等と溶接される部材 (※印 only) は溶接とする。又、数量は主筋と計上する。  
+ ( ) 内数値は下り線と示す。



常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線) A1橋台 撤去工 既設耐震連結装置		
縮 尺	図示	図面番号	38/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

注記  
1. 完成図を基に作成している。

補強トラス平面図 Ⅴ- S=1:75

花園川橋(上り線) A2橋台 撤去工 既設耐震連結装置 S=1:25

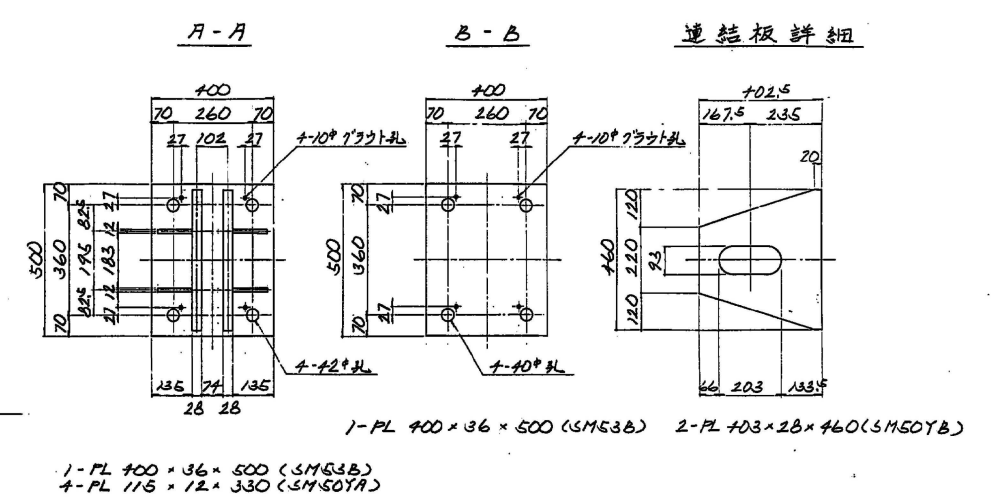
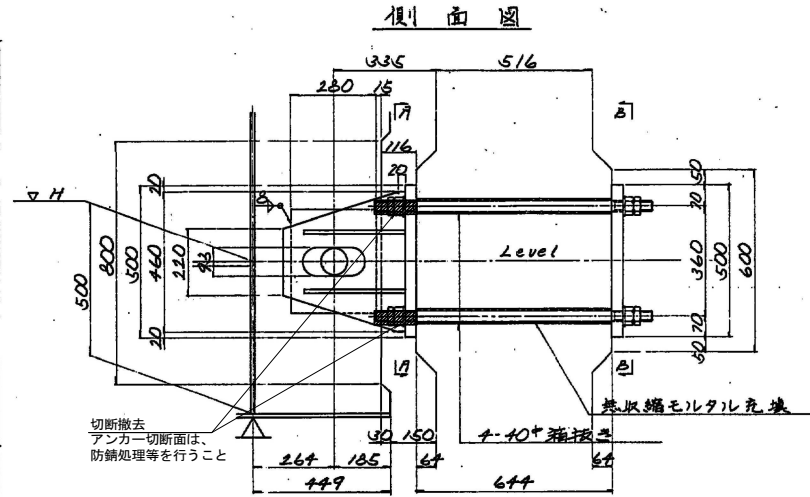
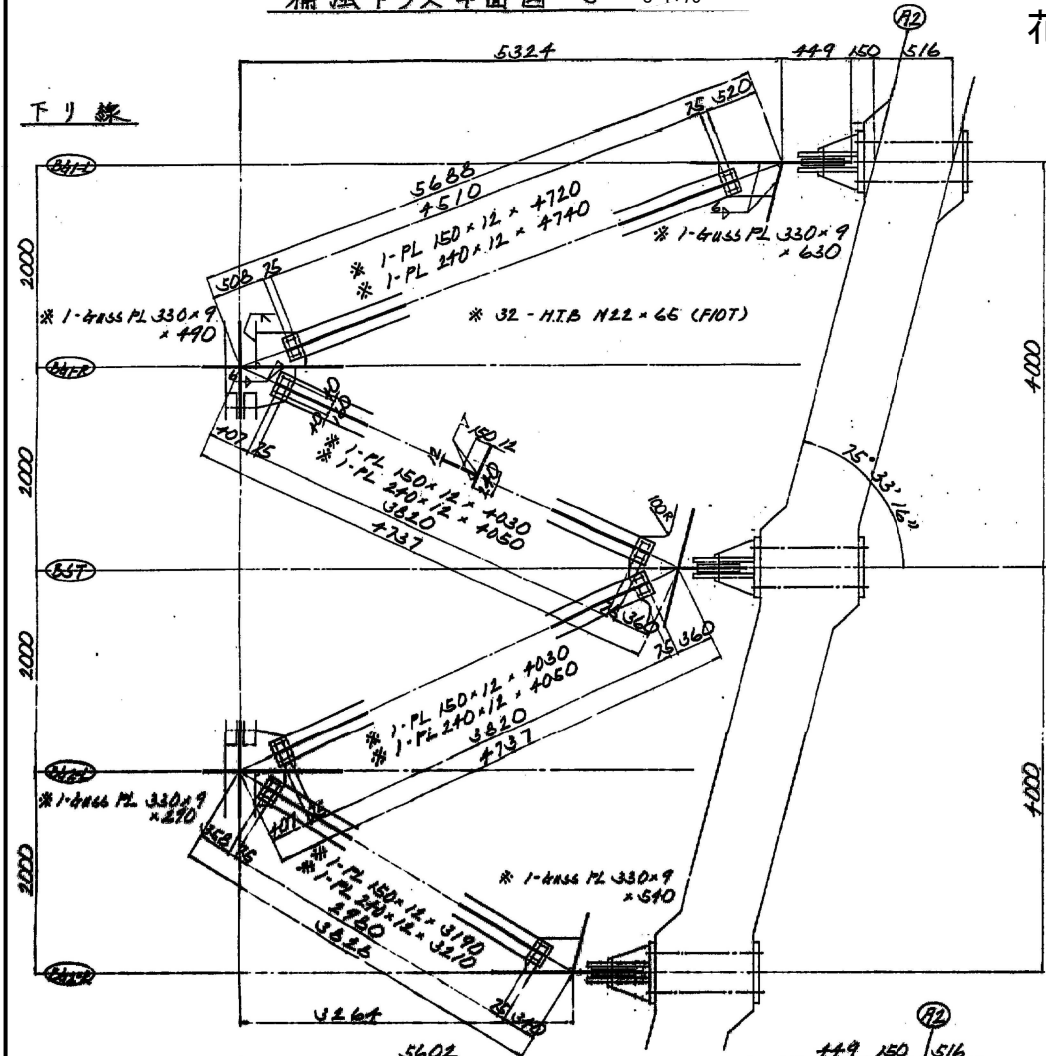
撤去

側面圖

A-A

B - B

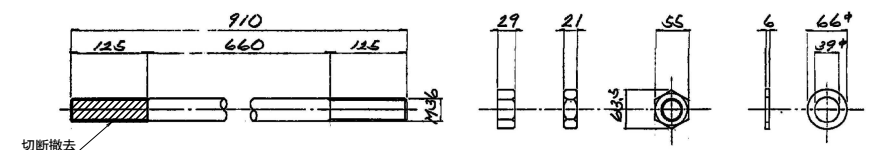
### 連結板詳細



1-PL 400 x 36 x 500 (SM53B)  
4-PL 115 x 12 x 330 (SM50YA)

1-PL 400 x 36 x 500 (SM53B) 2-PL 403 x 28 x 460 (SM50TB)

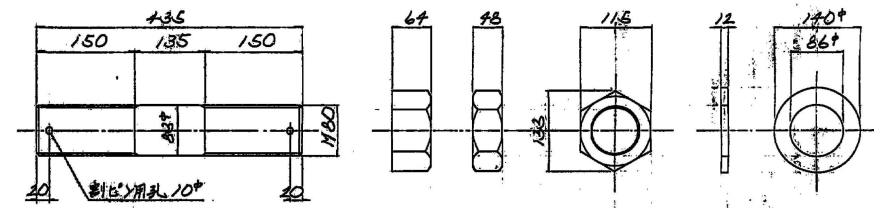
アンカーボルト詳細 S=1:12.5



切断撤去

1-Anchor Bolt 36\* x 910 → アンカーボルトφ36×125撤去  
2-Nut M36 (才1種)  
2-Nut M36 (才3種)  
2-Washer M36

取付ボルト詳細 S=1:12.5

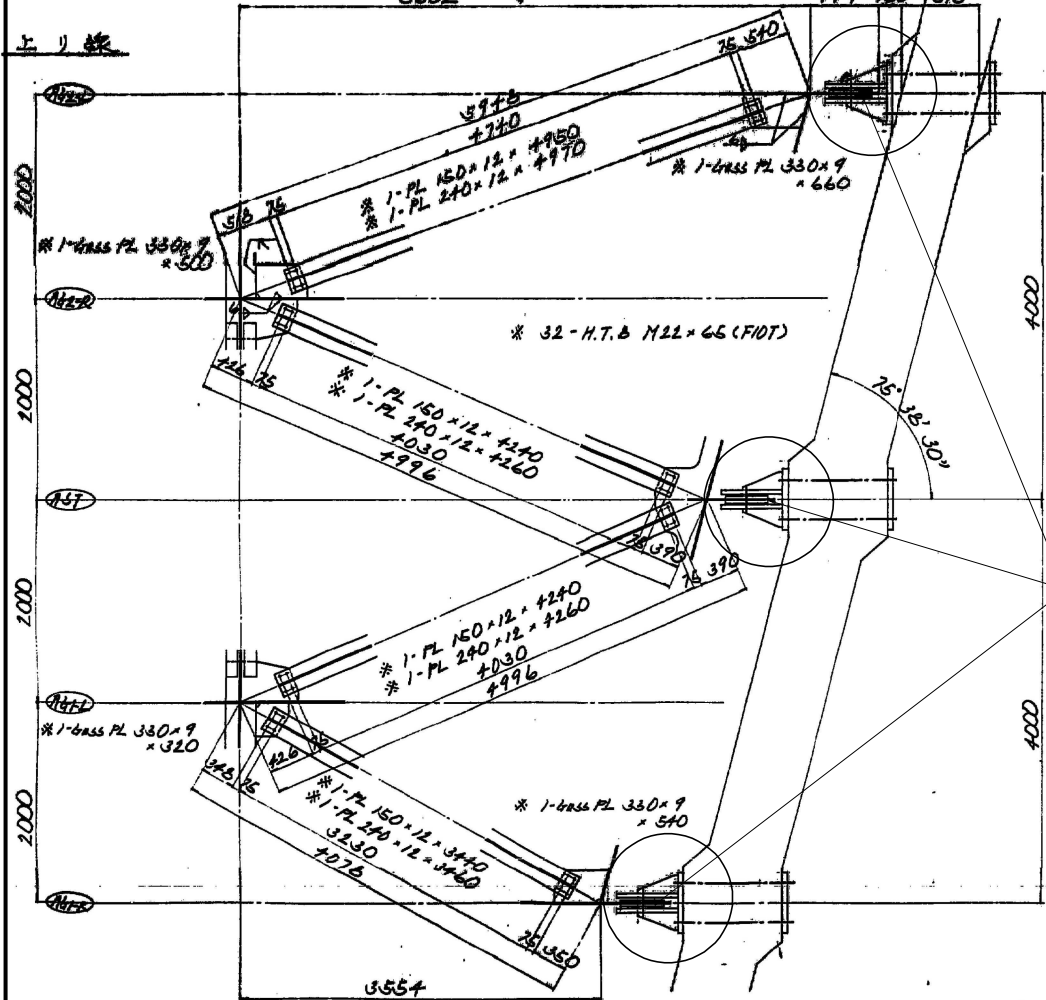


- 1-Pin 83 $\phi$  x 435 (S35CN)
- 2-Nut M80 (牙1種)
- 2-Nut M80 (牙3種)
- 2-Washer M80
- 2-割ヒソ 10 $\phi$  x 112 (SWRM10)

注記

1. 特記以外の残量は $2.55 \times 16$ とする。
2. 十印は H.T. Bolt M22 (FIOT) を用いる。
3. 必印の部材は各板とし、数量は  
を備体で計上する。
4. 必印以外の部材の表面処理は  
溶融亜鉛メッキとする。メッキは JIS H 8641  
H2D55 とする。
5. 前、ボルト類は H2D35 とする。
6. 特記なきスカラーフは R30 とする。

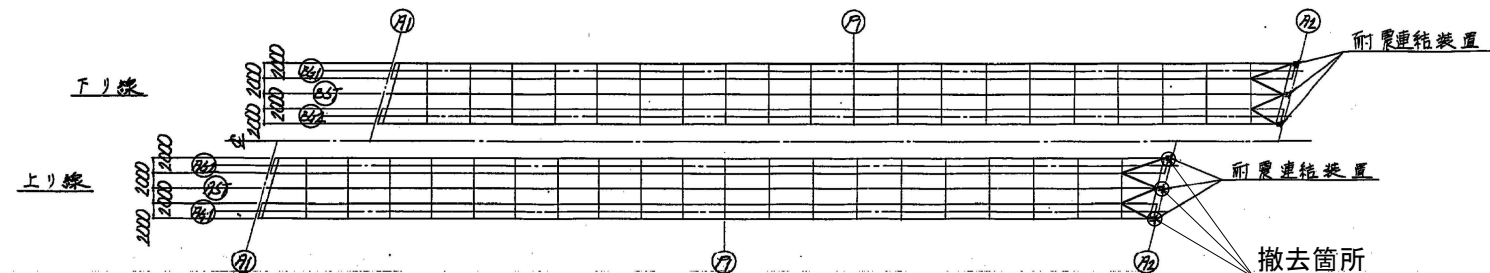
注記)  
1. 完成図を基に作成している。



撤去箇所

下り線

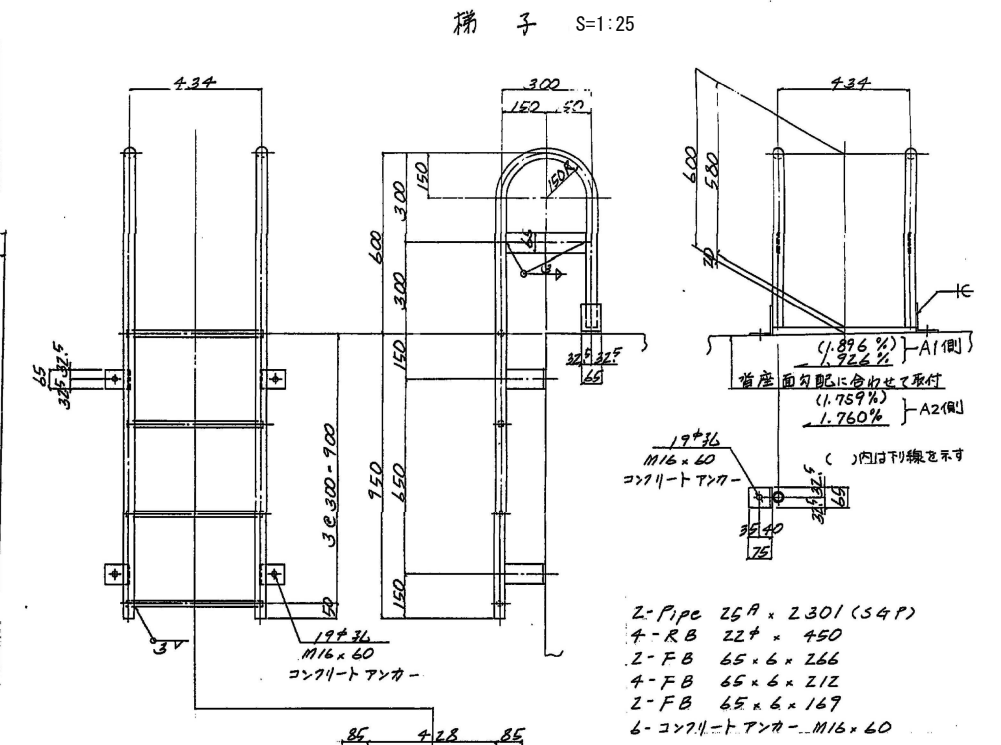
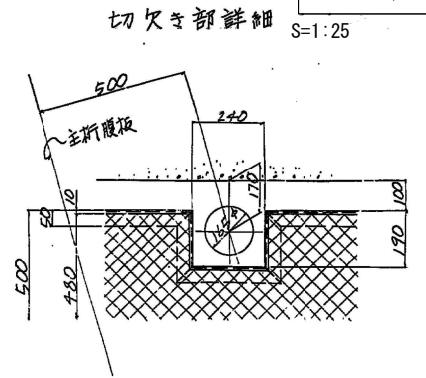
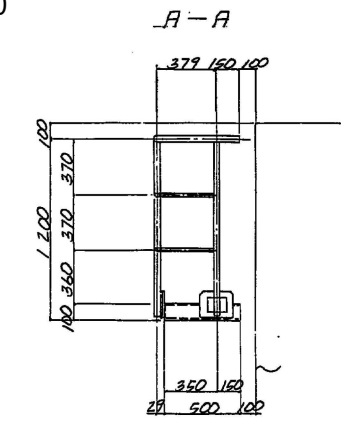
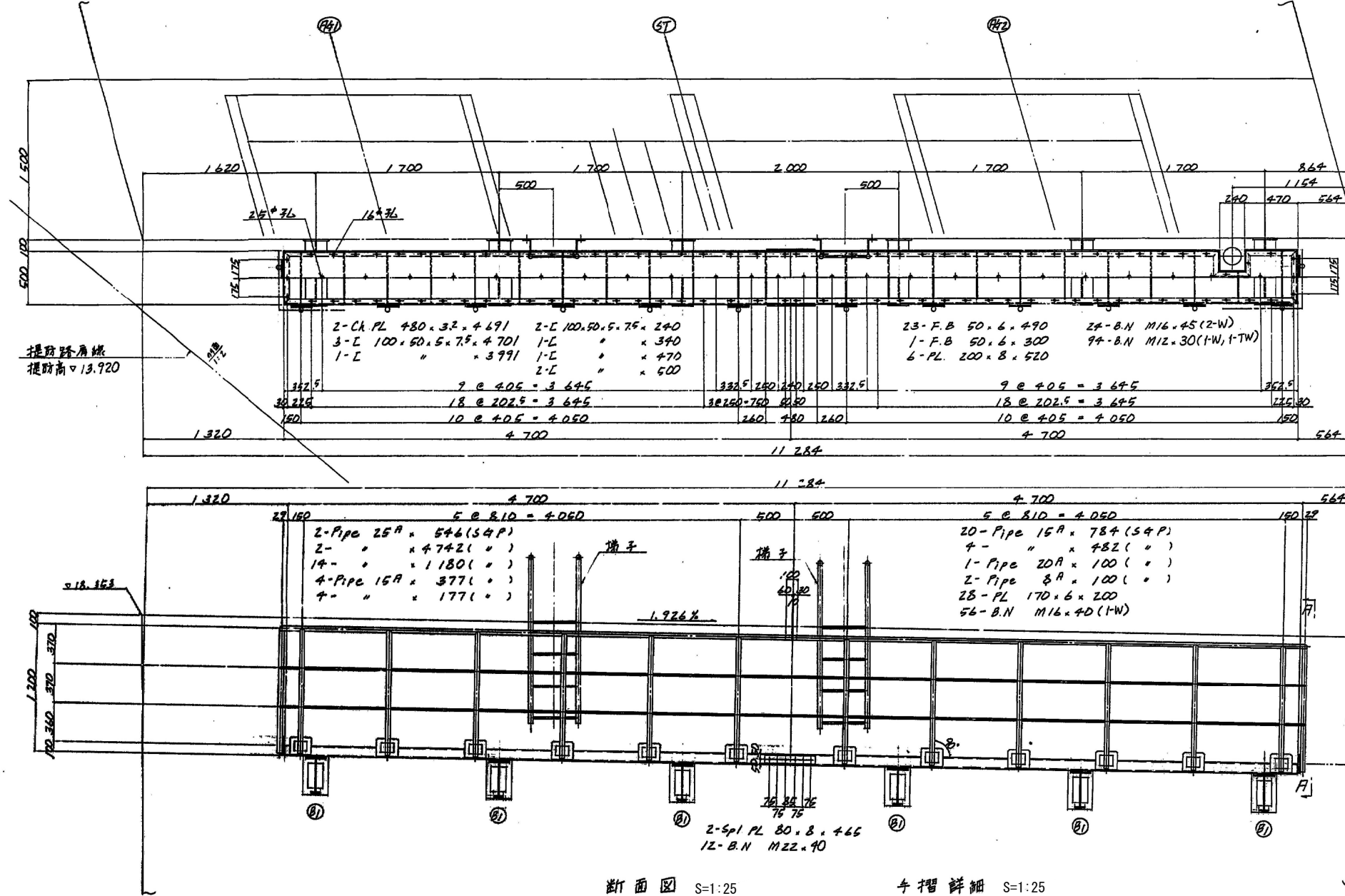
上り線



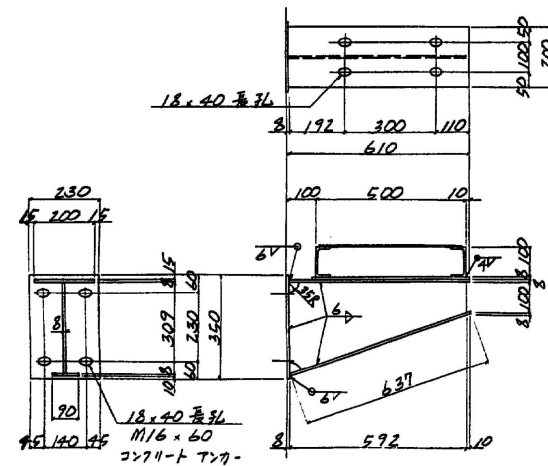
注記)  
1. 完成図を基に作成している。

常磐自動車道			
関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線) A2橋台 撤去工 既設耐震連結装置		
縮 尺	図示	図面番号	39/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

花園川橋(上り線) A1橋台 撤去工 検査路B 詳細図 S=1:50

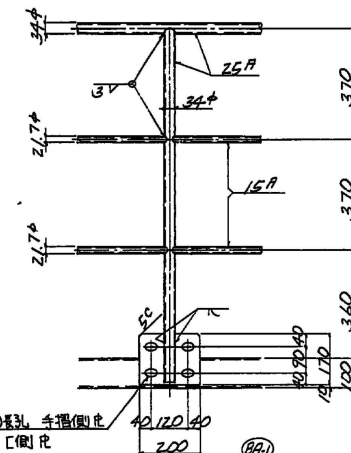


ブラケット⑧詳細 S=1:25

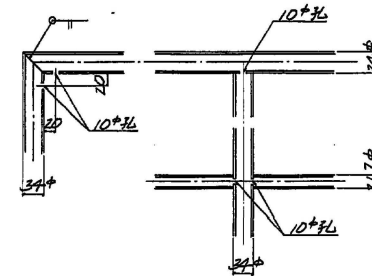


1-U Flg PL 200 x 8 x 6.02  
 1-Web PL 309 x 8 x 5.92  
 1-L Flg PL 90 x 8 x 6.37  
 1-Bas. PL 230 x 8 x 3.50  
 4-コンクリートアンカー M16 x 60

手摺詳細 S=1:25

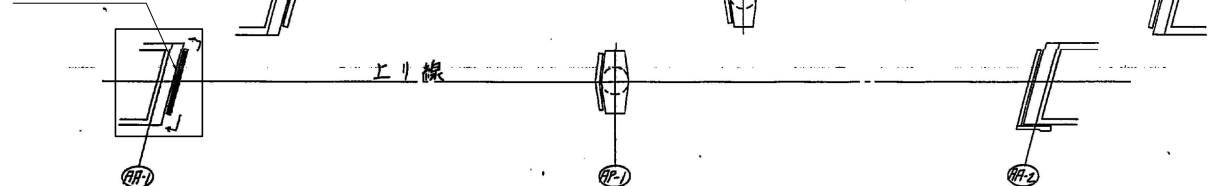


空気抜き孔詳細 S=1:12.5



配置図

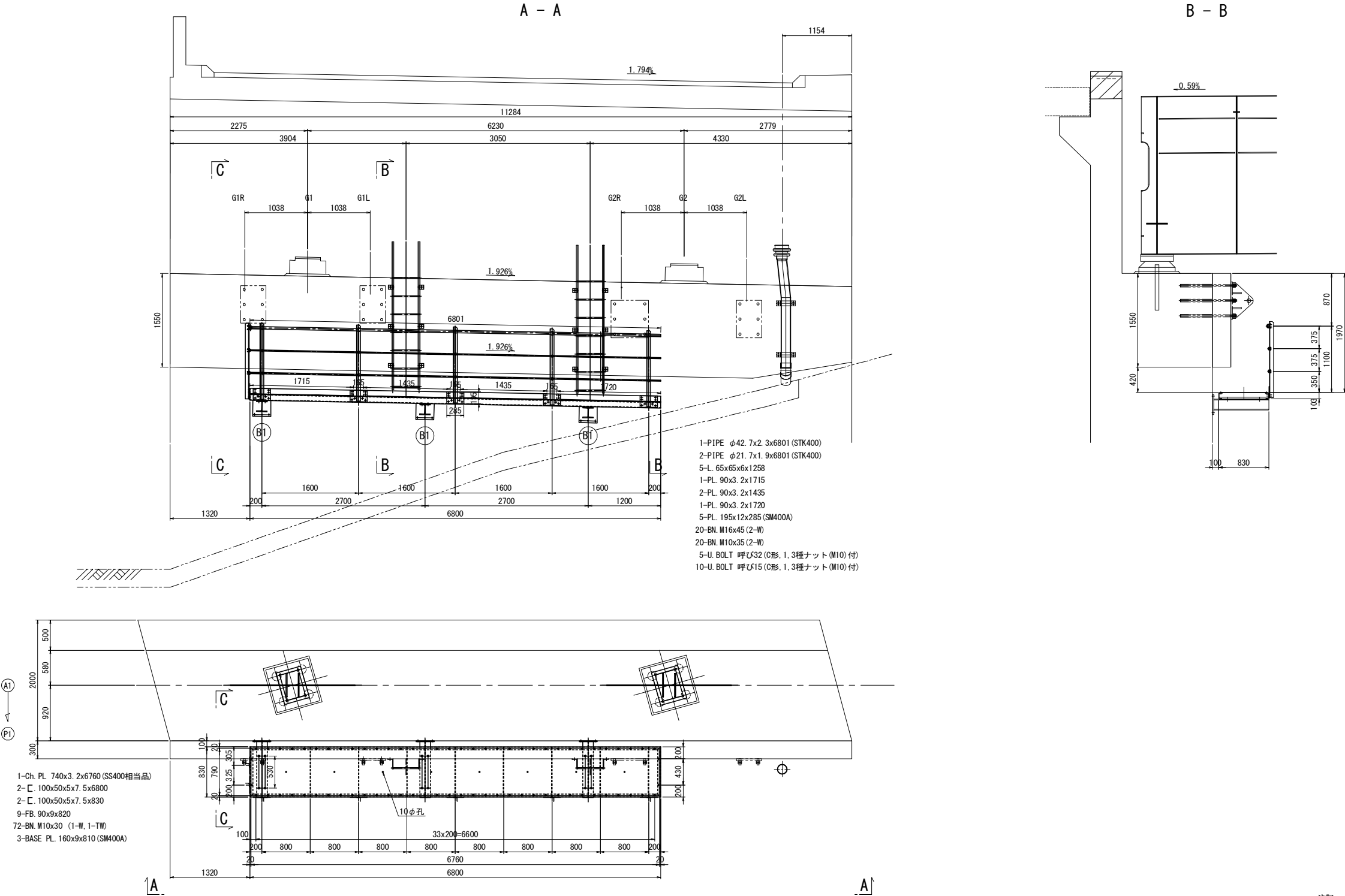
撤去箇所



注)  
 1. 特部材は材質は全てSS41とする。  
 2. 表面処理は溶融亜鉛メッキとする。  
 (亜鉛の付着量はTISHB41のHDZ 55とする。  
 同ボルトナットの付着量はHDZ 35とする)

※完成図を基に作成している。

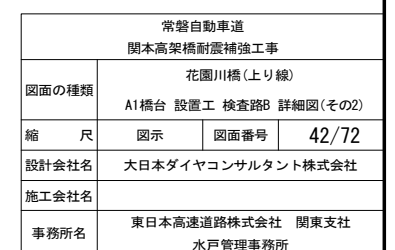
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事	花園川橋(上り線) A1橋台 撤去工 検査路B 詳細図
縮尺	図示 図面番号 40/72
設計会社名	大日本ダイコンサルタント株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	水戸管理事務所



注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

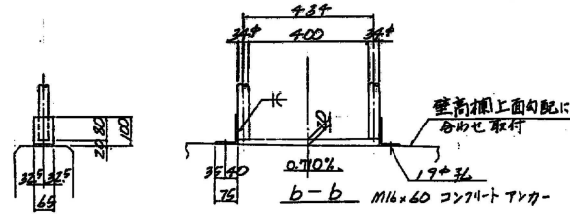
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線)		
	A1橋台 設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	41/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

## 端 部



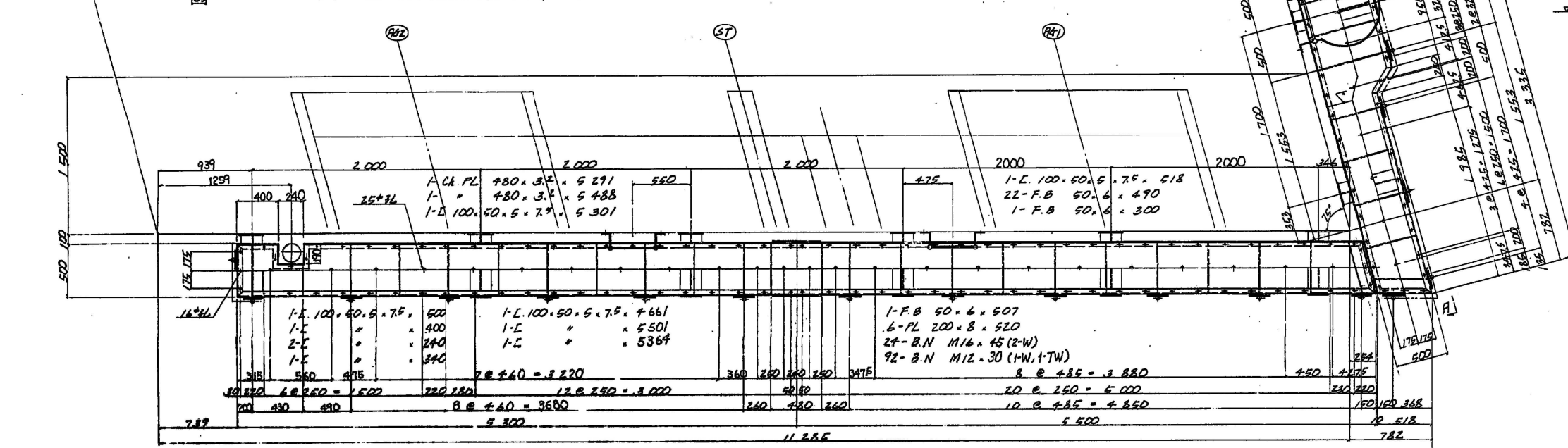
花園川橋(上り線) A2橋台 撤去工 検査路B 詳細図 S=1:50

2. 部詳細 S=1:25

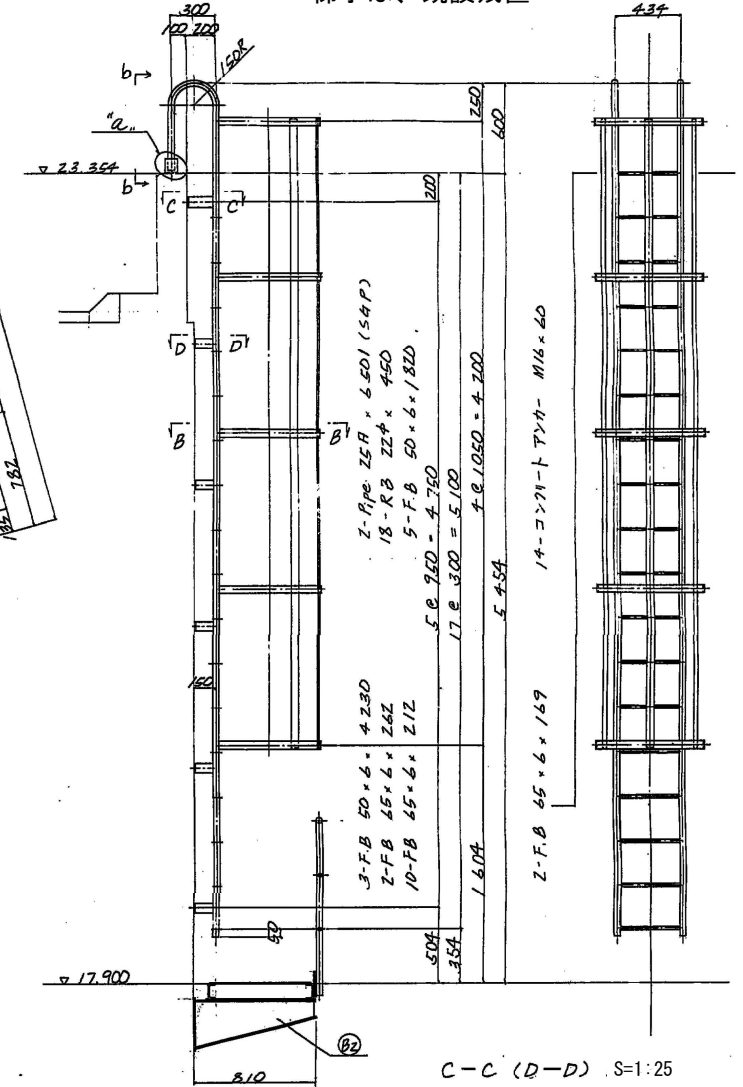


撤去部検査路材料

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 1- Ch. PL 480×3.2×1976 | 1- F.B 50×6×507            |
| 1- Ch. PL 680×3.2×1336 | 4- F.B "×490               |
| 1- L 100×50×5×7.5×3201 | 3- F.B "×670               |
| 1- L "×518             | 1- PL 200×8×520            |
| 1- L "×2006            | 1- PL 200×8×720            |
| 1- L "×304             | 8- B.N M16×45 (2-W)        |
| 1- L "×950             | 34- B.N M12.30 (1-W, 1-TW) |
| 1- L "×283             |                            |
| 1- L "×500             |                            |

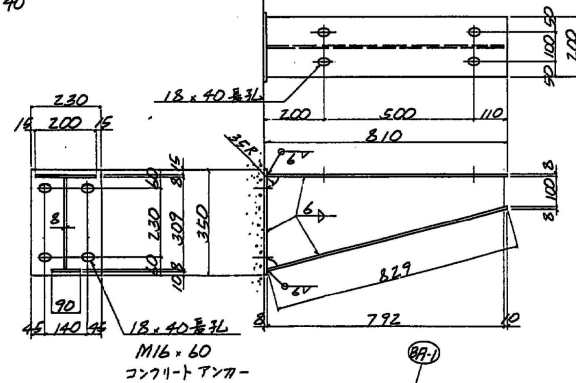
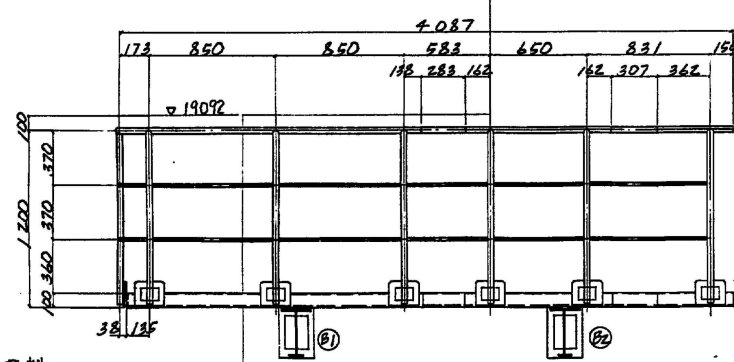


系 梯子  
梯子は、既設残置

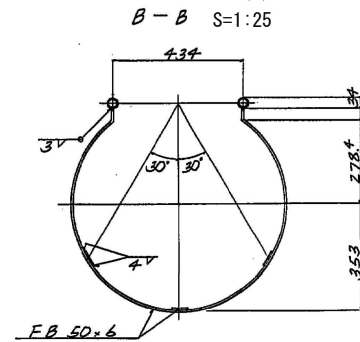


A-A

2- Sp. PL 80×8×465  
12- B.N M22×90  
7. ライト ② 詳細 S=1:25



配置図



- 注)
1. 特記なき材料は全てSS41とする。
  2. 表面処理は溶融亜鉛メッキとする。  
(亜鉛の付着量はJIS H8641 HDE 55 とする。  
尚、ホルトナットの付着量はHDE 35 とする)

撤去部検査路材料

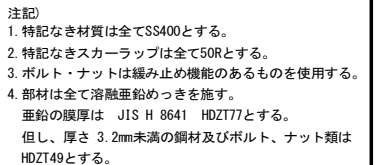
- |                        |                       |                       |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1- Pipe 25A×2040 (54P) | 2- Pipe 15A×183 (54P) | 2- Pipe 15A×353 (54P) |
| 1- "×297 ( " )         | 4- "×824 ( " )        | 2- "×407 ( " )        |
| 1- "×988 ( " )         | 2- "×129 ( " )        | 14- PL 170×6×200      |
| 1- "×321 ( " )         | 2- "×291 ( " )        | 28- B.N M16×40 (1-W)  |
| 1- "×517 ( " )         | 4- "×153 ( " )        |                       |
| 1- "×578 ( " )         | 2- "×624 ( " )        |                       |
| 7- "×1180 ( " )        | 2- "×315 ( " )        |                       |

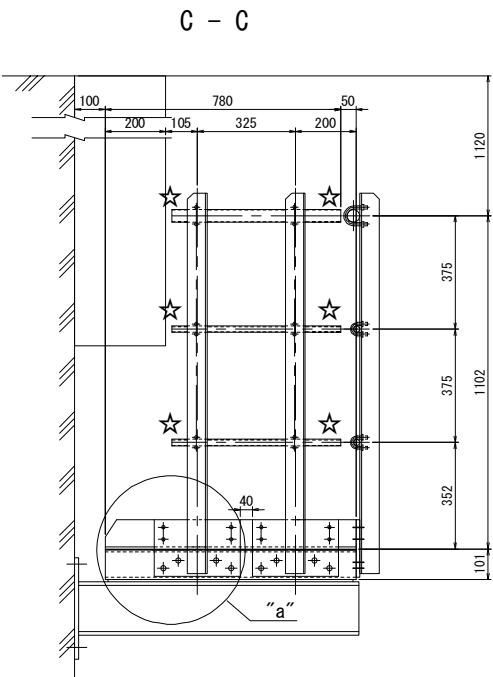
撤去箇所

※完成図を基に作成している。

図面の種類	常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事		
	花園川橋(上り線)		
縮尺	図示	図面番号	43/72
設計会社名	大日本デザインコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

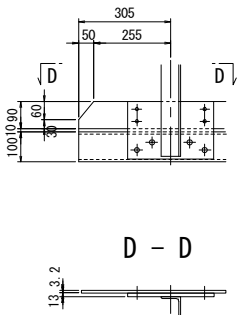




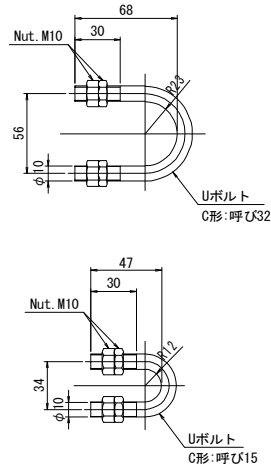


- 1-PIPE φ42.7x2.3x780 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x780 (STK400)  
2-L 65x65x6x1258  
1-PL 90x3.2x780  
2-PL 190x12x285 (SM400A)  
8-BN M16x45 (2-W)  
8-BN M10x35 (2-W)  
2-U BOLT 呼び32 (C形, 1, 3種ナット(M10)付)  
4-U BOLT 呼び15 (C形, 1, 3種ナット(M10)付)

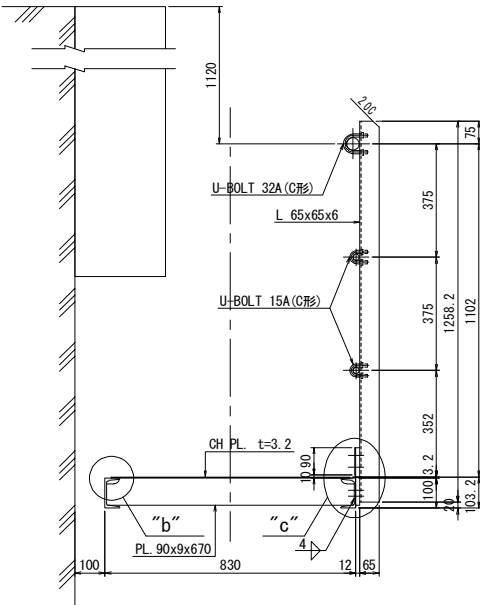
“a”部詳細 S=1:25



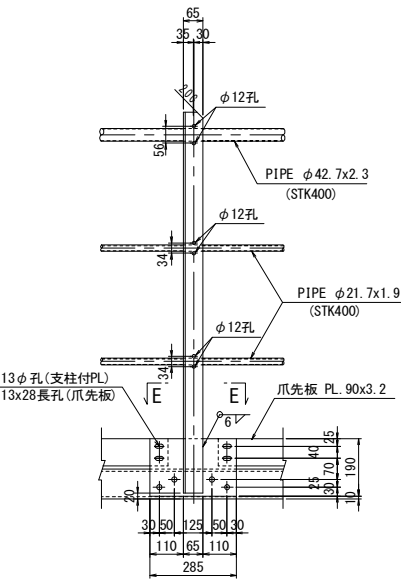
Uボルト詳細 S=1:5



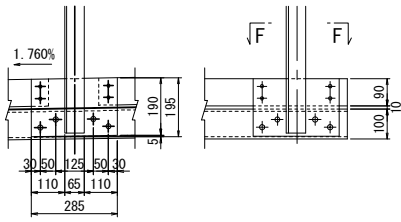
検査路断面詳細



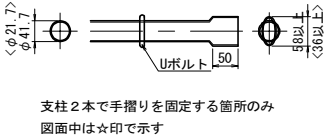
側面部



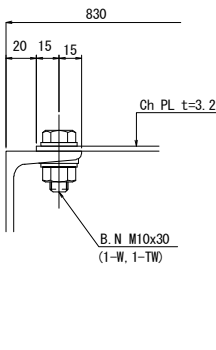
支柱端部



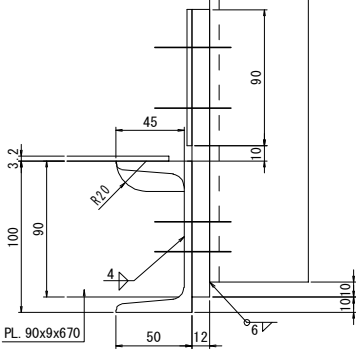
☆印 手摺抜け落ち防止加工詳細 S=1:15



“b”部詳細 S=1:5



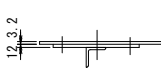
“c”部詳細 S=1:5



E - E

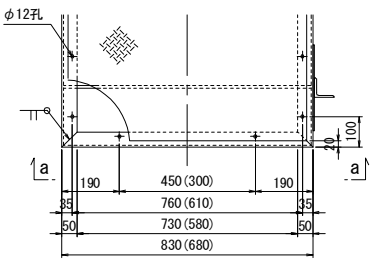


F - F

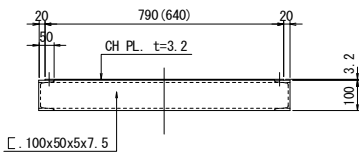


歩廊詳細 S=1:25

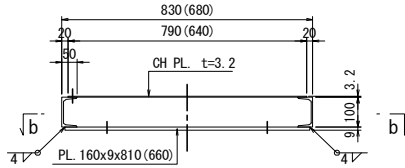
端部



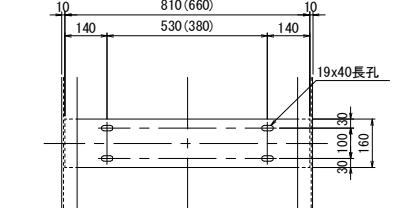
a - a



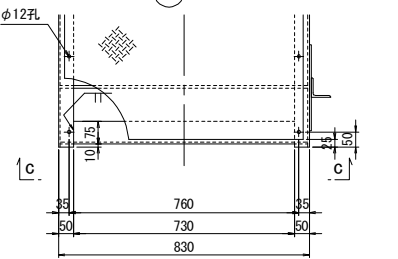
(B1) (B3) 部



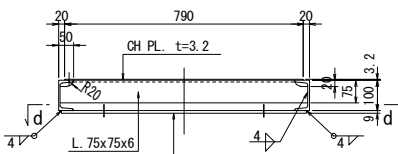
b - b



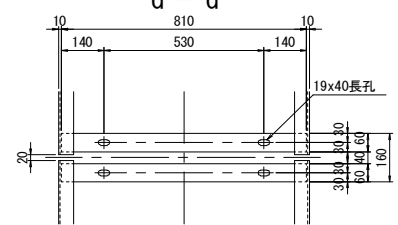
架け違い部



c - c



d - d



通路用ブラケット S=1:25

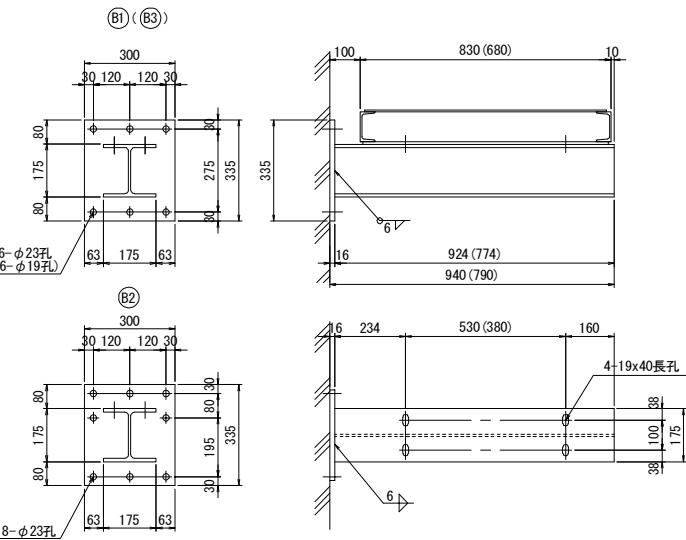
(B1) (B2) (B3)

製作数: (B1) 2ヶ, (B2) 1ヶ, (B3) 2ヶ

- (B1) 1ヶ所分材料  
1-H. 175x175x7.5x11x924  
1-BASE PL. 335x16x300 (SM400A)  
4-B. N M16x50 (2-W)  
6-ホールインアンカー M20x170

- (B2) 1ヶ所分材料  
1-H. 175x175x7.5x11x924  
1-BASE PL. 335x16x300 (SM400A)  
4-B. N M16x50 (2-W)  
8-ホールインアンカー M20x170

- (B3) 1ヶ所分材料  
1-H. 175x175x7.5x11x 774  
1-BASE PL. 335x16x300 (SM400A)  
4-B. N M16x50 (2-W)  
6-ホールインアンカー M16x125

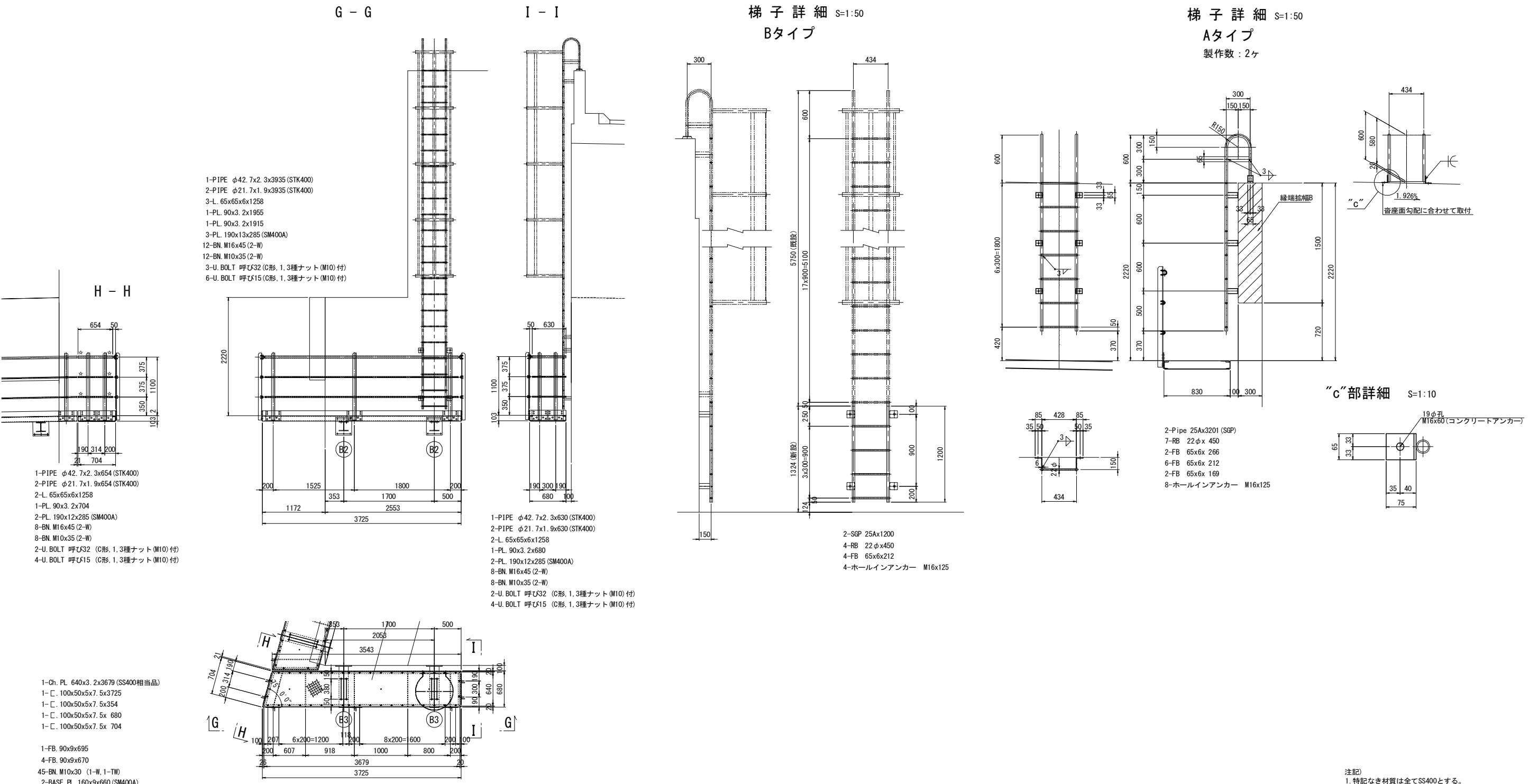


( ) 内寸法は、B3ブラケットを示す。

注記)  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZ777とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZ749とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線)		
	A2橋台 設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	45/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		





注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線)		
	A2橋台 設置工 検査路B 詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	46/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

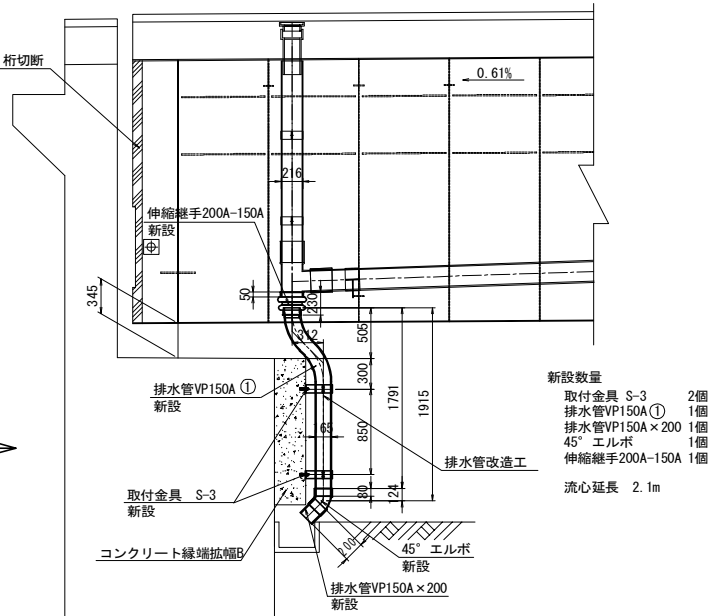
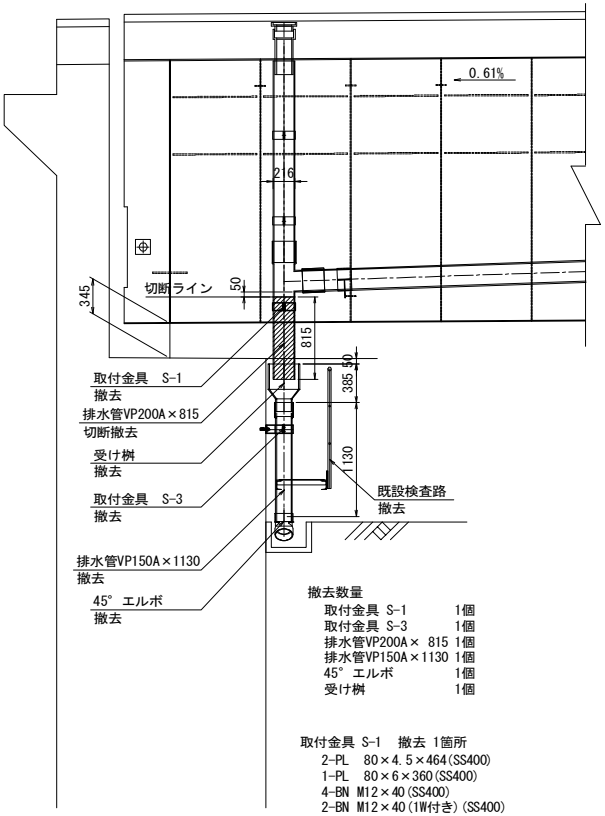
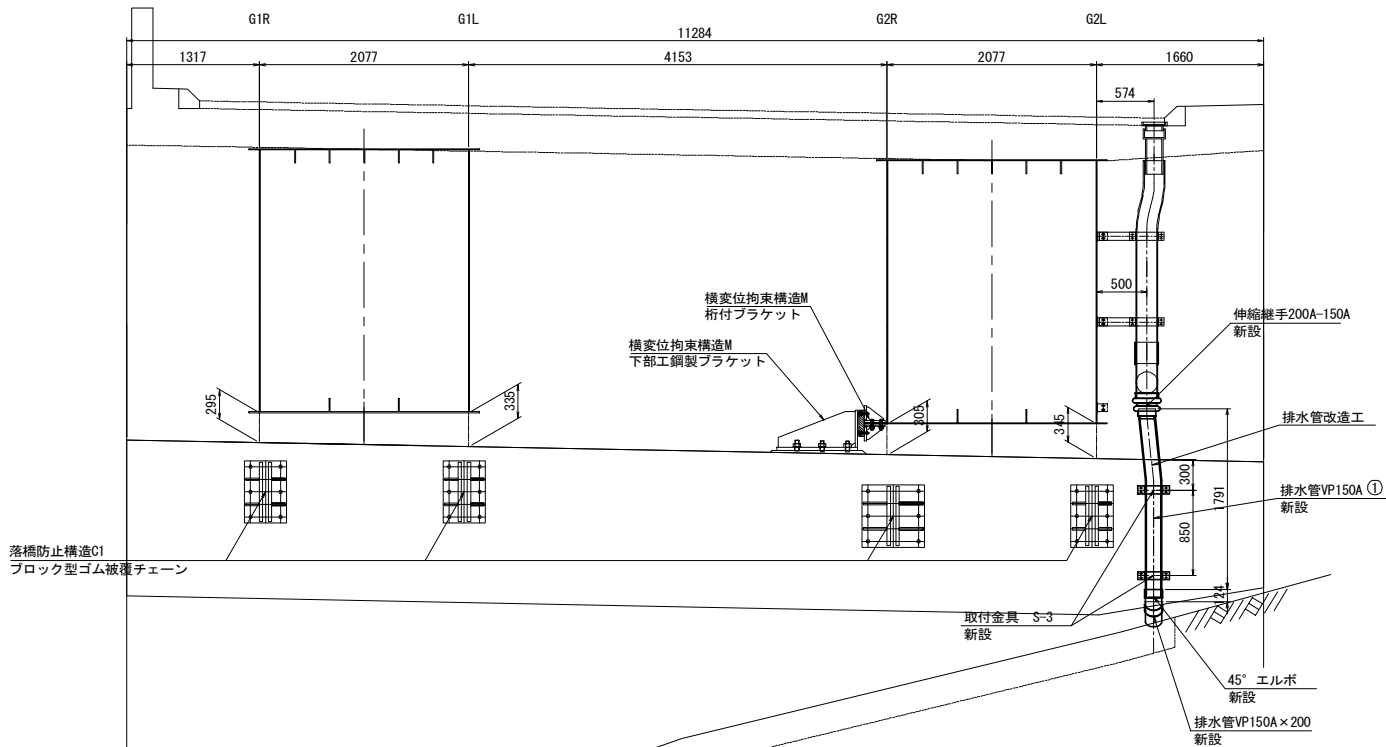
正面図

G2L-側面図

G2L-側面図

現況 D-1

計画 D-1



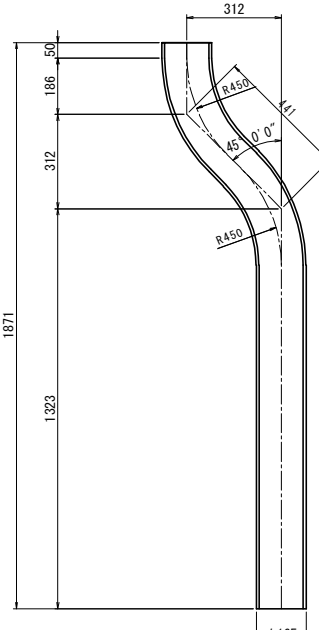
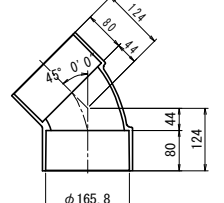
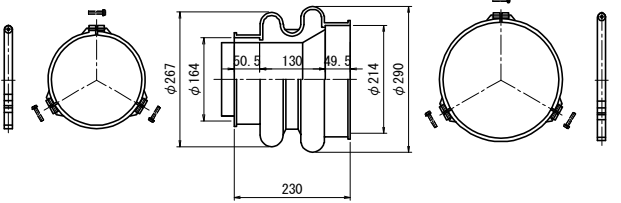
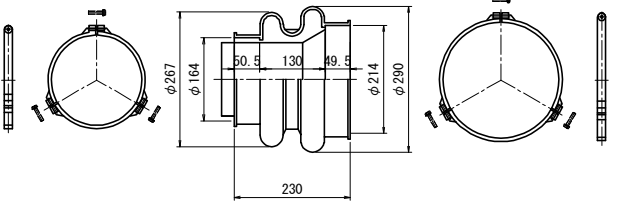
平面図

伸縮継手200A-150A S=1:15

継手 45° エルボ S=1:15

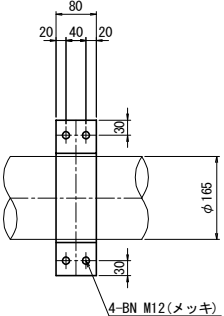
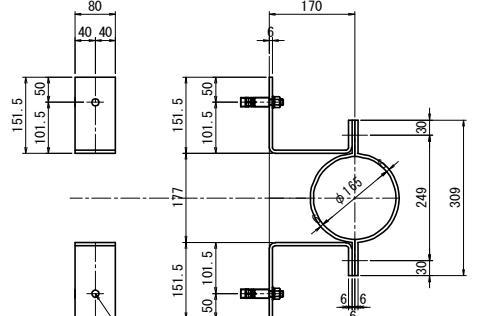
① S=1:25

(製作数: 1) VP150A曲上げ



取付金具 S-3 S=1:15

(製作数: 2)

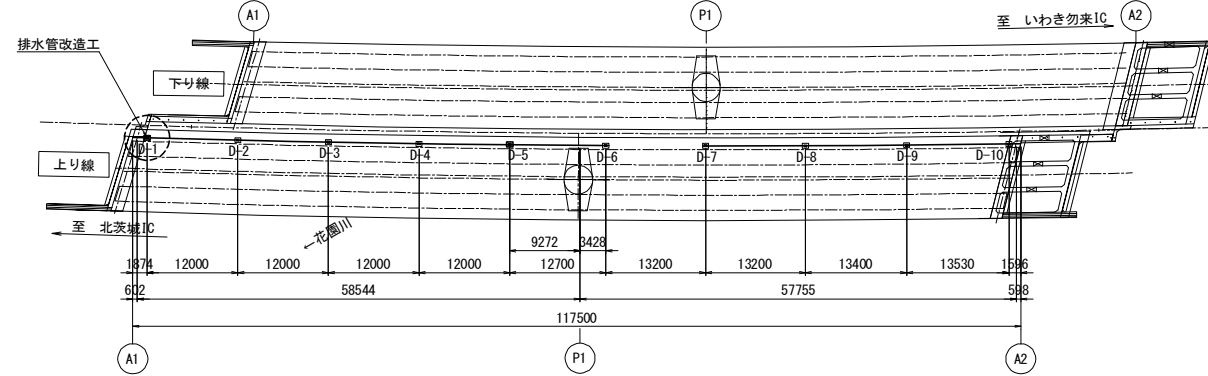


注記  
1. 工事に先立ち、必ず現地計測を行い現地の状況を確認すること。  
2. 現地にて施工箇所の数量、寸法を確認の上、施工を行うこと。  
3. ※印部材は溶融亜鉛めっきとする。  
垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZ77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

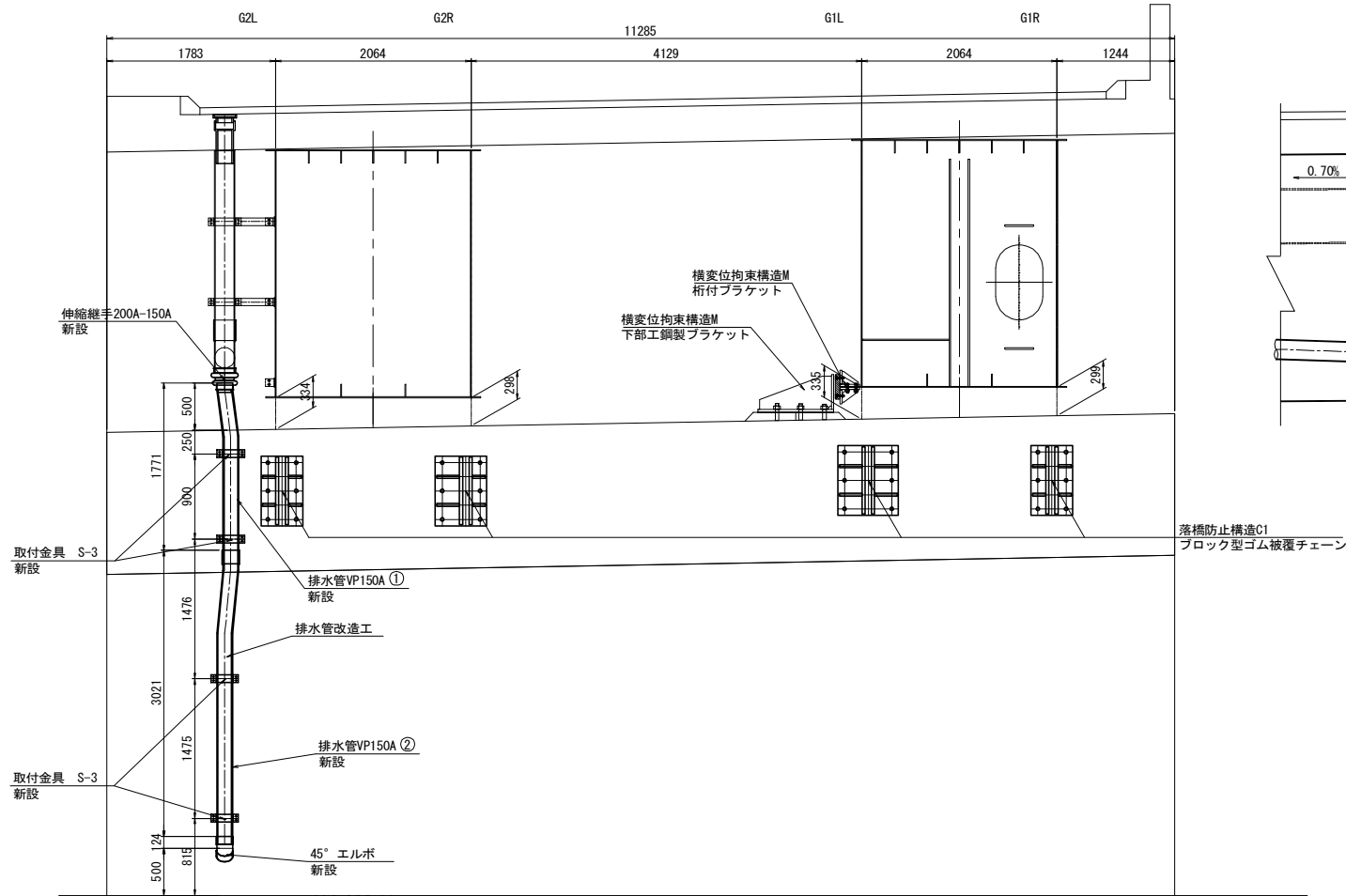
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線) A1橋台	撤去・設置工 排水管A 詳細図	
縮 尺	図示	図面番号	47/72
設計会社名	大日本ダイコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

A2側

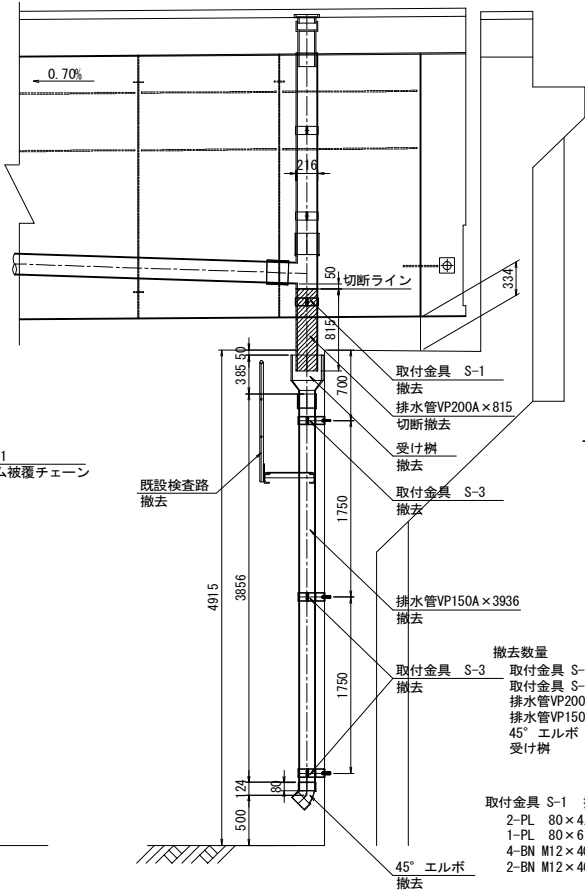
位置図



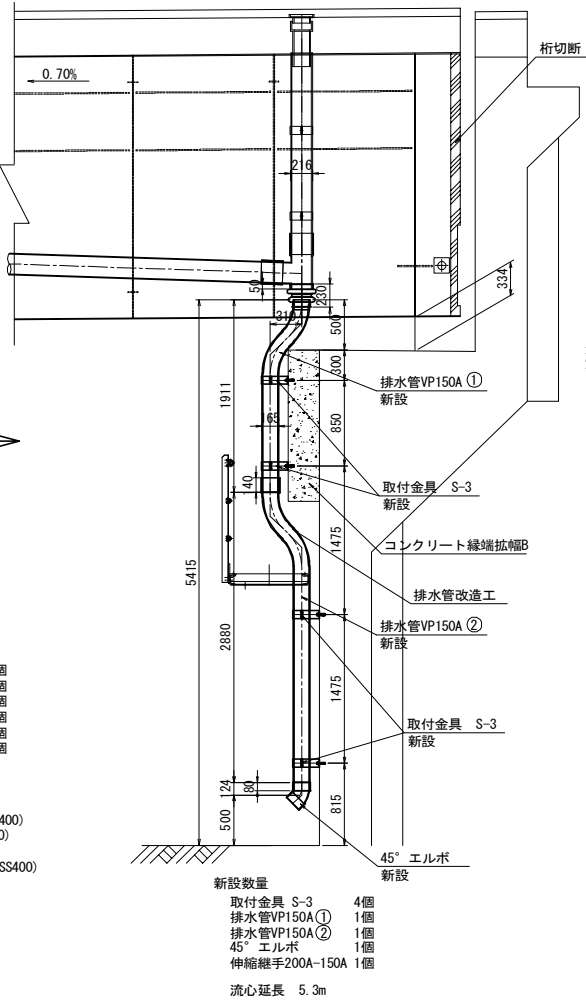
正面図



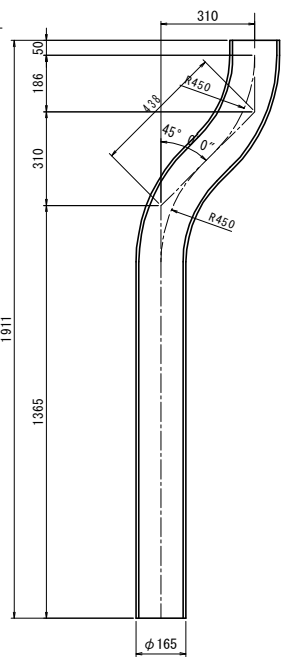
G2L-側面図  
現況 D-10



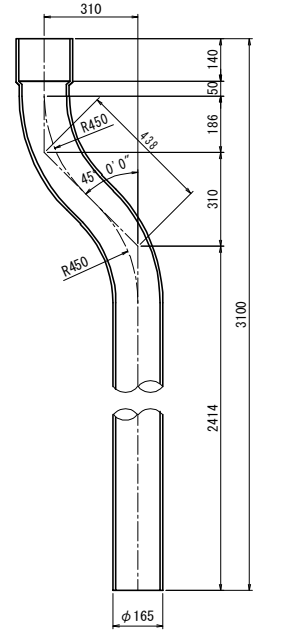
G2L-側面図  
計画 D-10



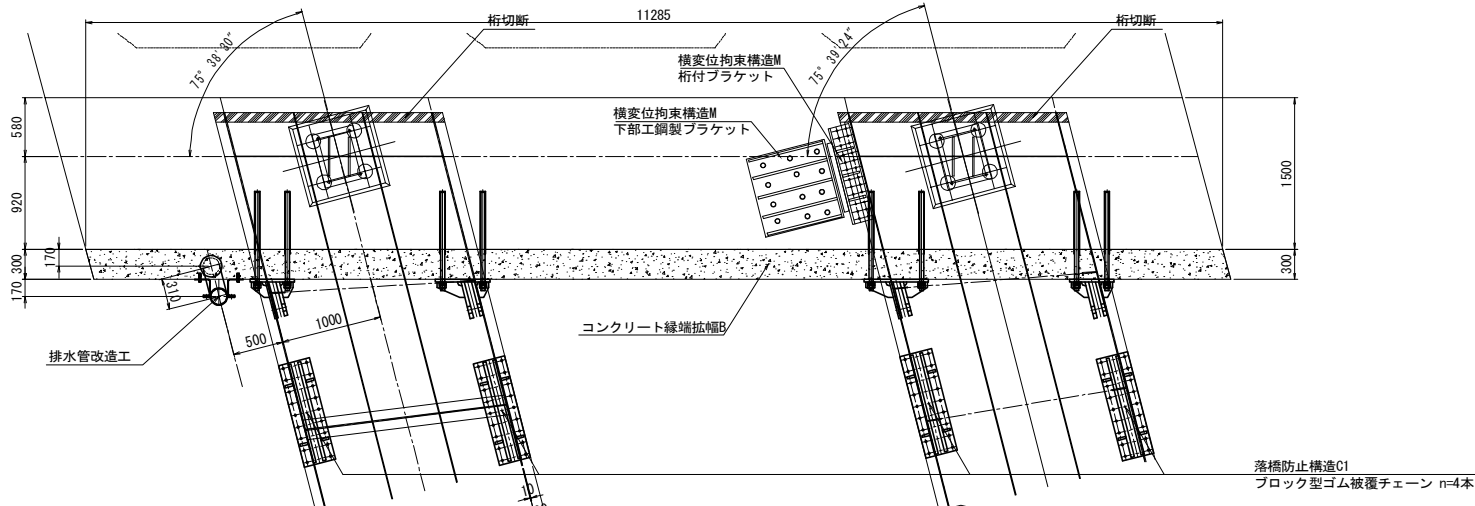
① S=1:25  
(製作数:1) VP150A曲げ



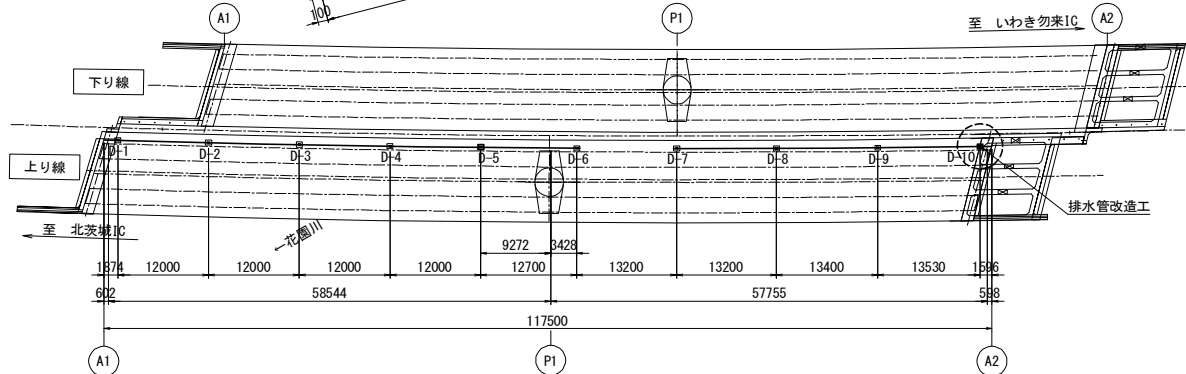
② S=1:25  
(製作数:1) VP150A曲げ(スリーブ付き)



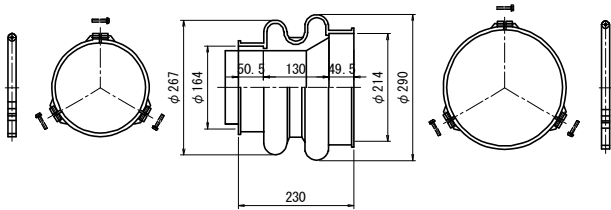
平面図



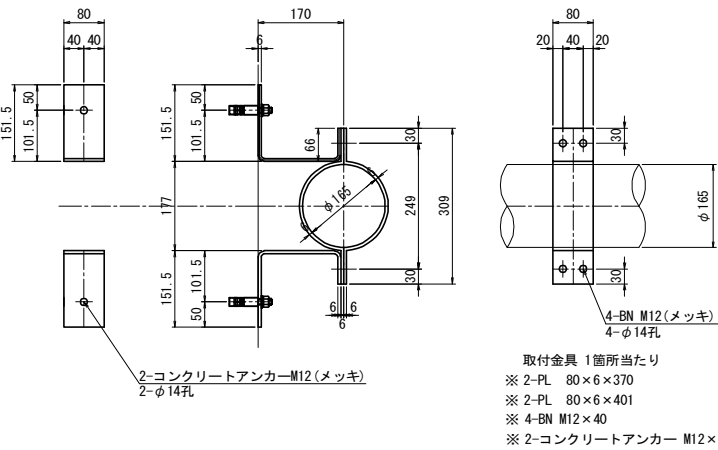
位置図



伸縮継手200A-150A S=1:15  
(個数:1)

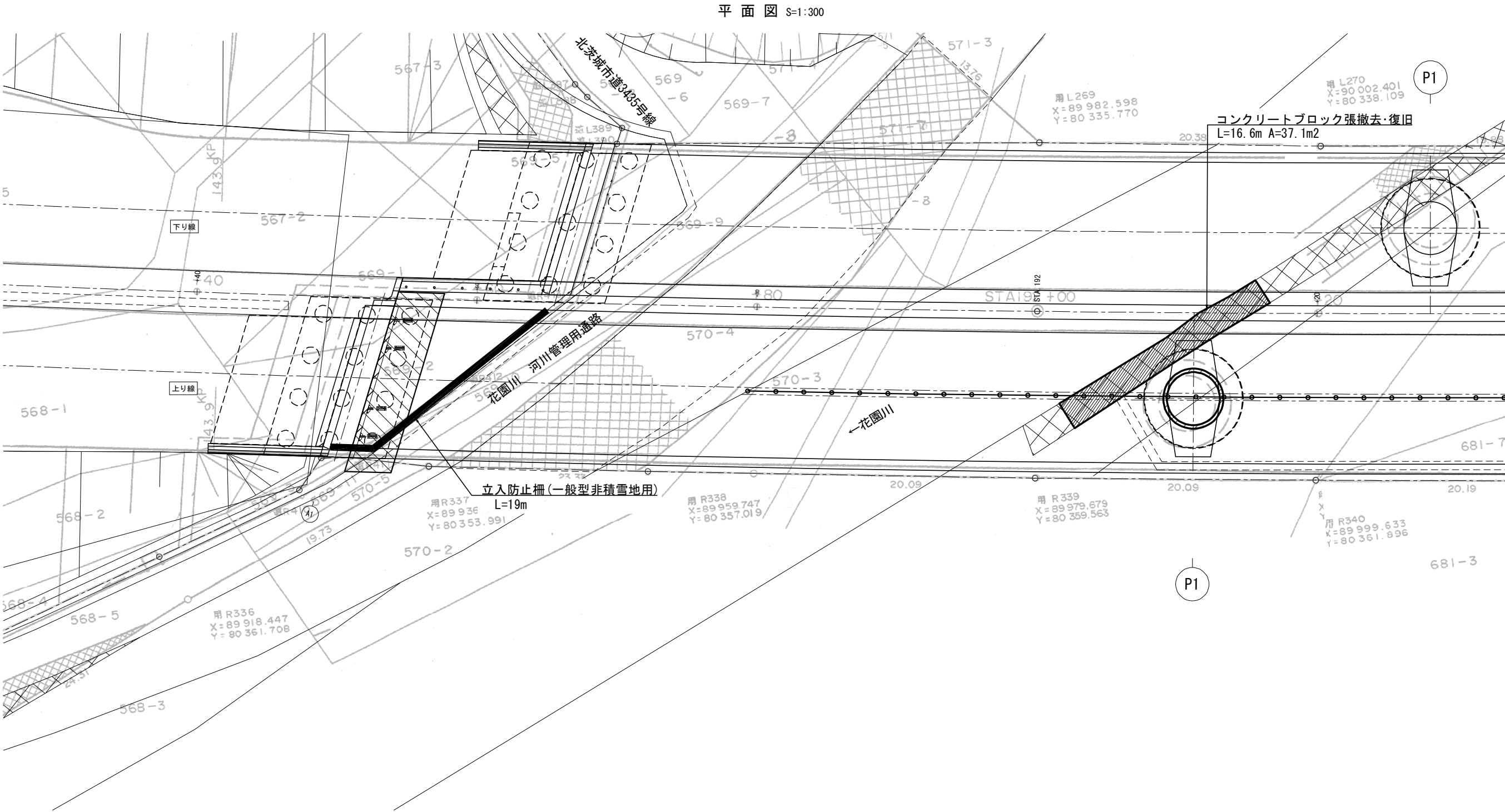


取付金具S-3 S=1:15  
(製作数:4) S-3



注記)  
1. 工事に先立ち、必ず現地計測を行い現地の状況を確認すること。  
2. 現地に施工箇所の数量、寸法を確認の上、施工を行うこと。  
3. ※印部材は溶融亜鉛めっきとする。  
垂鉛の顔厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線) A2橋台		
	撤去・設置工 排水管A 詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	48/72
設計会社名	大日本ダイコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	東支社 水戸管理事務所		



注記  
1. 水路、フェンス等の仕様は管理平面図からの読み取りである。  
構造物掘削等と干渉する水路やフェンス等は、現地に設置され  
ている形状や規格と同等品を再設置すること。

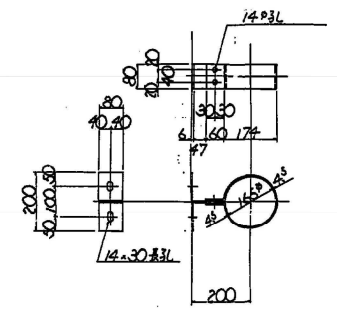
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	花園川橋(上り線)		
	撤去・再設置図		
縮 尺	図示	図面番号	49/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		





常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	薺川高架橋(上り線) A1, A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図式	図面番号	51/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

サポート(S-2)



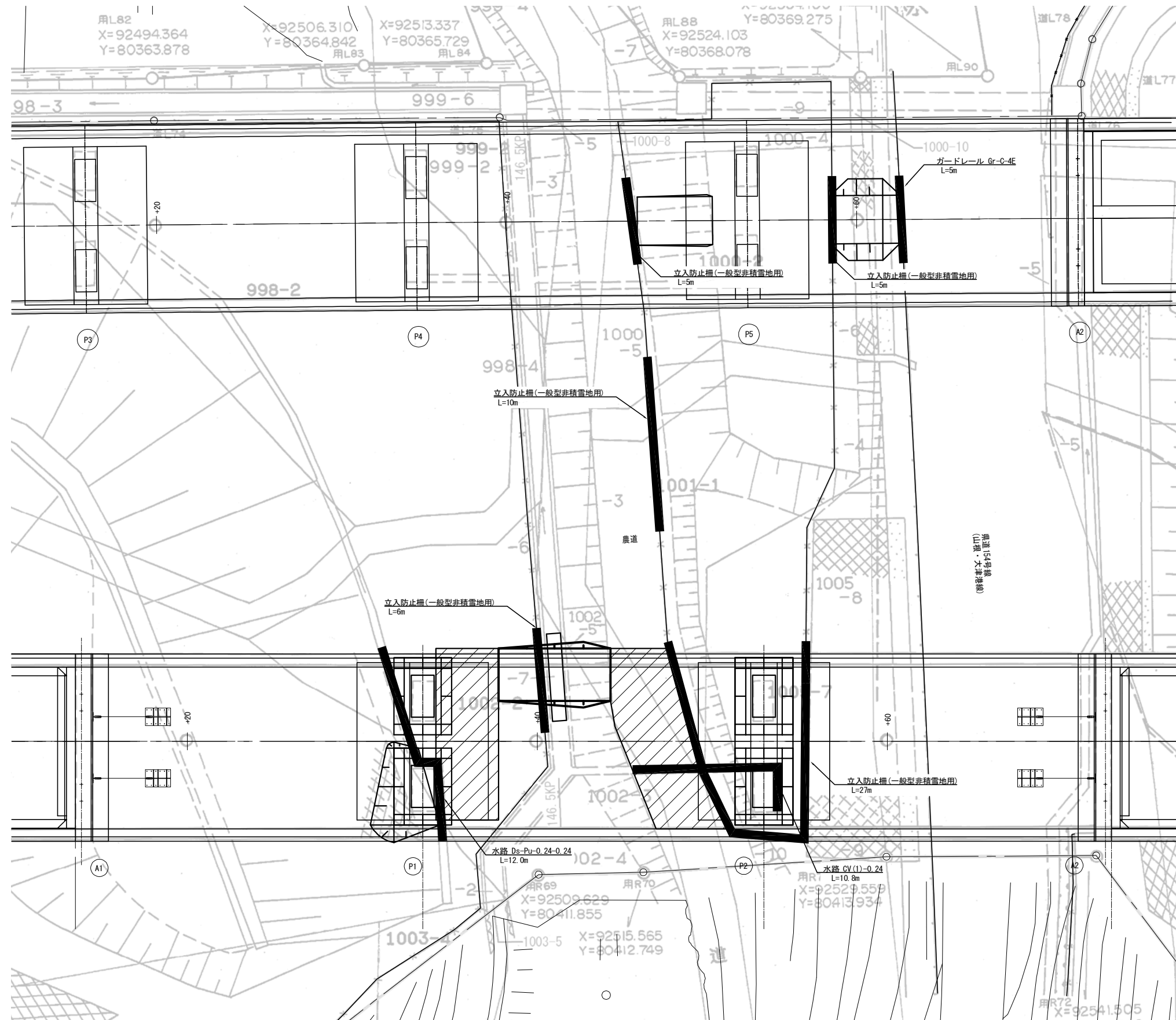
The diagram shows three orthographic views of a mechanical component:

- Front View (Top):** A cylinder with a total length of 200 mm. It features a central hole with a diameter of 30 mm. The right end has a conical section with a height of 60 mm and a base diameter of 80 mm.
- Top View (Left):** Shows the circular cross-section of the cylinder with a diameter of 50 mm.
- Side View (Bottom):** Shows the profile of the cylinder and the conical section. The total width is 165 mm. The conical section has a height of 60 mm and a base diameter of 80 mm. The angle of the cone is indicated as 50°.

常磐自動車道			
関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	華川高架橋(上り線) P1、P2橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	52/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

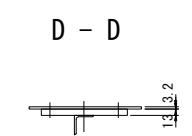
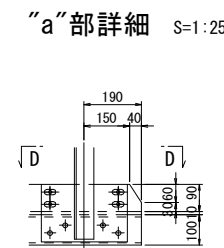
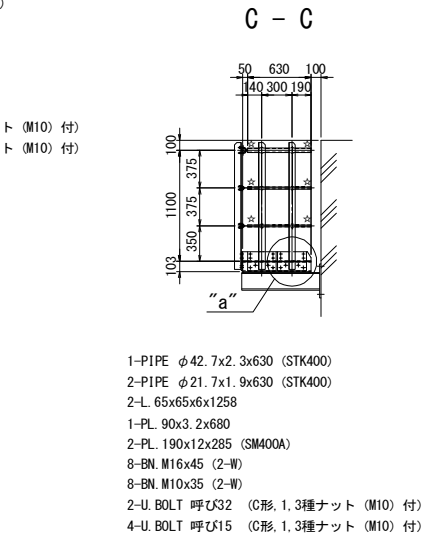
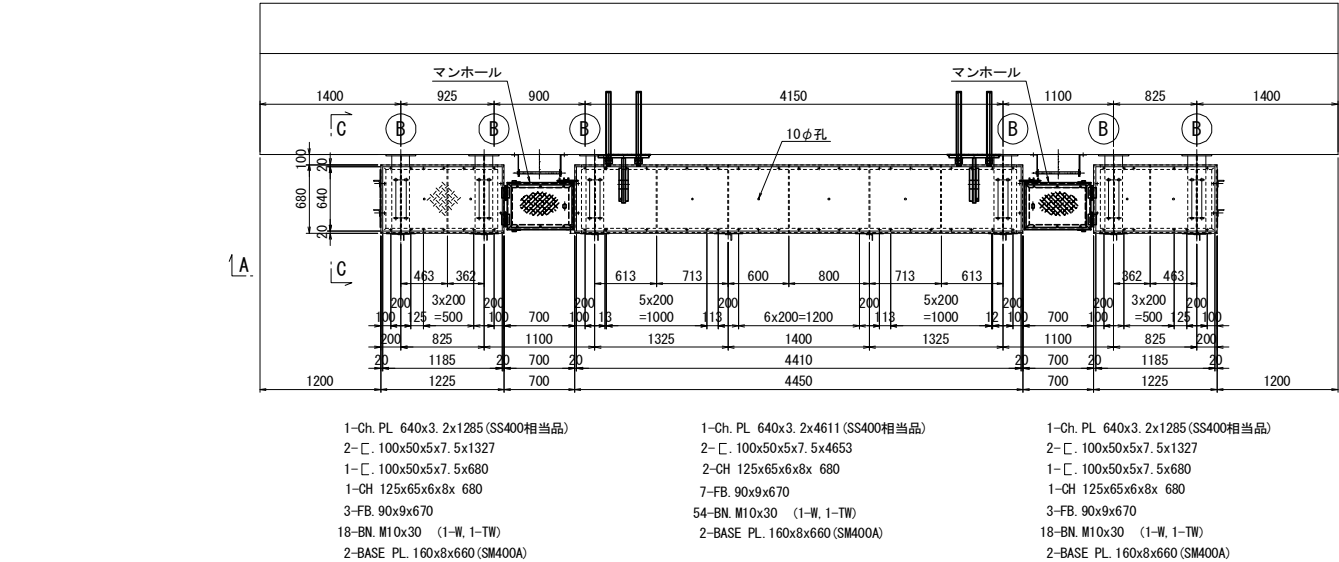
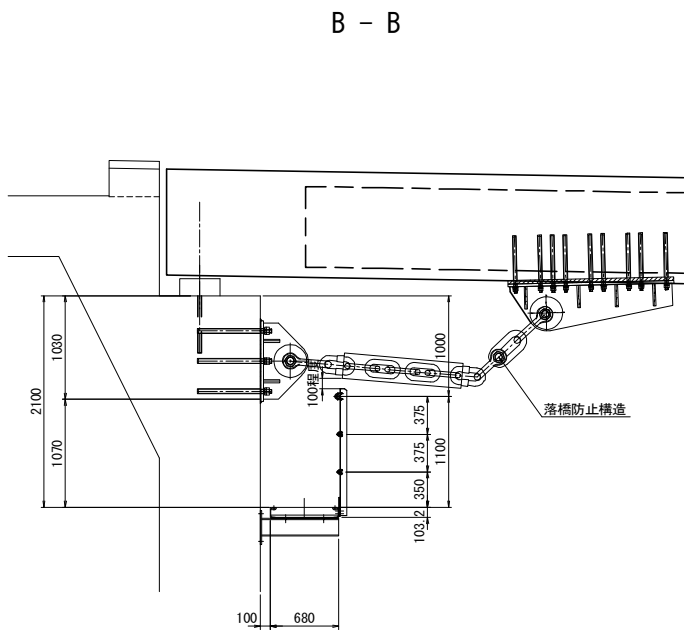
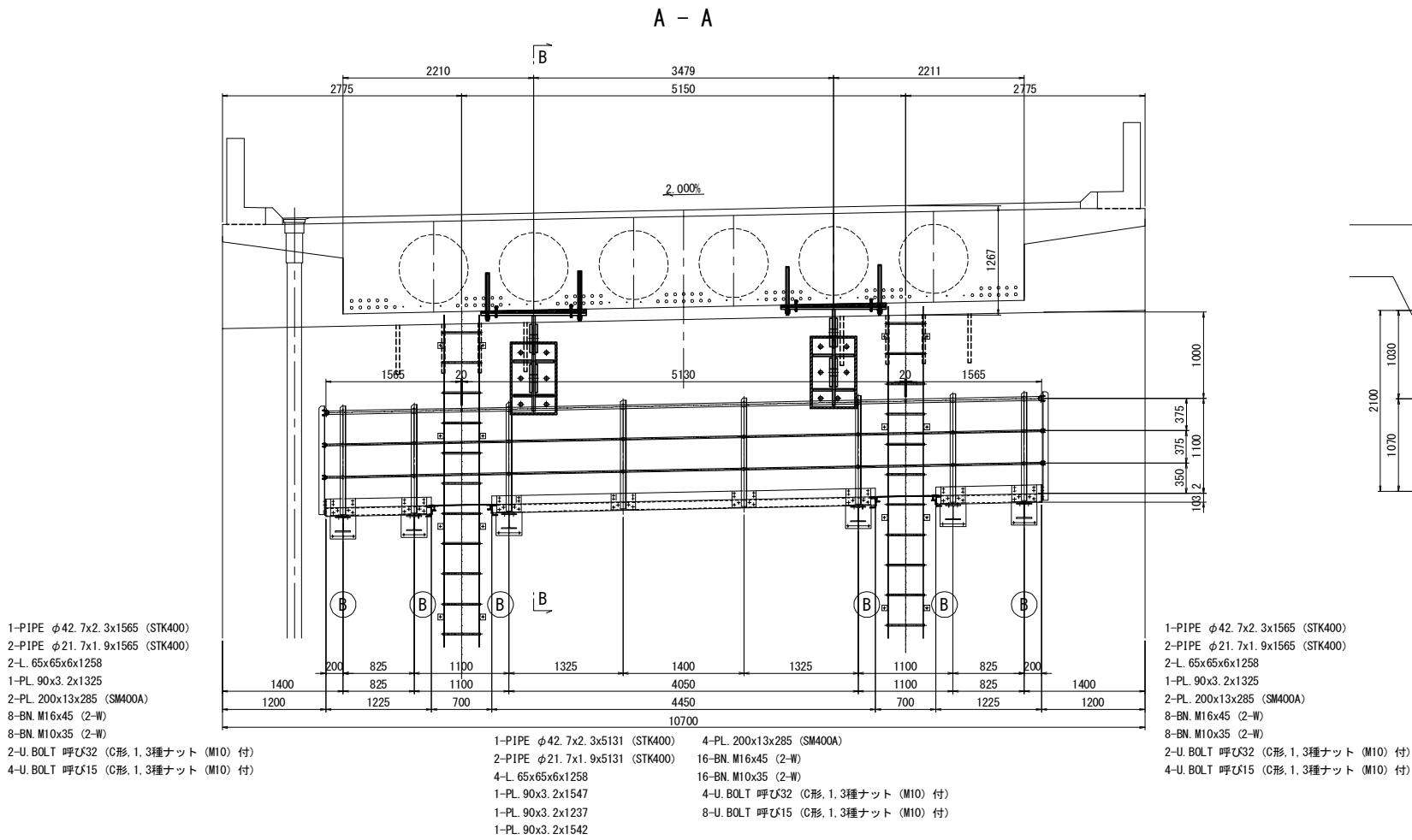


平面图 S=1:250

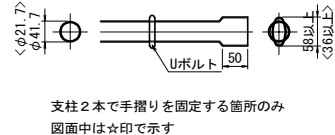




神の山橋(上り線) A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1) S=1:75

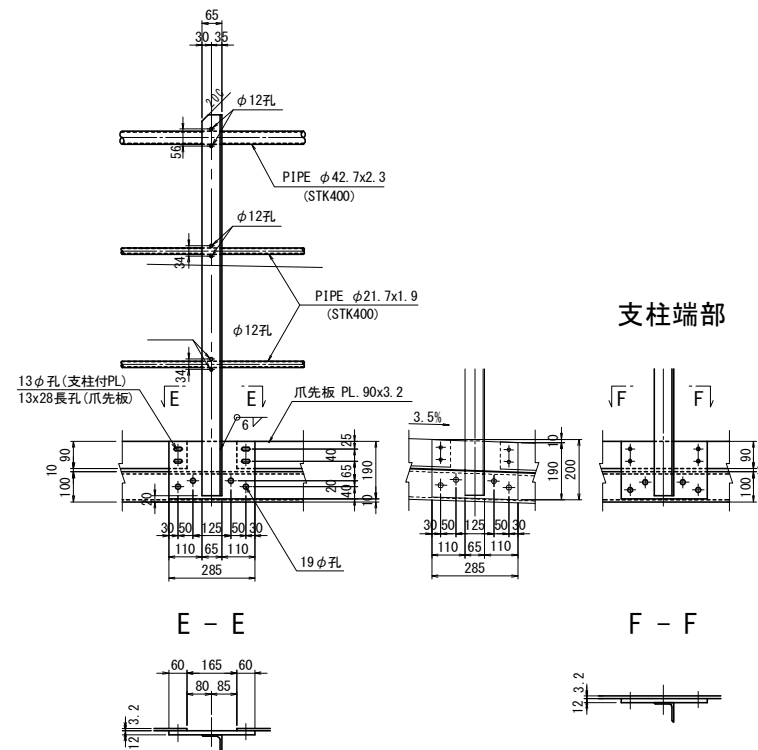
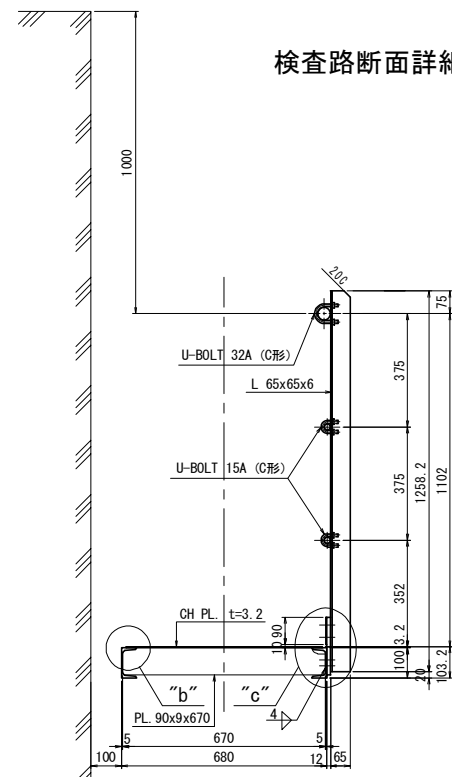


☆印 手摺抜け落ち防止加工詳細 S=1:15



注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神の山橋(上り線) A1橋台		
	撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	54/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



Technical drawing of a 3-FB 65x6x1839 fireproof door assembly, showing front and side views with dimensions and labels.

**Front View (Left):**

- Overall width: 6238
- Overall height: 2488
- Door width: 3850 (既設梯子)
- Door height: 3500
- Top section height: 100
- Bottom section height: 200
- Side section height: 150
- Labels: 既設背かご取り外し撤去 (Remove existing back basket)

**Side View (Right):**

- Overall width: 6238
- Overall height: 2488
- Door width: 3850 (既設梯子)
- Door height: 3500
- Top section height: 100
- Bottom section height: 200
- Side section height: 150
- Labels: 既設背かご取り外し撤去 (Remove existing back basket), 切断 (Cut), 検査路天端 (Inspection path top edge)

**Detail View (Bottom):**

- Top view: 6238 x 2488
- Side view: 6238 x 2488

**Legend:**

- 背かご撤去数量1箇所当り (2箇所)
- 3-FB 65x6x2145
- 3-FB 65x6x1839

680

20 15 15

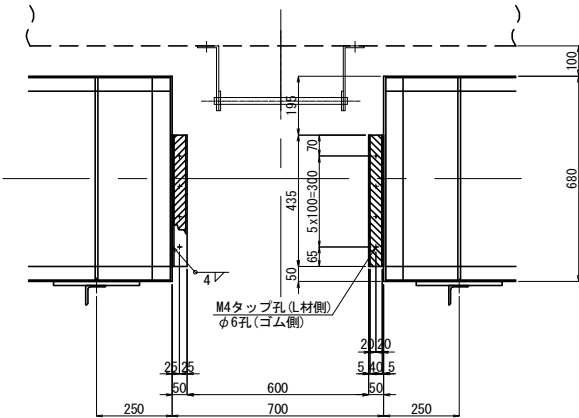
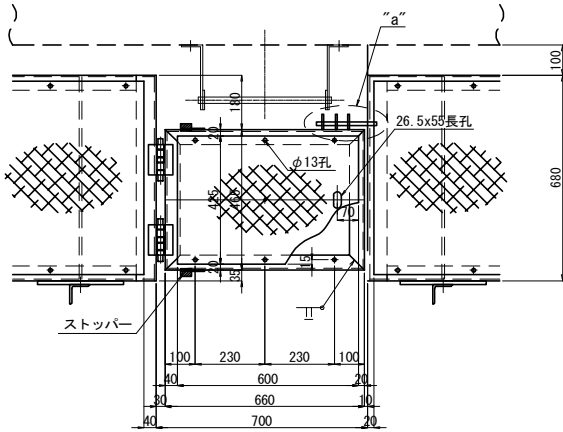
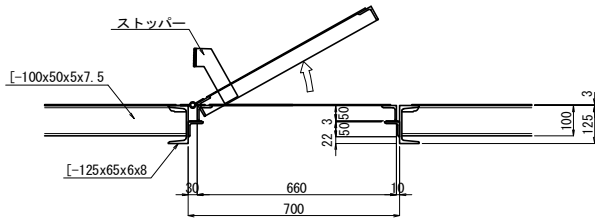
Ch PL t=3.2

B.N M10x30  
(1-W, 1-TW)

[illegible][illegible]

- |                       |                             |       |
|-----------------------|-----------------------------|-------|
| 常磐自動車道<br>関本高架橋耐震補強工事 |                             |       |
| 図面の種類                 | 神の山橋(上り線) A1橋台              |       |
| 縮 尺                   | 撤去・設置工 検査表 詳細図(その2)         | 55/72 |
| 設計会社名                 | 大日本ダイヤコンサルタント株式会社           |       |
| 施工会社名                 |                             |       |
| 事務所名                  | 東日本高速道路株式会社 関東支社<br>水戸管理事務所 |       |

マンホール詳細  
製作数:2



- 1-L 50x50x6x435

1-ゴム 40x3x435 (エチレンプロピレンゴム)

4-皿ネジ M4x8
- 1-Ch. PL 425x3. 2x600 (SS400相当品)

2-L 50x50x6x660

2-L 50x50x6x465

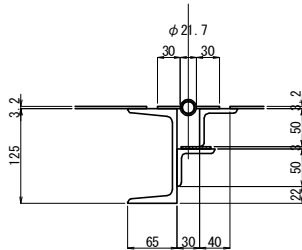
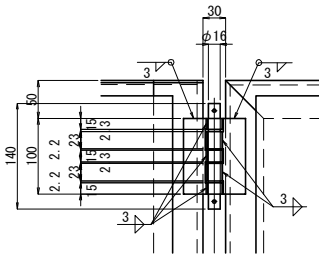
6-BN M10x30 (2-W)

3-FB 50x6x50
- 1-L 50x50x6x435

1-ゴム 40x3x435 (エチレンプロピレンゴム)

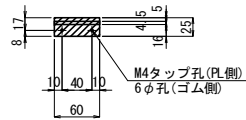
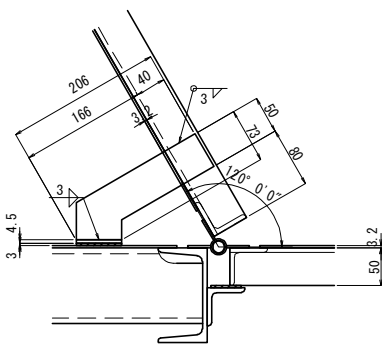
4-皿ネジ M4x8

蝶番詳細 S=1:10



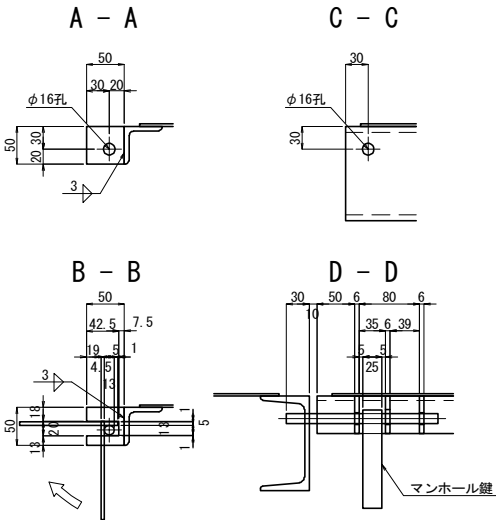
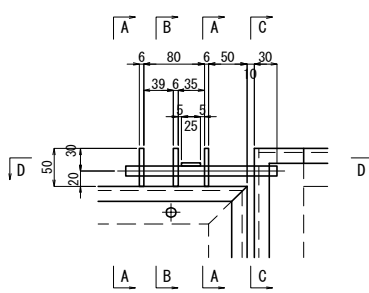
- 1箇所当り部材 (設置数:2箇所)
- 2-PL 30x3. 2x100 (SM400A)
  - 3-PIPE φ21. 7x1. 9x15 (STK400)
  - 2-PIPE φ21. 7x1. 9x23 (STK400)
  - 1-RB φ16x140
  - 2-割ピン φ5x36 (SWRM8)

ストッパー詳細 S=1:10

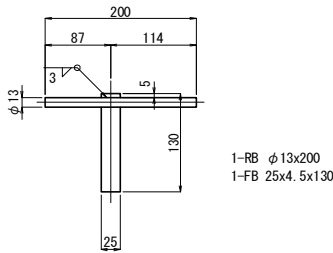


- 1箇所当り部材 (設置数:2箇所)
- 1-PL 25x4. 5x60 (SM400A)
  - 1-PL 206x4. 5x73 (SM400A)
  - 1-ゴム 25x3x60 (エチレンプロピレンゴム)
  - 2-皿ネジ M4x8

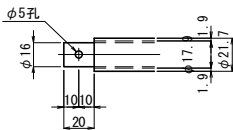
“a”部詳細 S=1:10



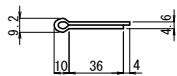
マンホール鍵詳細 S=1:10



ピン端部詳細 S=1:5



割りピン詳細 S=1:5



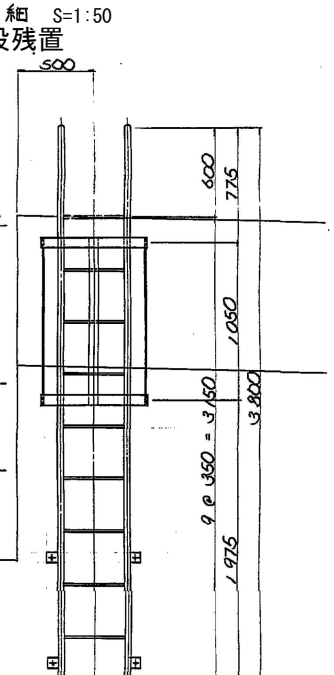
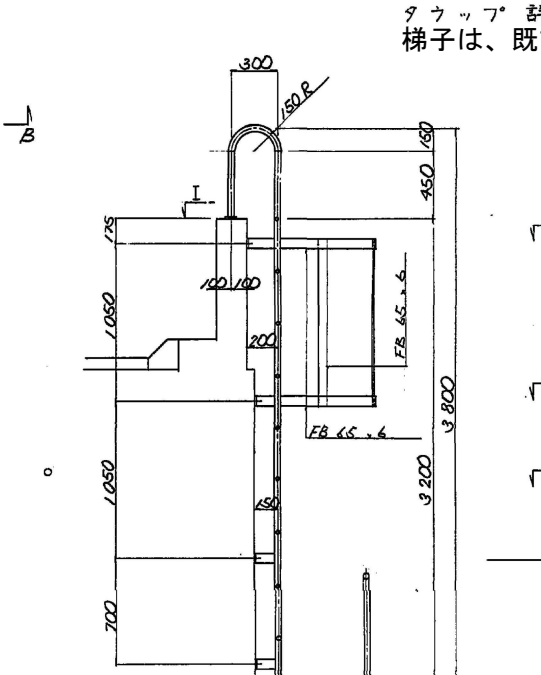
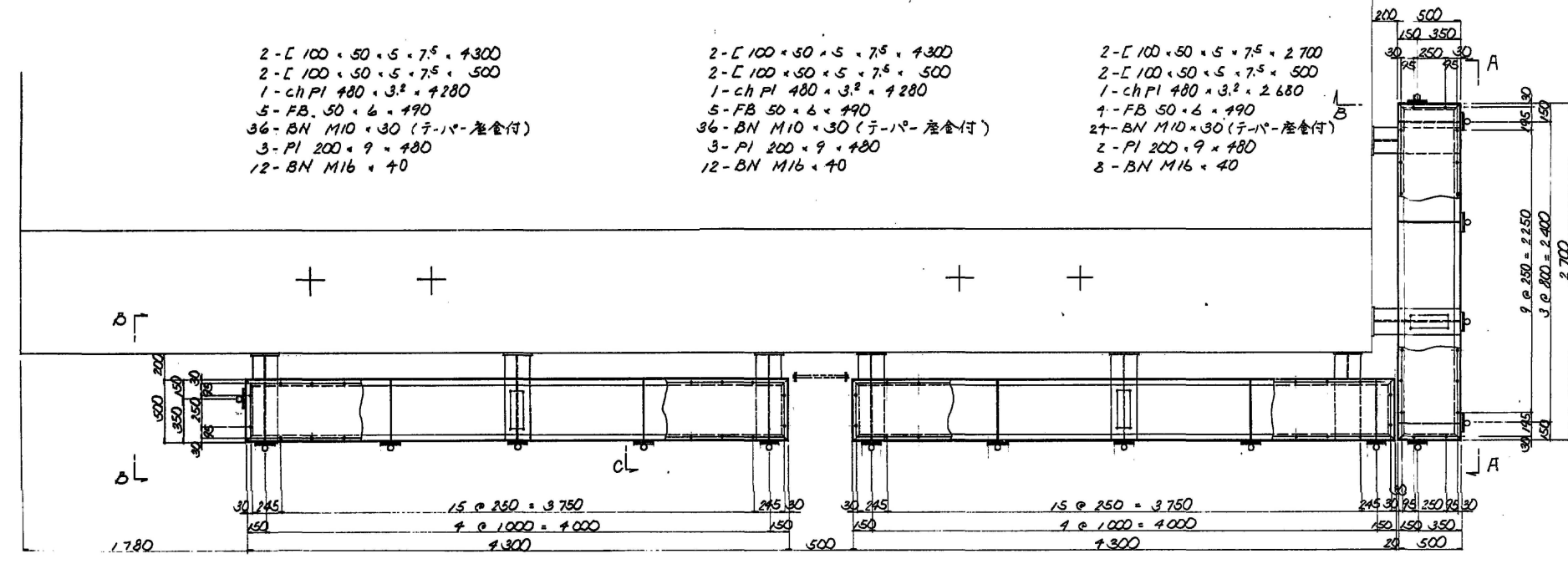
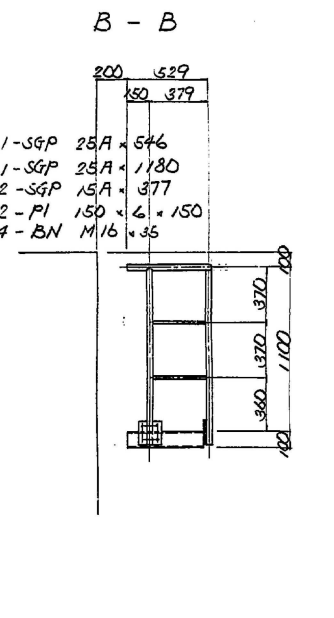
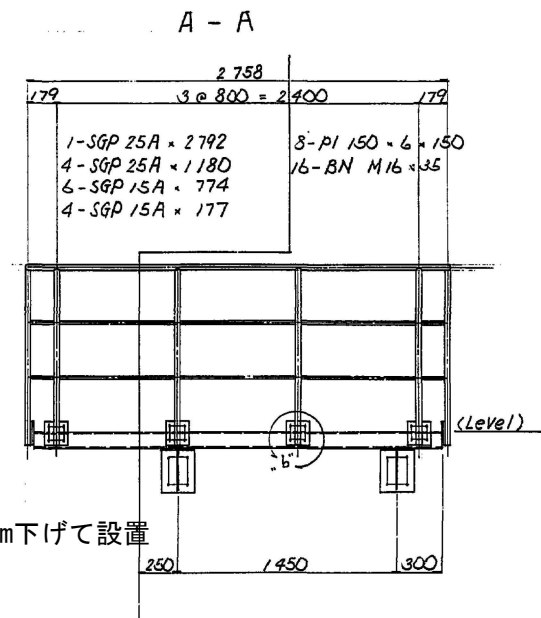
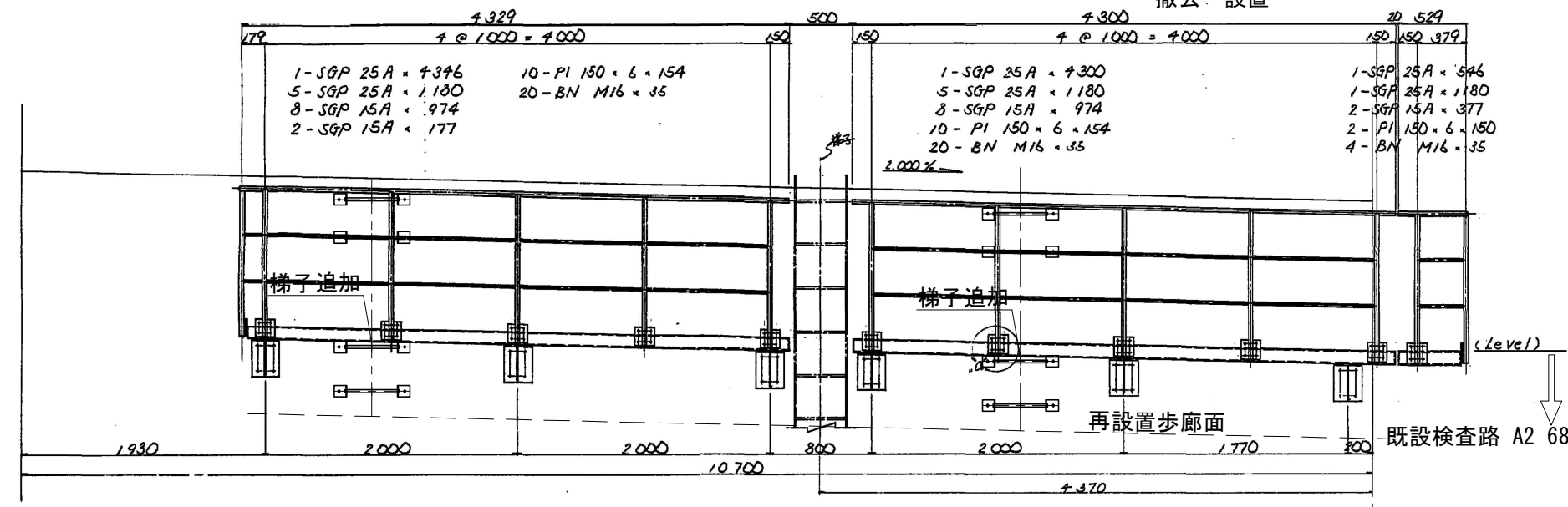
- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
  - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
  - ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。
  - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZ77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZ749とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神の山橋(上り線) A1橋台		
	撤去・設置工 検査路B 詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	56/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

神の山橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)

S=1:50

撤去・設置



タラップ詳細 S=1:50  
梯子は、既設残置

ブラケット詳細図 S=1:25

C-C断面 S=1:25

"a"部 S=1:25

"b"部 S=1:25

- 2-SGP 25A x 4565
- 10-RB 22<sup>#</sup> x 400 (SR24)
- 2-FB 65 x 6 x 1767
- 3-FB 65 x 6 x 1095
- 2-FB 65 x 6 x 253
- 6-FB 65 x 6 x 203
- 2-FB 65 x 6 x 150
- 12-ホルインアンカー M16

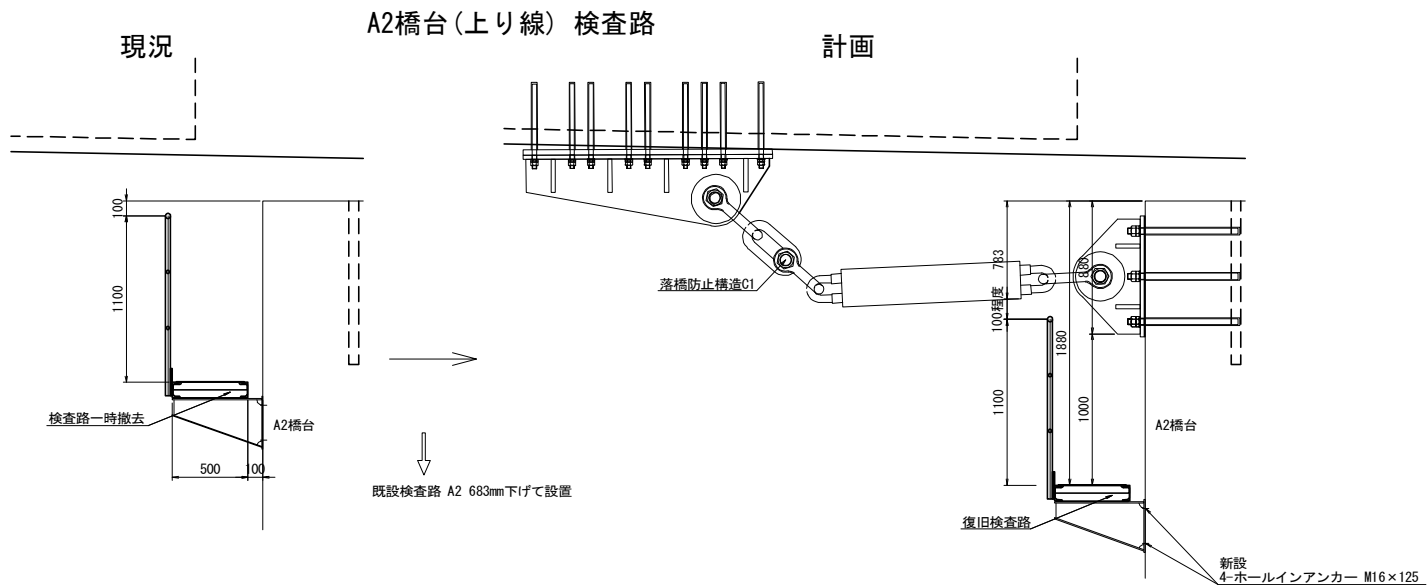
撤去・設置箇所

- 1. 特記なき材質は全2 SS41とする。
- 2. 梯子については下部工検査路(その3)図参照
- 3. 各部詳細については、下部工検査路(その2)図参照。
- 4. 表面処理は溶融亜鉛メッキとする。  
(亜鉛の付着量は JIS H 8641 溶融亜鉛メッキの HDZ35C とする。但し、角ボルトの付着量は、HDZ35A とする。

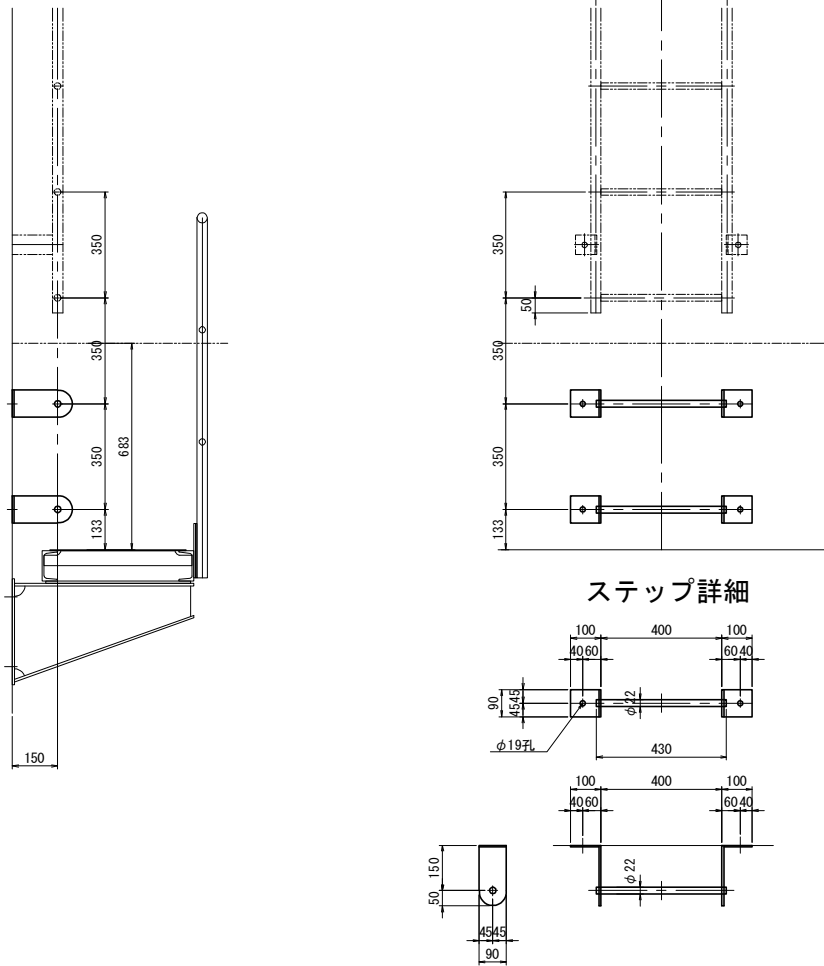
※完成図を基に作成している。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神の山橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	57/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

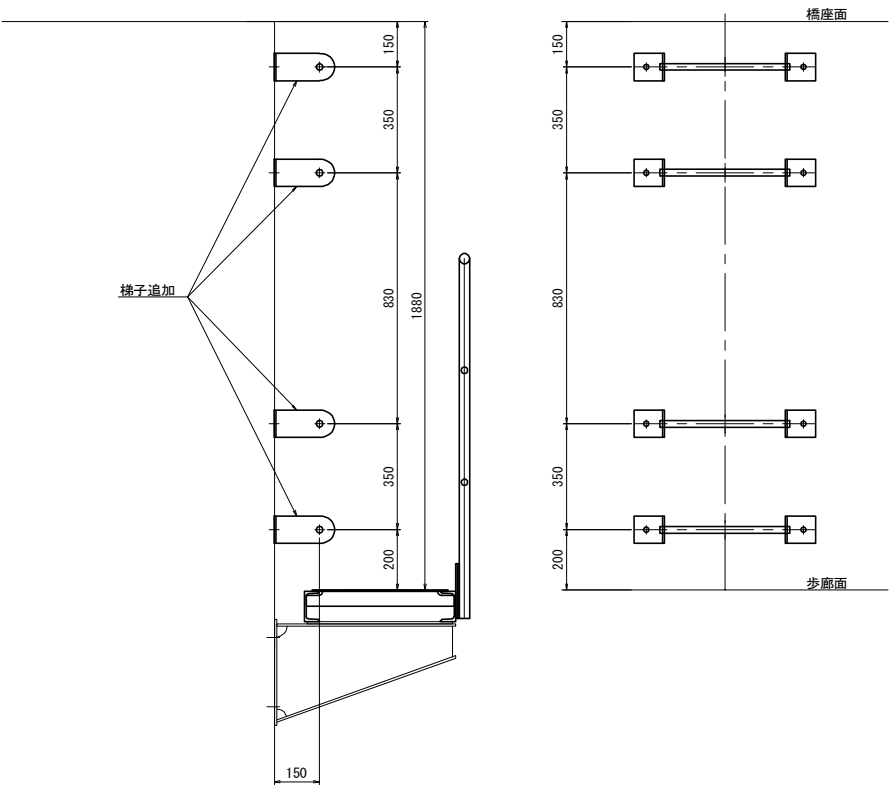
1-PI 200 x 9 x 691  
1-PI 280 x 9 x 681  
1-PI 220 x 9 x 813 (J10)  
新設 4x8箇所=32本



梯子詳細 S=1:25



支承前面 梯子追加詳細 S=1:25  
(2箇所)

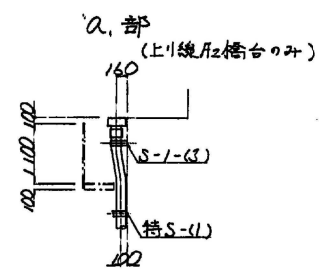
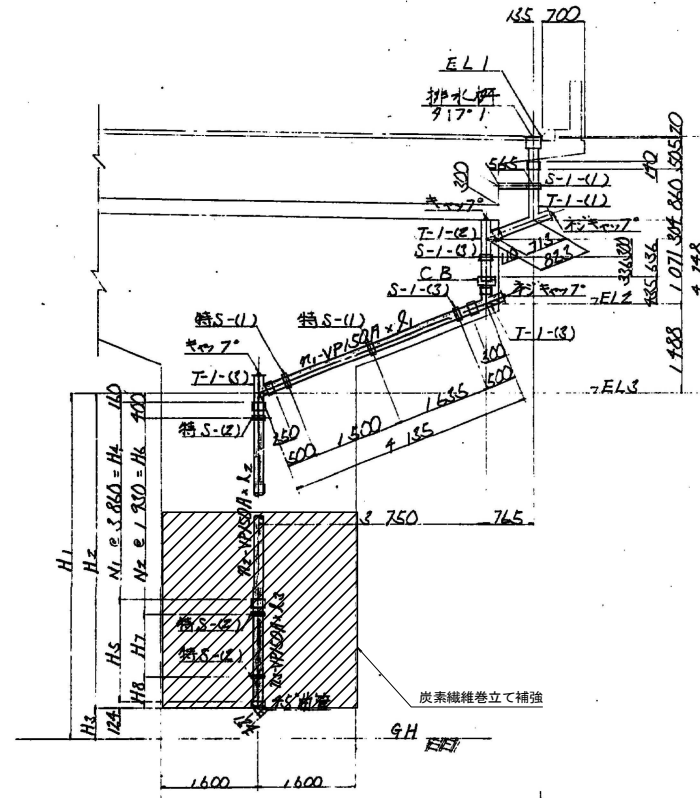


注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	神の山橋(上り線) A2橋台		
	撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	58/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

神の山橋（上り線）P1～P4橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図 S=1:125

橋脚（上り線）



撤去・設置延長

P1	5.468m
P2	9.128m
P3	5.218m
P4	7.508m

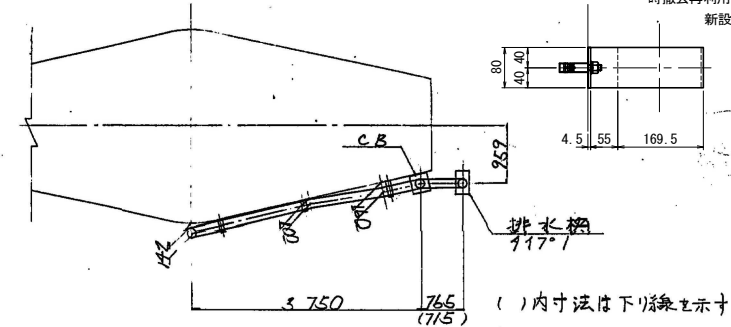
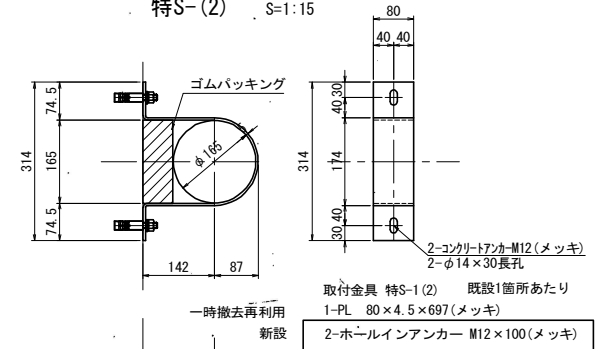
	上り線		下り線	
	A1	A2	A1	A2
EL1	76.708	74.992	72.747	71.902
EL2	75.899	73.573	71.636	70.491
GH	69.20	68.60	67.20	66.99
H1	1.809	1.419	1.311	1.411
H2	784	894	786	886
H3	6.119	4.973	4.836	5.501
H4	5.699	4.479	3.759	5.009
H5	500	494	497	496
H6	3.860	3.860	3.850	3.860
H7	1.530	310	—	890
N1	2	2	1	—
H8	3.860	3.860	1.930	3.860
H9	939	—	909	—
H10	500	219	500	749
M1-R1	1-1020	1-1130	1-1080	1-1130
M2-R2	1-4000	1-4000	1-3510	1-4000
M3-R3	1-1610	1-390	—	1-920

	上り線				下り線			
	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4
EL1	76.416	76.077	75.726	75.363	72.584	72.351	72.129	—
EL2	75.656	75.317	74.966	74.603	69.804	69.517	69.269	—
EL3	72.168	71.829	71.478	71.115	68.316	68.103	67.881	—
GH	62.30	62.30	62.00	61.50	61.50	62.00	62.50	—
H1	9.865	13.529	13.473	11.915	8.816	10.103	4.381	—
H2	9.364	13.024	12.974	11.404	8.304	9.604	4.384	—
H3	504	505	504	511	512	499	497	—
N1	2	3	3	2	2	2	—	—
H4	7.720	11.580	11.580	7.720	7.720	7.720	3.600	—
H5	1.360	1.160	1.110	3.400	300	1.600	—	—
N2	4	6	6	5	4	4	1	—
H6	7.720	11.580	11.580	9.650	7.720	7.720	1.930	—
H7	744	844	—	844	—	924	1.054	—
H8	500	500	994	500	184	500	500	—
M1-R1	1-3860	1-3860	1-3860	1-3860	1-3860	1-3860	1-3860	—
M2-R2	2-4000	3-4000	3-4000	2-4000	2-4000	2-4000	1-3860	—
M3-R3	1-1440	1-1240	1-1190	1-5480	1-380	1-1680	—	—

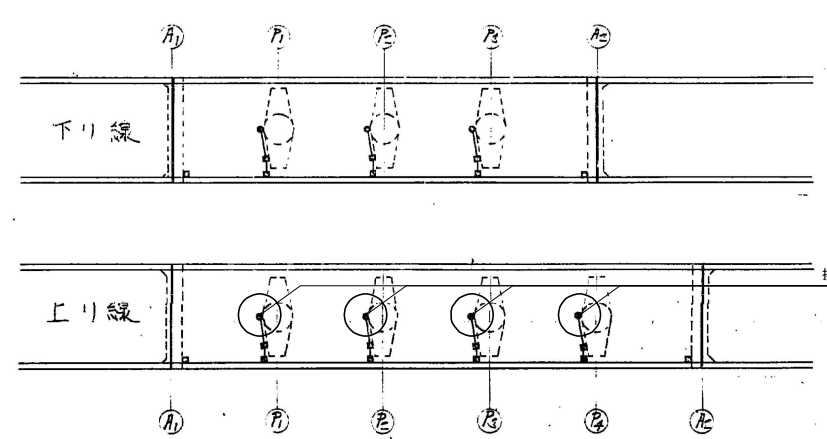
数量表

種別		単位	上り線					下り線					合計			
			A1	P1	P2	P3	P4	A2	小計	A1	P1	P2	P3	A2	小計	合計
排水管	4.771	kg	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
排水管	流水延長	m	5.82	14.06	17.72	17.67	16.10	4.60	75.97	3.86	13.00	14.30	8.58	5.13	44.87	120.84
炭素強化ビニール管	P150	”	5.61	13.30	17.10	17.05	15.34	4.39	72.79	3.51	12.24	13.54	7.54	4.92	41.75	114.54
受橋		個	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	5	11
4-ス管	T-1	”	—	2	2	2	2	—	8	—	2	2	2	—	6	14
ネジキャップ		”	—	1	1	1	1	—	4	—	1	1	1	—	3	7
キャップ		”	—	1	1	1	1	—	4	—	1	1	1	—	3	7
45°曲管	P150	”	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	5	11
取付金具	S-1	”	4	1	1	1	1	1	9	3	1	1	1	3	9	18
	特S	”	—	8	10	9	9	2	38	—	7	8	5	—	20	58

特S-(2) S=1:15



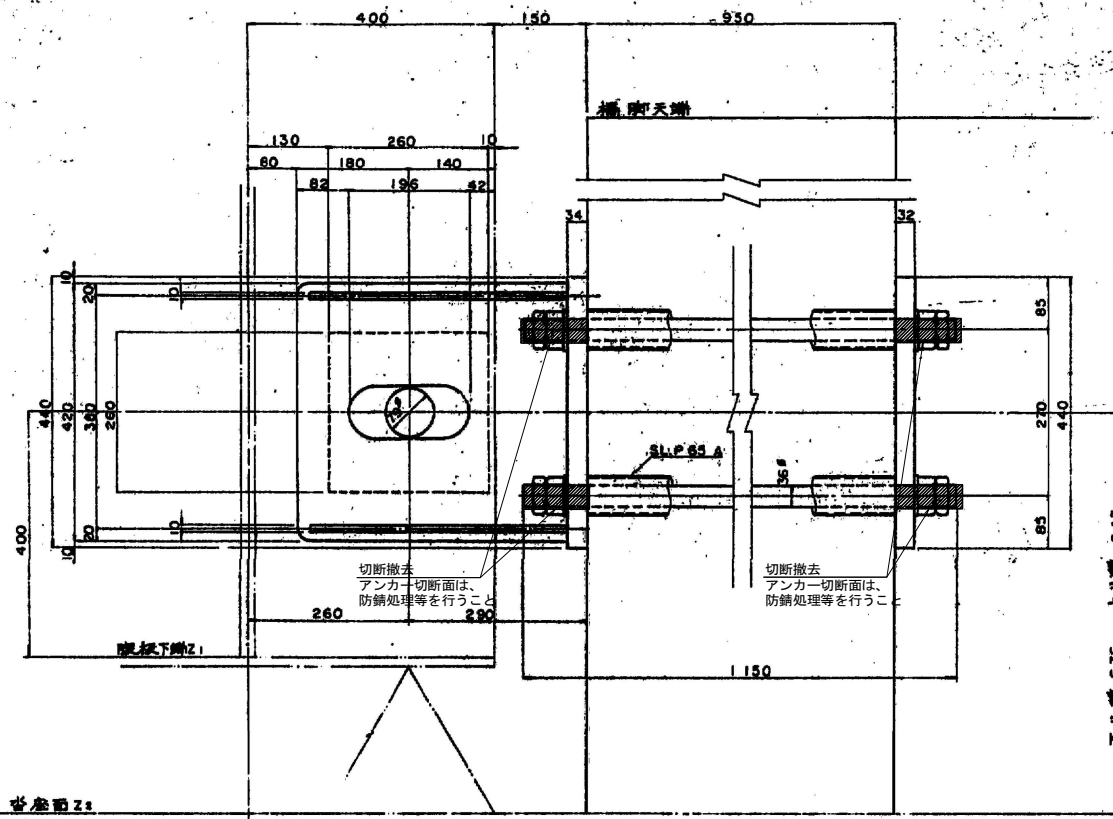
位置図



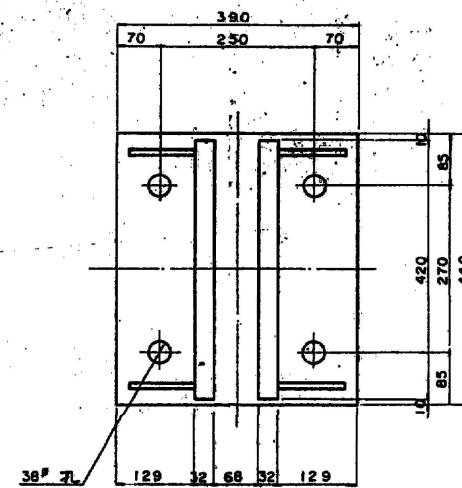
※完成図を基に作成している。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
神の山橋（上り線）			
P1～P4橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図			
図面の種類	縮尺	図示	図面番号
			59/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

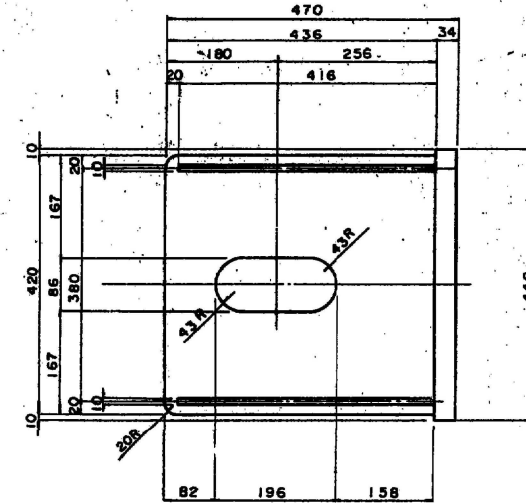




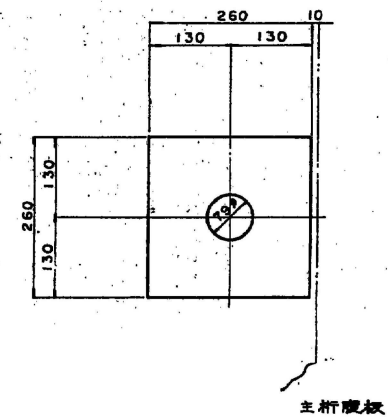
ベースプレート詳細



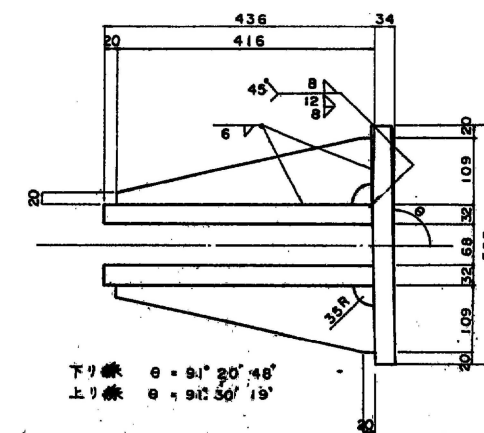
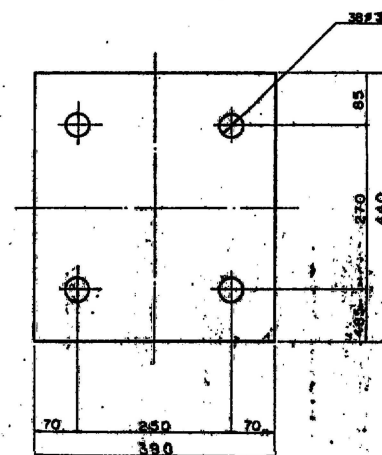
連結板詳細



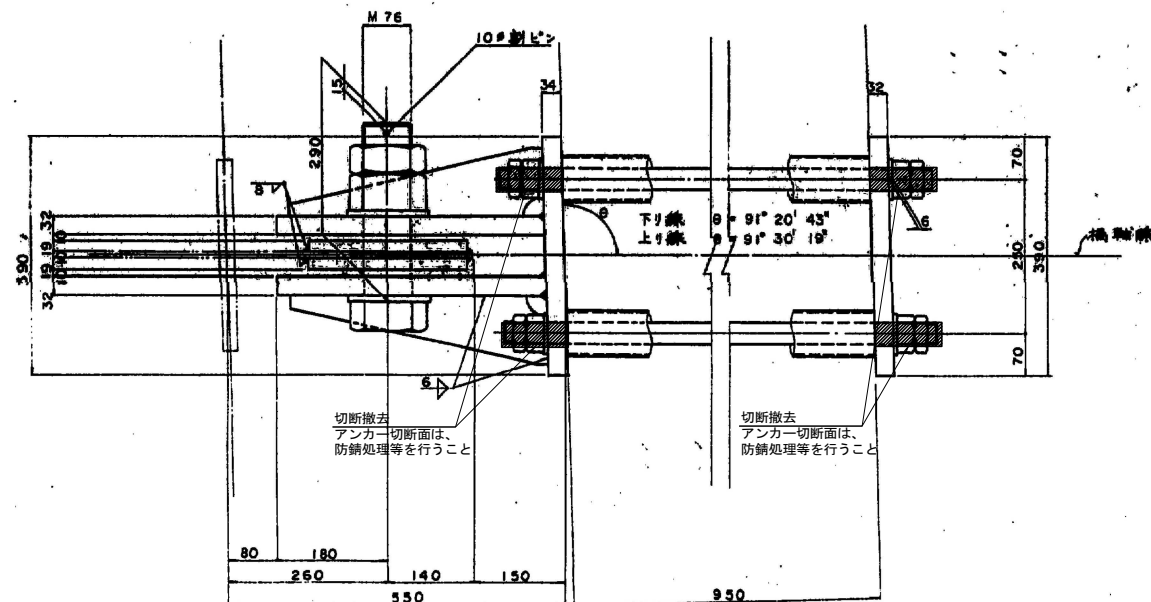
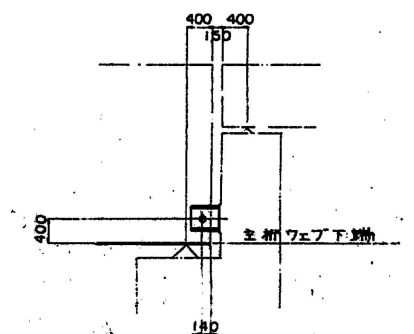
補強板詳細



アンカープレート詳細

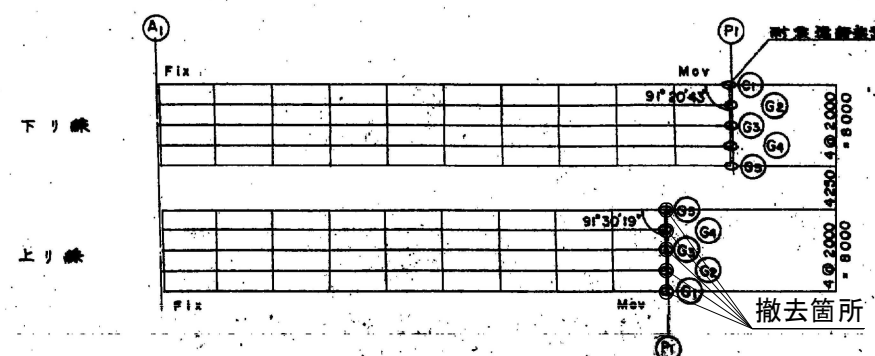


位置図



	上り線					下り線				
	G1	G2	G3	G4	G5	G1	G2	G3	G4	G5
Z1	51.987	51.907	51.825	51.746	51.666	51.487	51.567	51.648	51.728	51.808
Z2	51.740	51.660	51.580	51.500	51.420	51.212	51.292	51.372	51.452	51.532

配置図



注記

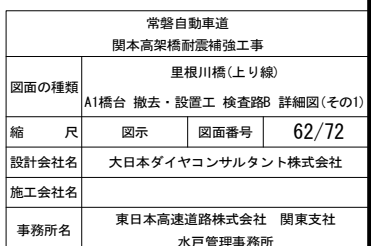
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
2. 補強板を除く全ての部材は溶接溶融メッキとする。溶融メッキ量はJIS B641のHDZ 55CとレボルトナットHDZ 35Aとする。
3. 補強板は鋼と同一塗装とする。
4. この図面は完成図を基に作成している。

- 1 - PI 390 x 34 x 440 (SM53B)
- 1 - " x 32 x " (SM41A)
- 1 - " 420 x " x 433 ( " )
- 1 - " x " x 438 ( " )
- 2 - " 109 x 10 x 415
- 2 - " x " x 421
- 2 - " 260 x 19 x 260
- 1 - Bolt M76 x 290 (S35C-N)
- 1 - Nut M76 (1個)
- 1 - " (3個)
- 1 - 制ピン 10# x 90 (SWRM10)

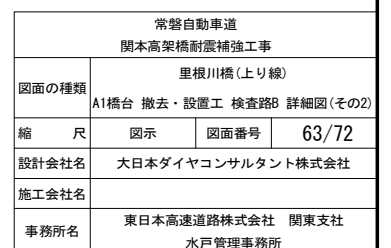
- 4 - Anchor Bolt 36# x 1150 → 4-アンカーボルトφ36×200撤去
- 8 - Nut M36 (1個)
- 8 - " (3個)
- 8 - Washer PI 70 x 8 x 70 (チバーワッシャー)
- 2 - Washer 135# x 10 (M76用)
- (4 - S.L.P. 65A x 950) 施工外

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) 撤去工 既設耐震連結装置		
縮尺	図示	図面番号	61/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

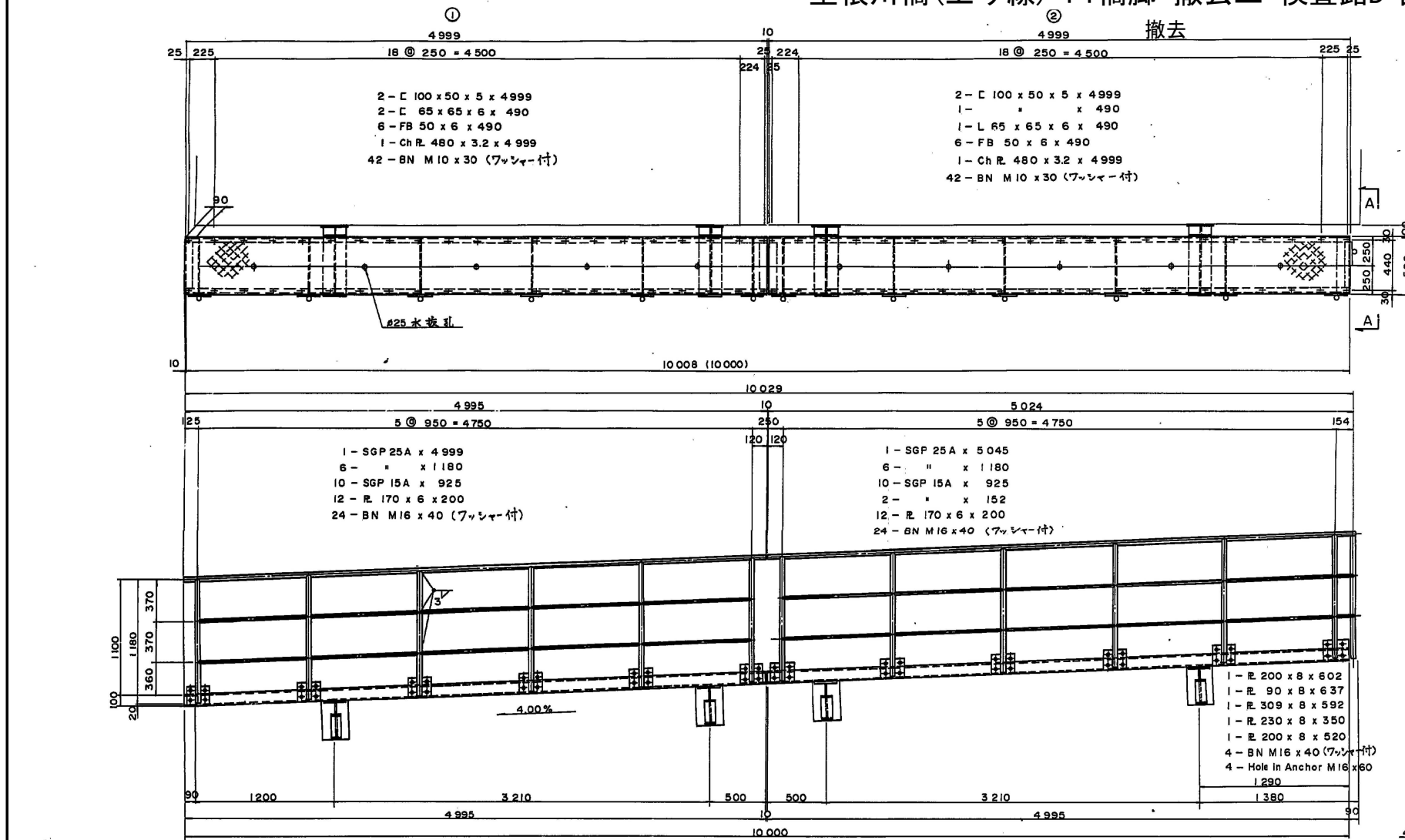




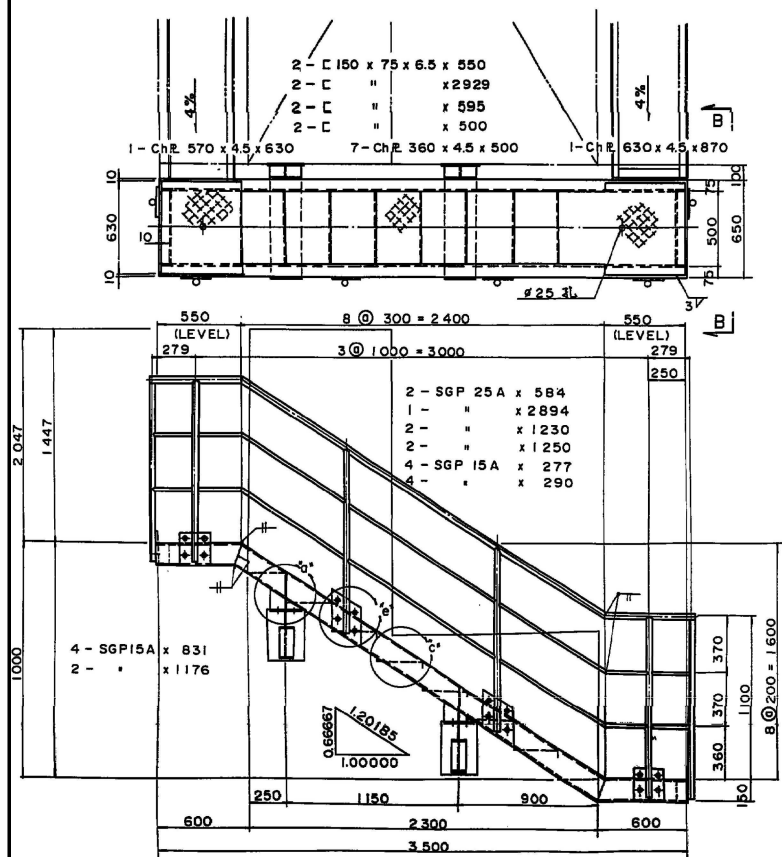
## 計画



里根川橋(上り線) P1橋脚 撤去工 検査路B 詳細図 S=1:50

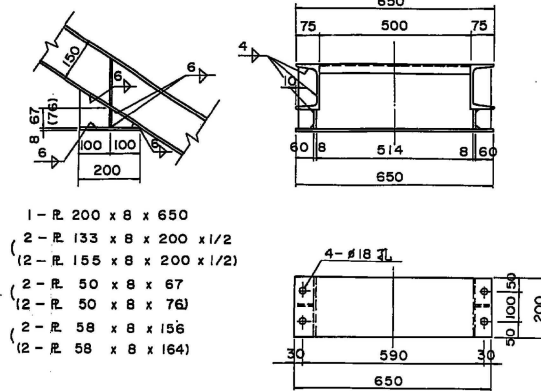


上り線側

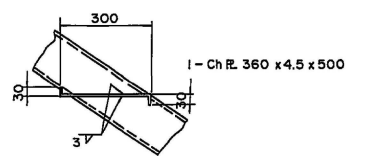


"a"部詳細 S=1:25

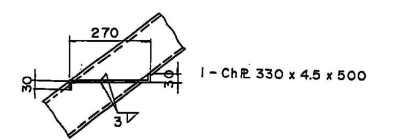
\* ( ) 内寸法は "b" 部側を基準



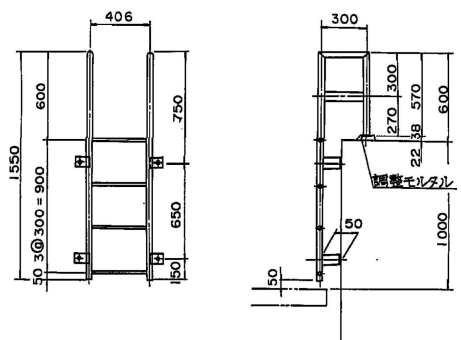
"c"部詳細 S=1:25



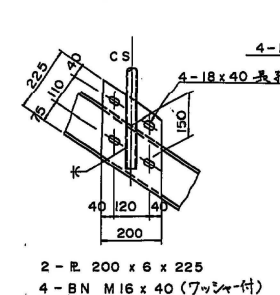
"d"部詳細 S=1:25



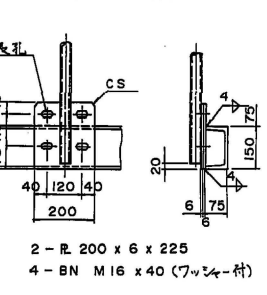
イ 梯子詳細 S=1:50



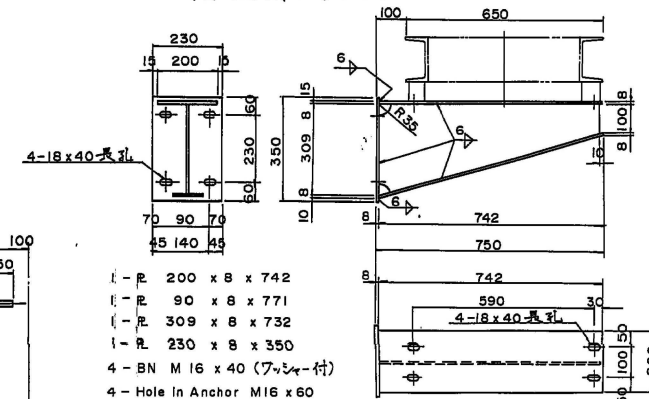
"e"部詳細 S=1:25



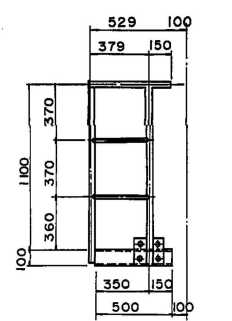
"g"部詳細 S=1:25



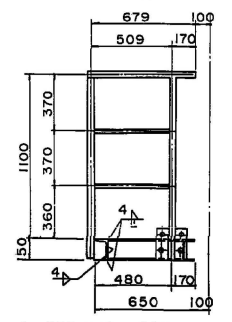
階段用ブラケット S=1:25



A - A

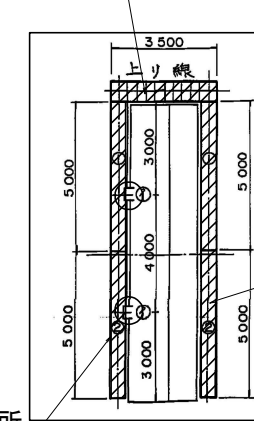


B - B



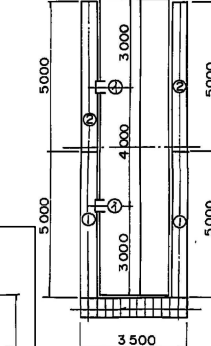
配置図

検査路  
撤去箇所



検査路  
撤去箇所

下り線



検査路  
撤去箇所

- 注)
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
  2. 本図検査路は上り線鋼材を示し他の検査路は傾斜方向に留意すること。
  3. 各部の詳細は検査路(2)の参照のこと。
  4. 部材は全て亜鉛メッキを施す。亜鉛の付着量はJISH 8641のHDZ55とする。但しBNの付着量はHDZ35Rとする。

※完成図を基に作成している。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事	里根川橋(上り線) P1橋脚 撤去工 検査路B 詳細図
図面の種類	縮 尺 図示 図面番号 64/72
設計会社名	大日本ダイコンサルタント株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	水戸管理事務所

里根川橋(上り線) P1橋脚 設置工 検査路B 詳細図(その1) S=1:75

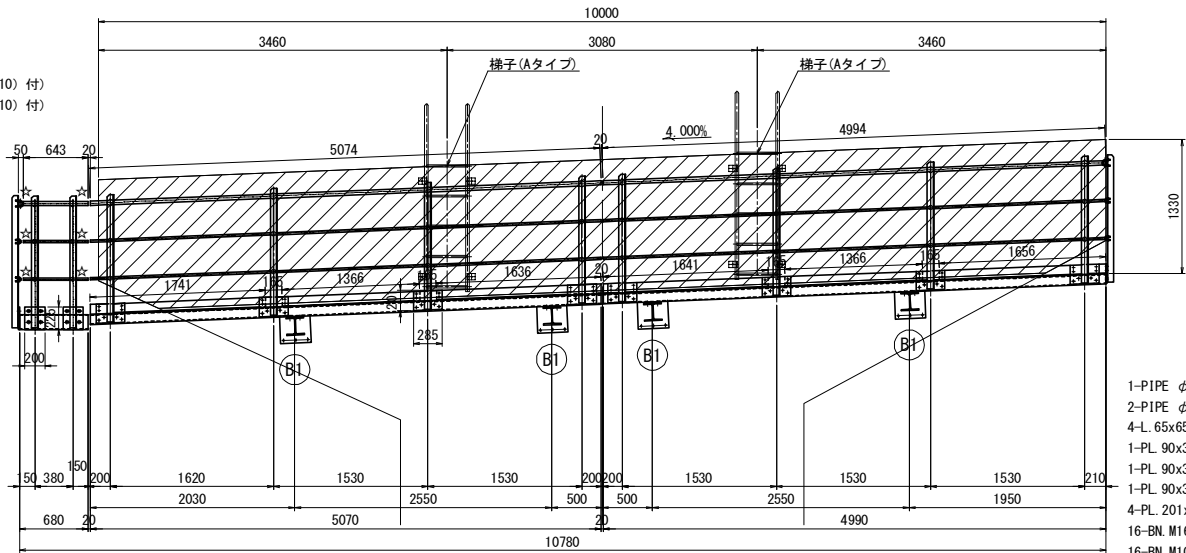
階段部

- 1-PPIPE φ42. 7x2. 3x643 (STK400)
- 2-PPIPE φ21. 7x1. 9x643 (STK400)
- 2-L. 65x65x6x1258
- 4-PL. 225x6x200 (SM400A)
- 8-BN. M16x45 (2-W)
- 2-U. BOLT 呼び32 (C形, 1, 3種ナット (M10) 付)
- 4-U. BOLT 呼び15 (C形, 1, 3種ナット (M10) 付)

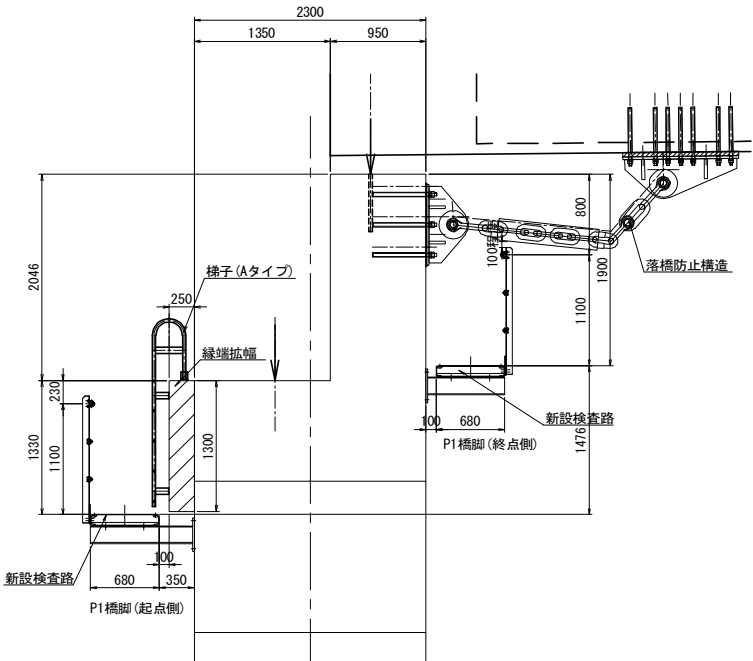
- 1-PPIPE φ42. 7x2. 3x5074 (STK400)
- 2-PPIPE φ21. 7x1. 9x5074 (STK400)
- 4-L. 65x65x6x1258
- 1-PL. 90x3. 2x1741
- 1-PL. 90x3. 2x1366
- 1-PL. 90x3. 2x1636
- 4-PL. 201x12x285 (SM400A)
- 16-BN. M16x45 (2-W)
- 16-BN. M10x35 (2-W)
- 4-U. BOLT 呼び32 (C形, 1, 3種ナット (M10) 付)
- 8-U. BOLT 呼び15 (C形, 1, 3種ナット (M10) 付)

- 1-PPIPE φ42. 7x2. 3x4994 (STK400)
- 2-PPIPE φ21. 7x1. 9x4994 (STK400)
- 4-L. 65x65x6x1258
- 1-PL. 90x3. 2x1641
- 1-PL. 90x3. 2x1366
- 1-PL. 90x3. 2x1656
- 4-PL. 201x12x285 (SM400A)
- 16-BN. M16x45 (2-W)
- 16-BN. M10x35 (2-W)
- 4-U. BOLT 呼び32 (C形, 1, 3種ナット (M10) 付)
- 8-U. BOLT 呼び15 (C形, 1, 3種ナット (M10) 付)

起点側  
A - A



C - C



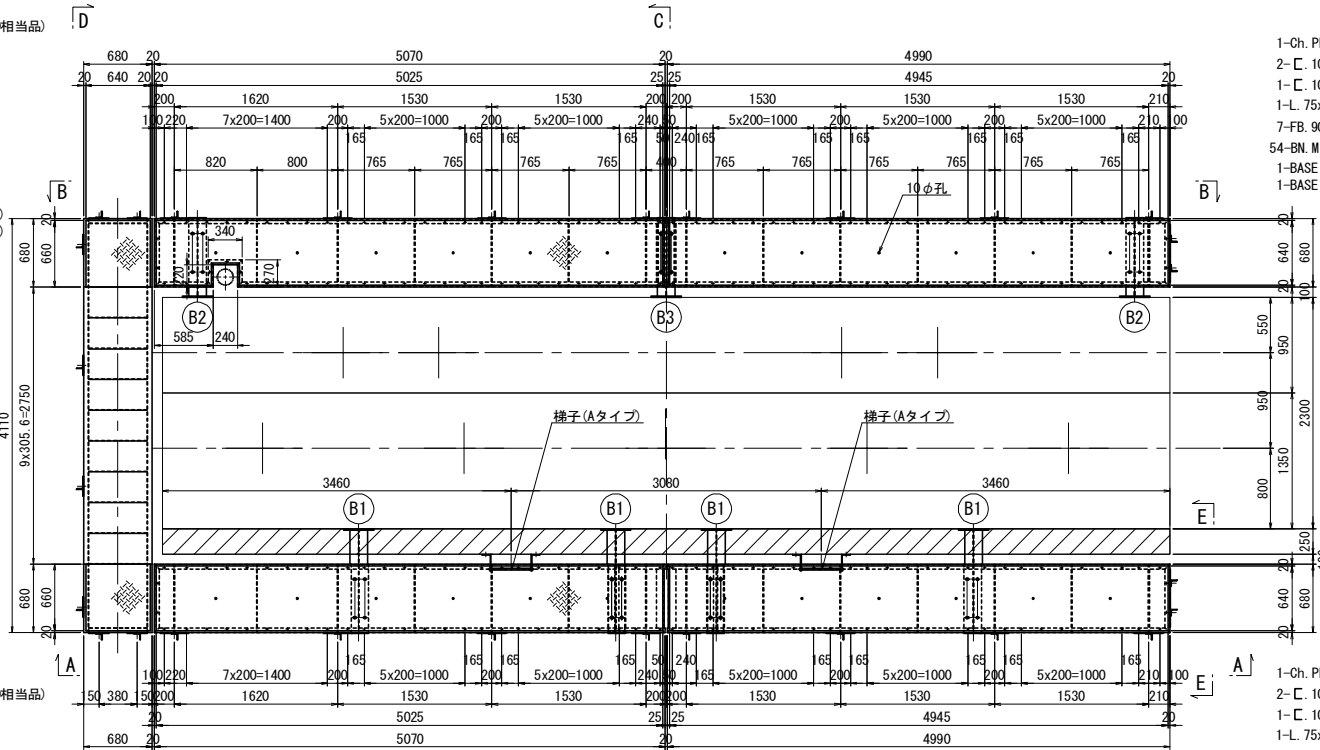
終点側  
C - C

- 1-Ch. PL. 640x3. 2x5029 (SS400相当品)
- 1-C. 100x50x5x7. 5x5078
- 1-C. 100x50x5x7. 5x 585
- 2-C. 100x50x5x7. 5x 270
- 1-C. 100x50x5x7. 5x 340
- 1-C. 100x50x5x7. 5x 680
- 1-L. 75x75x6x670
- 7-FB. 90x9x670
- 56-BN. M10x30 (1-W, 1-TW)
- 1-BASE. PL. 160x9x660 (SM400A)
- 1-BASE. PL. 60x9x660 (SM400A)

- 1-Ch. PL. 640x3. 2x5029 (SS400相当品)
- 2-C. 100x50x5x7. 5x5074
- 1-C. 100x50x5x7. 5x680
- 1-L. 75x75x6x670
- 7-FB. 90x9x670
- 54-BN. M10x30 (1-W, 1-TW)
- 2-BASE. PL. 160x9x660 (SM400A)

- 1-Ch. PL. 640x3. 2x4949 (SS400相当品)
- 2-C. 100x50x5x7. 5x4994
- 1-C. 100x50x5x7. 5x680
- 1-L. 75x75x6x670
- 7-FB. 90x9x670
- 54-BN. M10x30 (1-W, 1-TW)
- 1-BASE. PL. 160x9x660 (SM400A)
- 1-BASE. PL. 60x9x660 (SM400A)

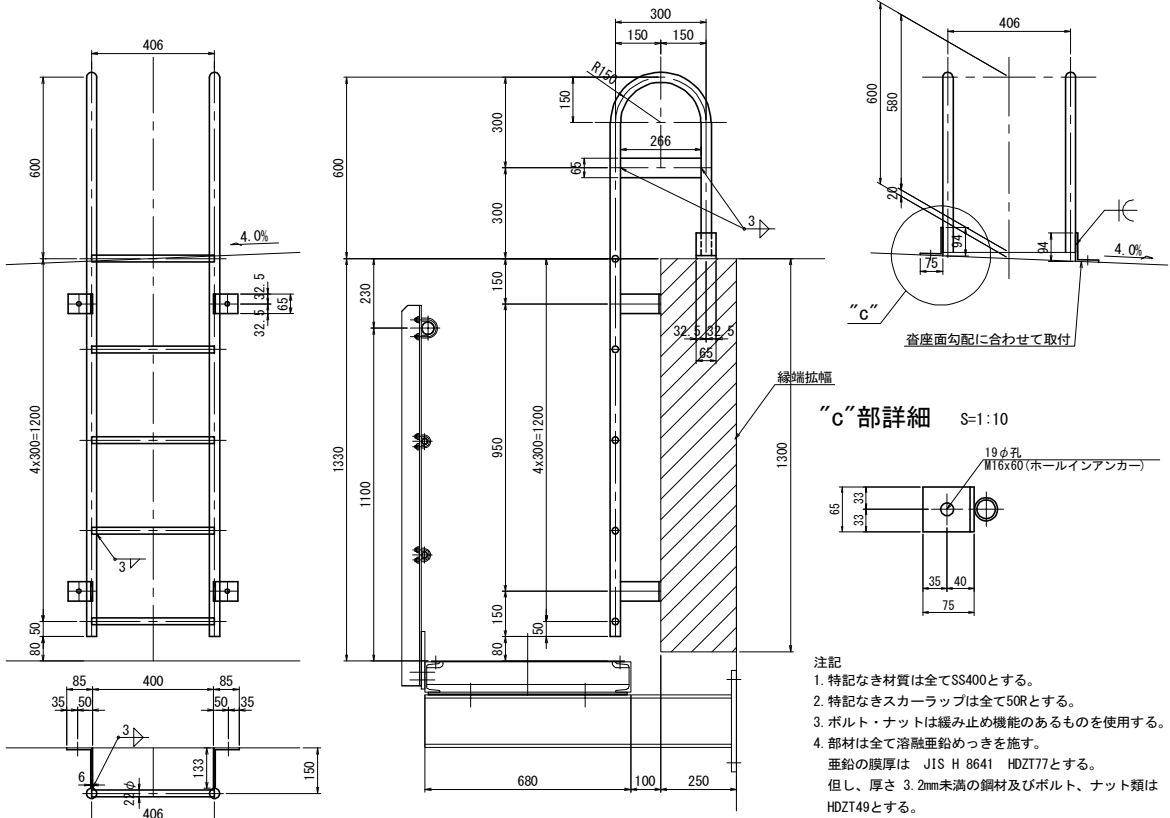
- 1-Ch. PL. 640x3. 2x4949 (SS400相当品)
- 2-C. 100x50x5x7. 5x4998
- 1-C. 100x50x5x7. 5x680
- 1-L. 75x75x6x670
- 7-FB. 90x9x670
- 54-BN. M10x30 (1-W, 1-TW)
- 2-BASE. PL. 160x9x660 (SM400A)



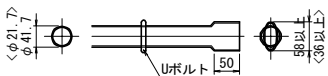
梯子詳細 S=1:25

Aタイプ

製作数: 2ヶ



☆印 手摺抜け落ち防止加工詳細 S=1:15



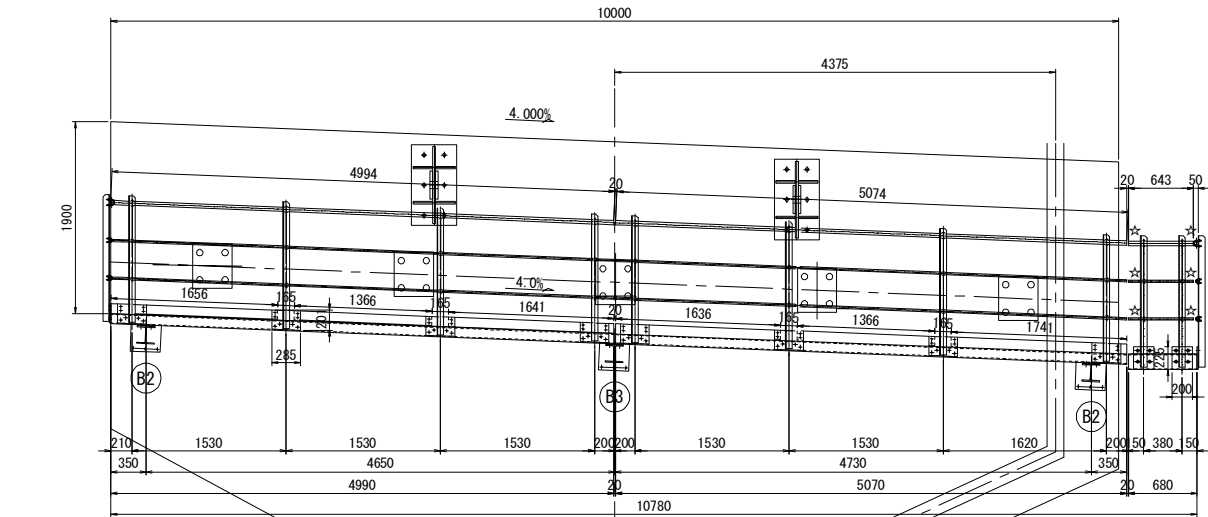
支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ  
図面中は☆印で示す

- 1. 特記なき材質は全てSS400とする。
  - 2. 特記なきスカラーラップは全て50Rとする。
  - 3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。
  - 4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
- 垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) P1橋脚		
	設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	65/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

里根川橋(上り線) P1橋脚 設置工 検査路B 詳細図(その2) S=1:75

終点側  
B - B

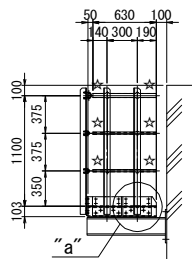


- 1-PIPE φ42.7x2.3x4994 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x4994 (STK400)  
4-L. 65x65x6x1258  
1-PL. 90x3.2x1656  
1-PL. 90x3.2x1366  
1-PL. 90x3.2x1641  
4-PL. 201x12x285 (SM400A)  
16-BN. M16x45 (2-W)  
16-BN. M10x35 (2-W)  
4-U. BOLT 呼び32 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)  
8-U. BOLT 呼び15 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)

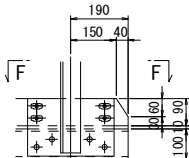
階段部

- 1-PIPE φ42.7x2.3x5074 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x5074 (STK400)  
4-L. 65x65x6x1258  
1-PL. 90x3.2x1636  
1-PL. 90x3.2x1366  
1-PL. 90x3.2x1741  
4-PL. 201x12x 285 (SM400A)  
16-BN. M16x45 (2-W)  
16-BN. M10x35 (2-W)  
4-U. BOLT 呼び32 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)  
8-U. BOLT 呼び15 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)
- 1-PIPE φ42.7x2.3x643 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x643 (STK400)  
4-L. 65x65x6x1258  
4-PL. 225x6x200 (SM400A)  
8-BN. M16x45 (2-W)  
2-U. BOLT 呼び32 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)  
4-U. BOLT 呼び15 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)

E - E



“a”部詳細 S=1:25



F - F



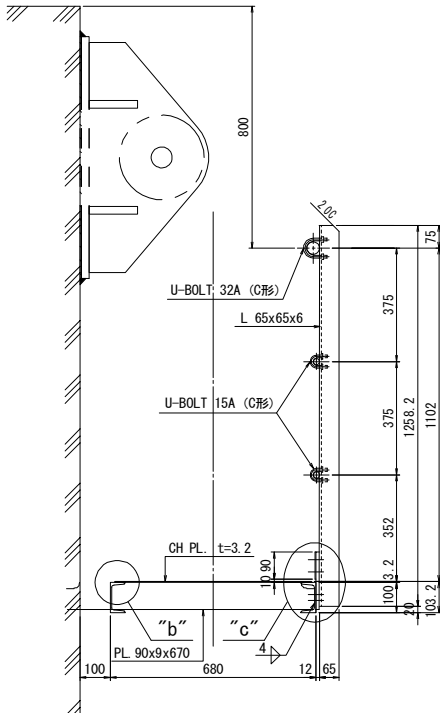
- 1-PIPE φ42.7x2.3x630 (STK400)  
2-PIPE φ21.7x1.9x630 (STK400)  
4-L. 65x65x6x1258  
1-PL. 90x3.2x680  
2-PL. 190x12x285 (SM400A)  
8-BN. M16x45 (2-W)  
8-BN. M10x35 (2-W)  
2-U. BOLT 呼び32 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)  
4-U. BOLT 呼び15 (C形, 1,3種ナット (M10) 付)

☆印 手摺抜け落ち防止加工詳細 S=1:15

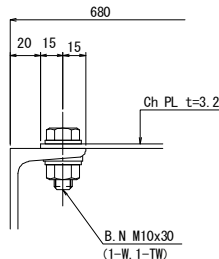


支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ  
図面中は☆印で示す

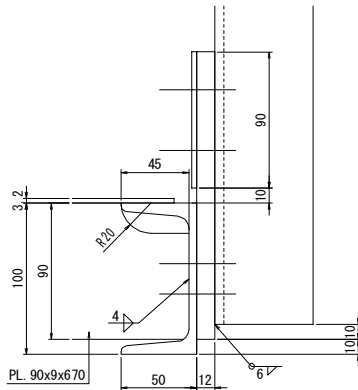
検査路断面詳細 S=1:25



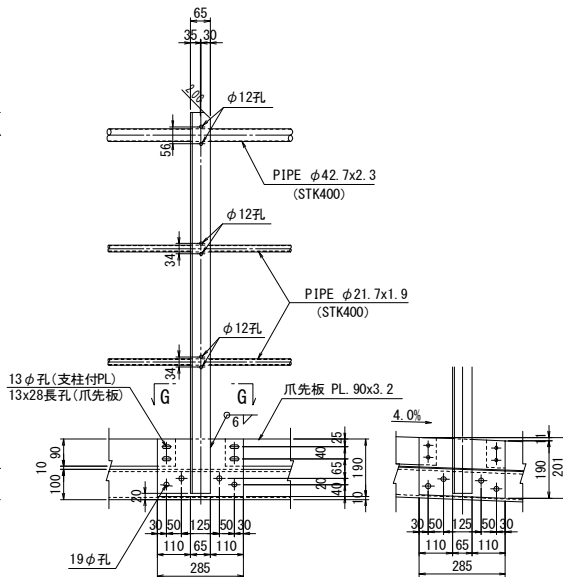
“b”部詳細 S=1:5



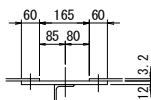
“c”部詳細 S=1:5



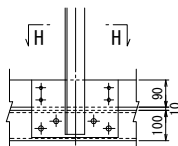
側面部



G - G



支柱端部



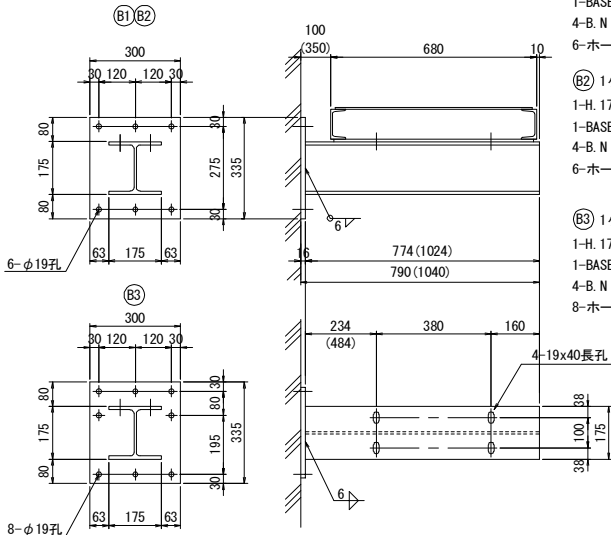
H - H



通路用ブラケット S=1:25

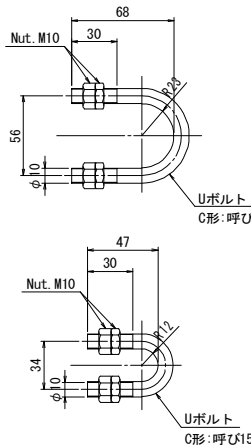
(B1) (B2) (B3)

製作数: (B1) 4ヶ, (B2) 2ヶ, (B3) 1ヶ



( ) 内寸法は、B1ブラケットを示す。

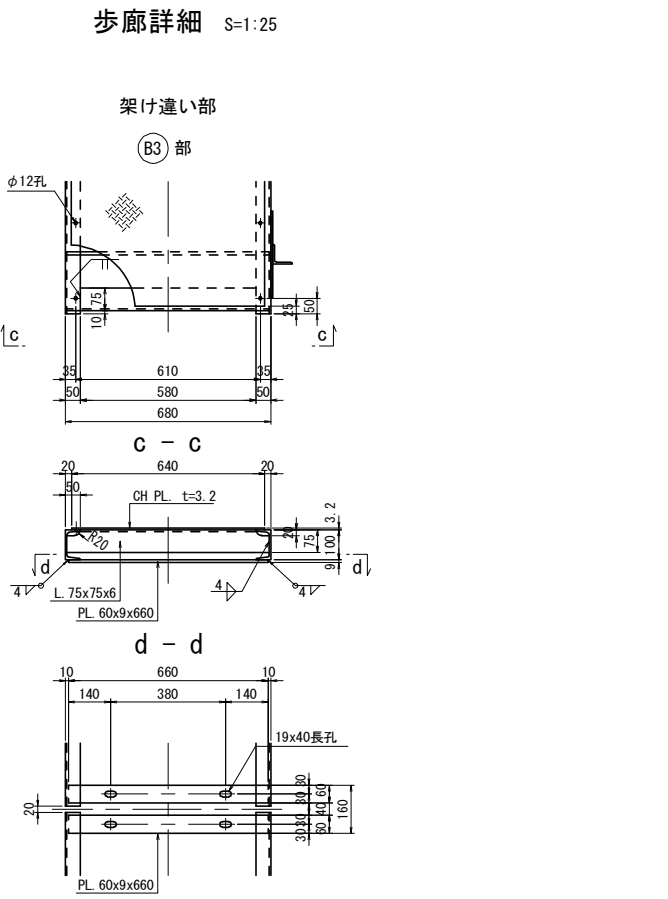
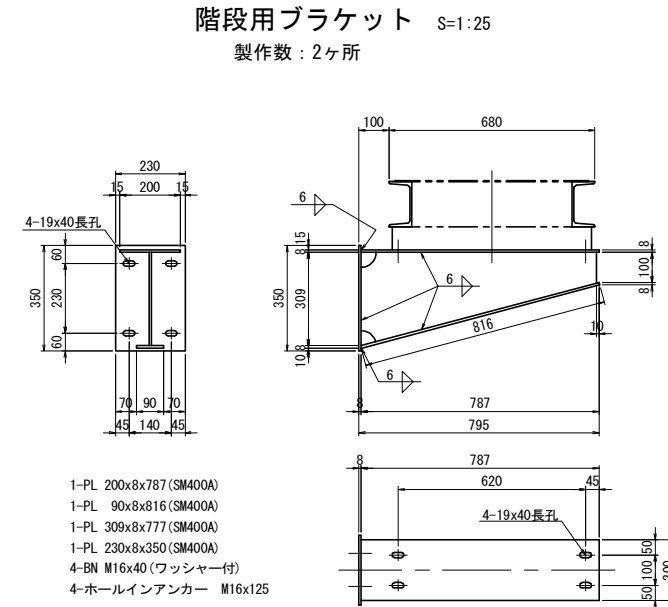
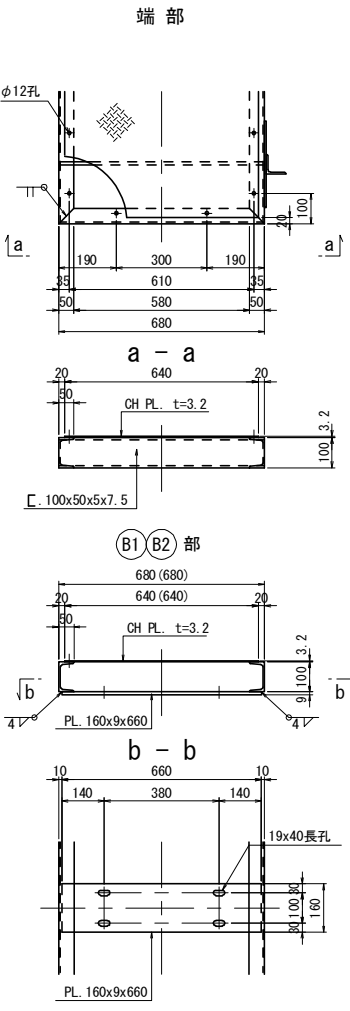
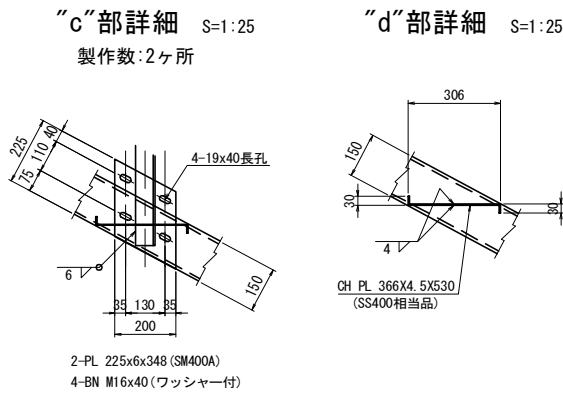
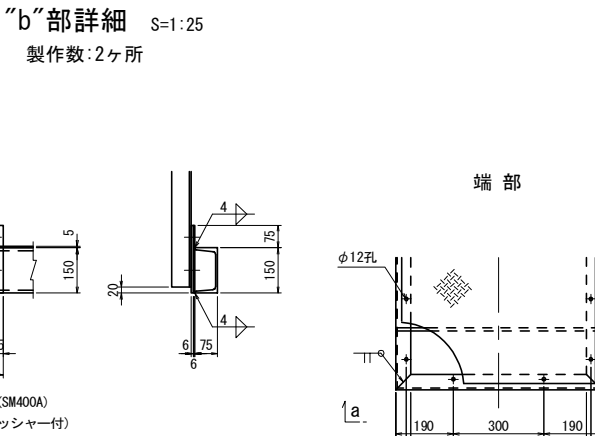
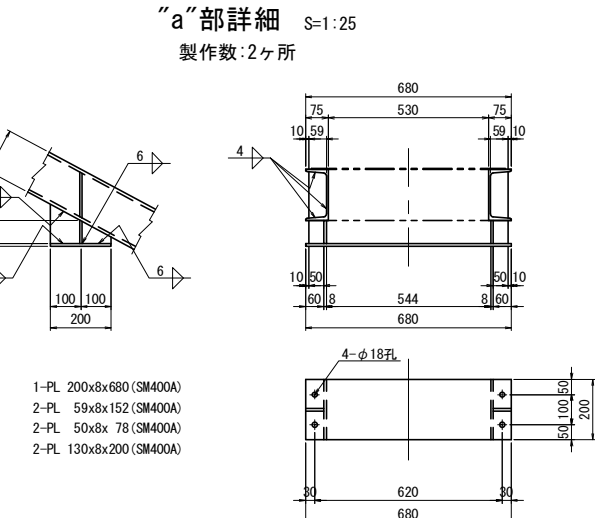
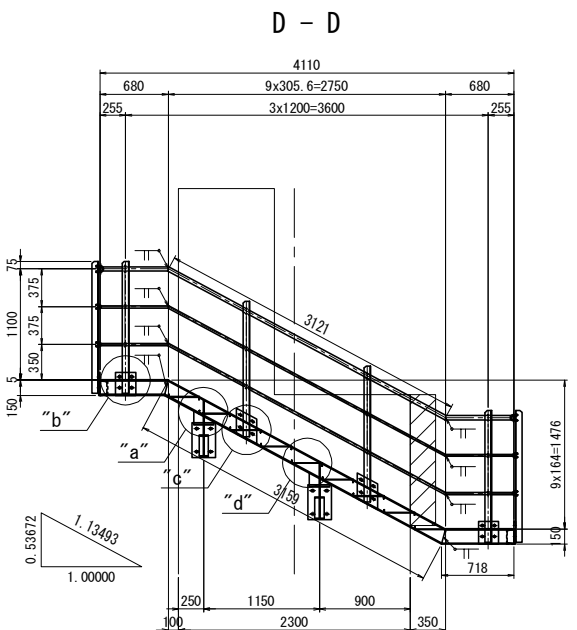
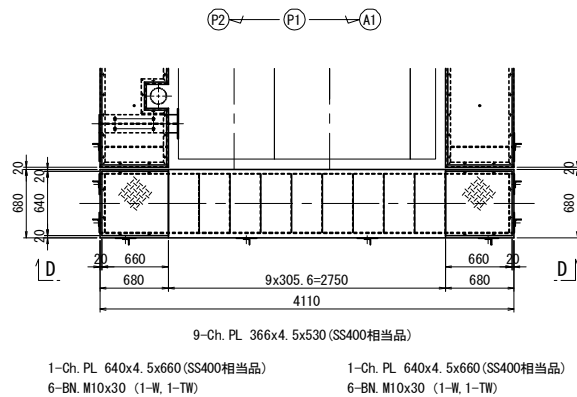
Uボルト詳細 S=1:5



- 注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) P1橋脚		
	設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	66/72
設計会社名	大日本ダイコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

里根川橋(上り線) P1橋脚 設置工 検査路B 詳細図(その3) S=1:75

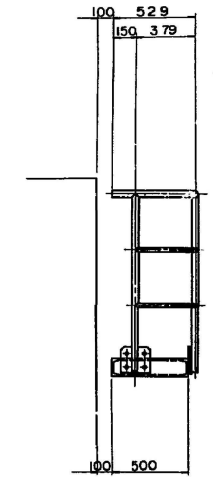
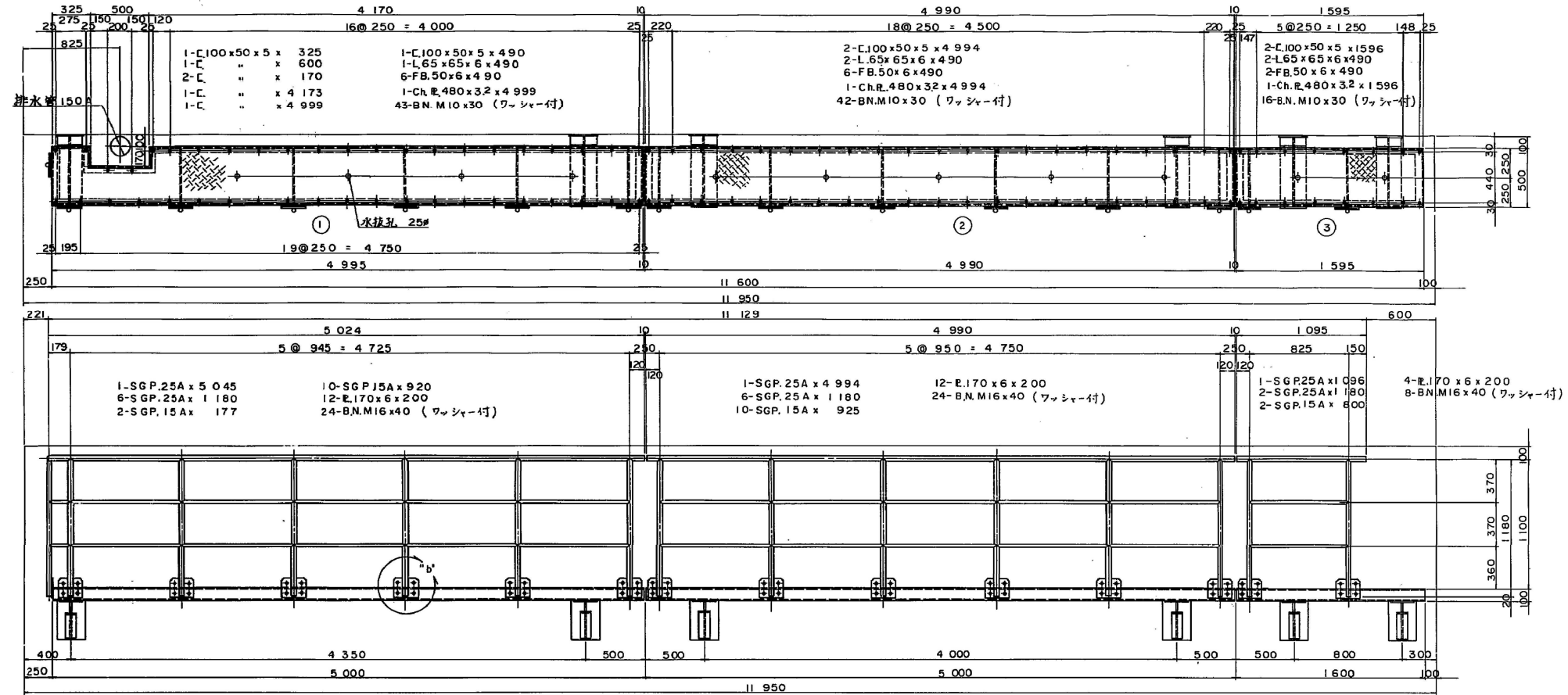


注記  
1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。  
3. ボルト・ナットは緩み止め機能のあるものを使用する。  
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
垂鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の鋼材及びボルト、ナット類は HDZT49とする。

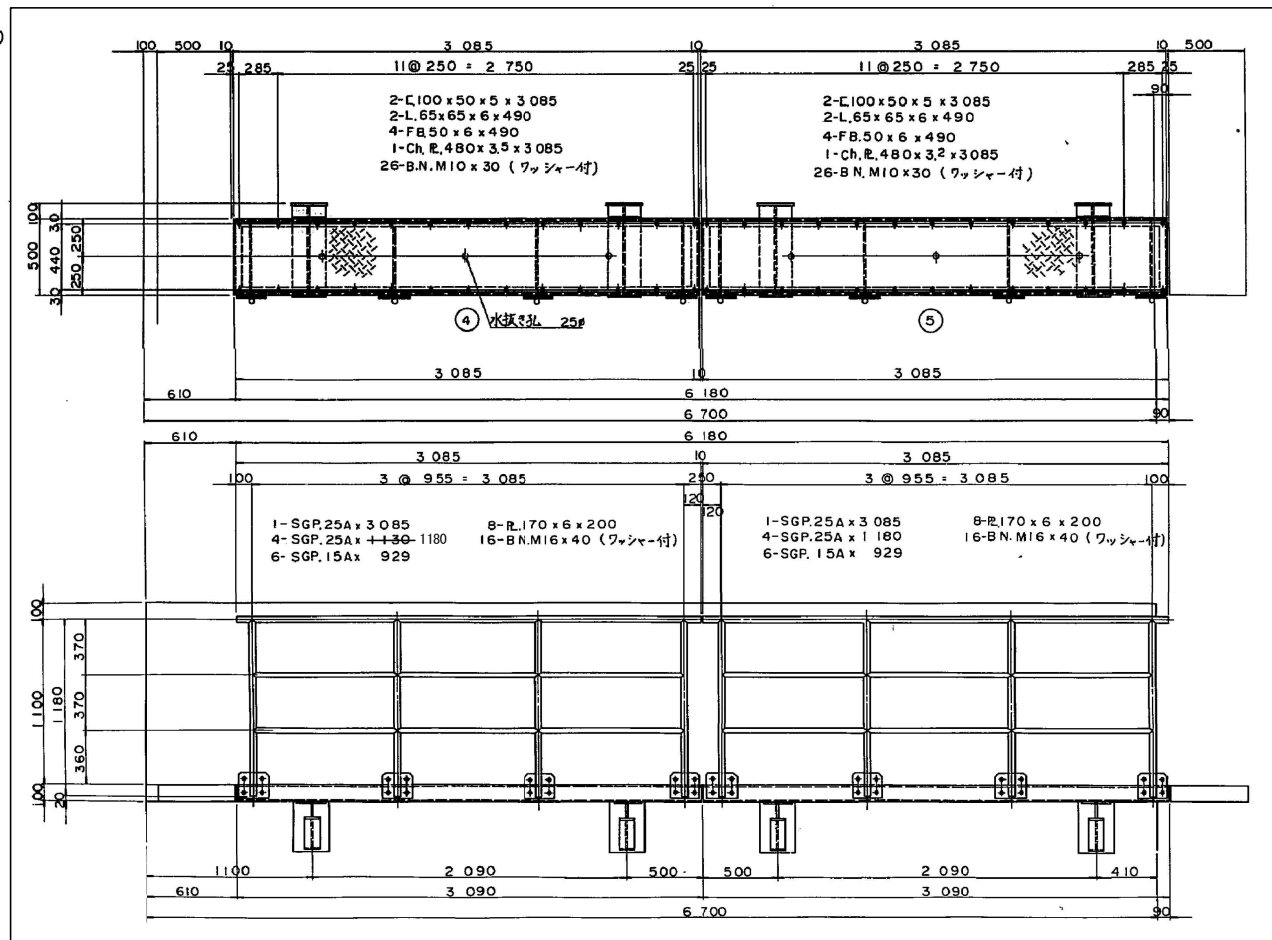
常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) P1橋脚		
	設置工 検査路B 詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	67/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

里根川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1) S=1:50

撤去・設置

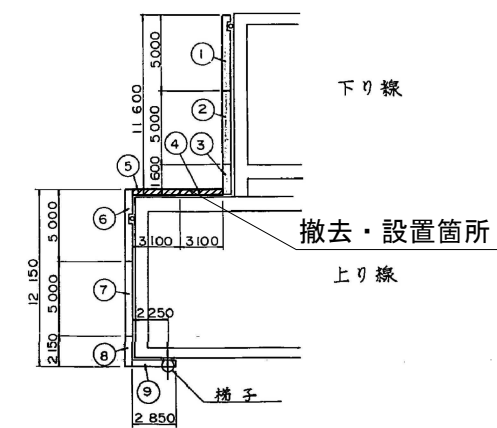


1-SGP.25A x 546  
1-SGP.25A x 1180  
2-SGP.15A x 377  
2-E.170 x 6 x 200  
4-B.N.M16x40 (ワッシャー付)



既設④⑤検査路 A2 668mm下げて設置

配置図 (A2)



- 注記
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
  2. 部材は全て亜鉛メッキを施す。  
亜鉛の付着量はJIS H 8641のHDZ55とする。  
但しボルト、ナットの付着量はHDZ35Aとする。
  3. フラケット及びb部、メッキ用空気孔詳細は  
検査路(その2)を参照のこと。

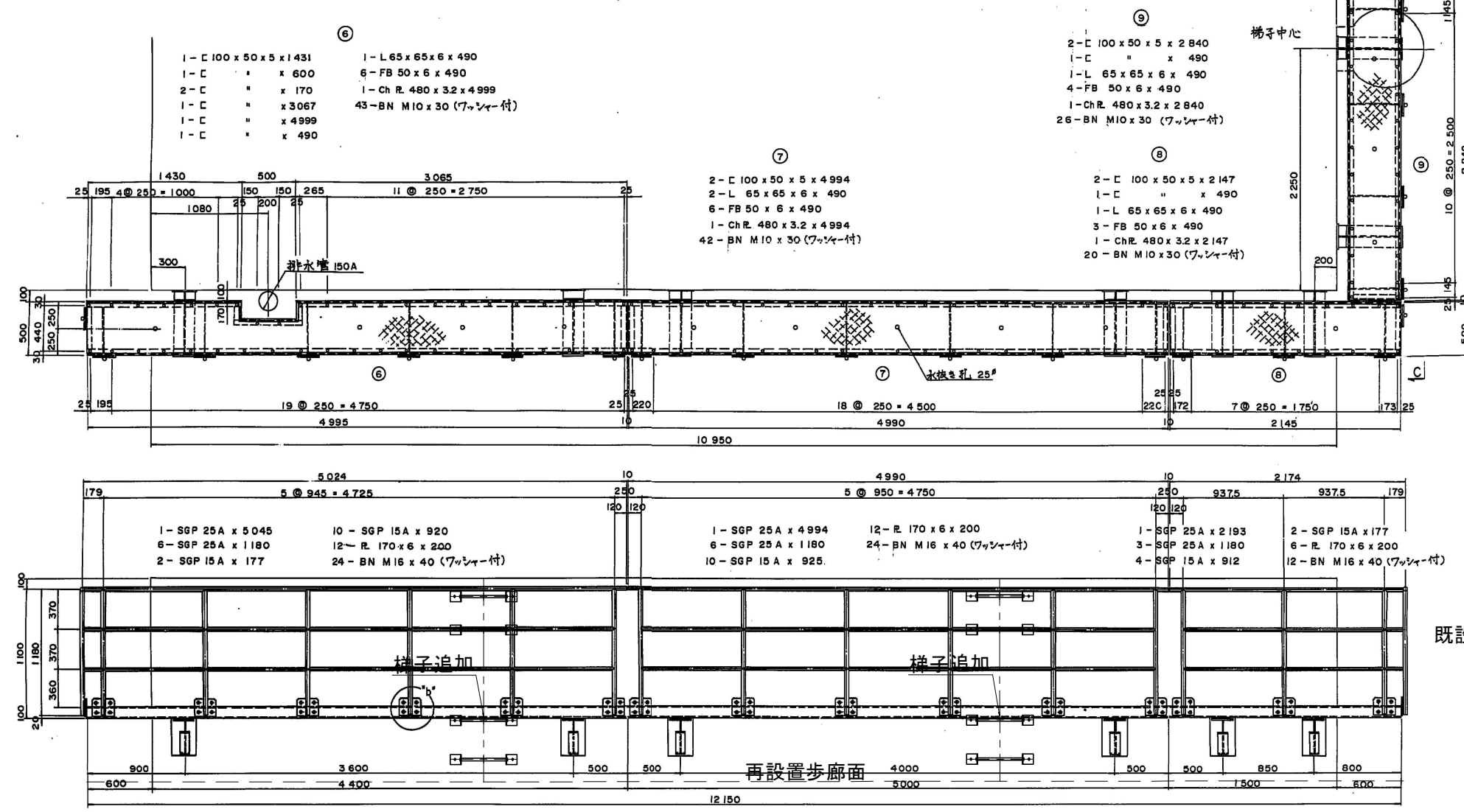
※完成図を基に作成している。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) A2橋台		
	撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	68/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

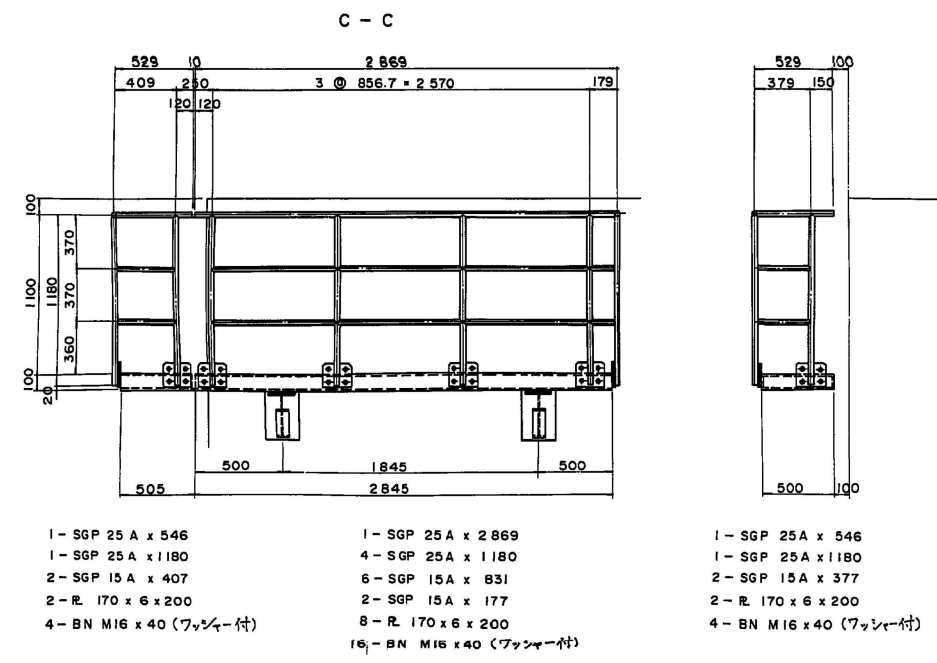
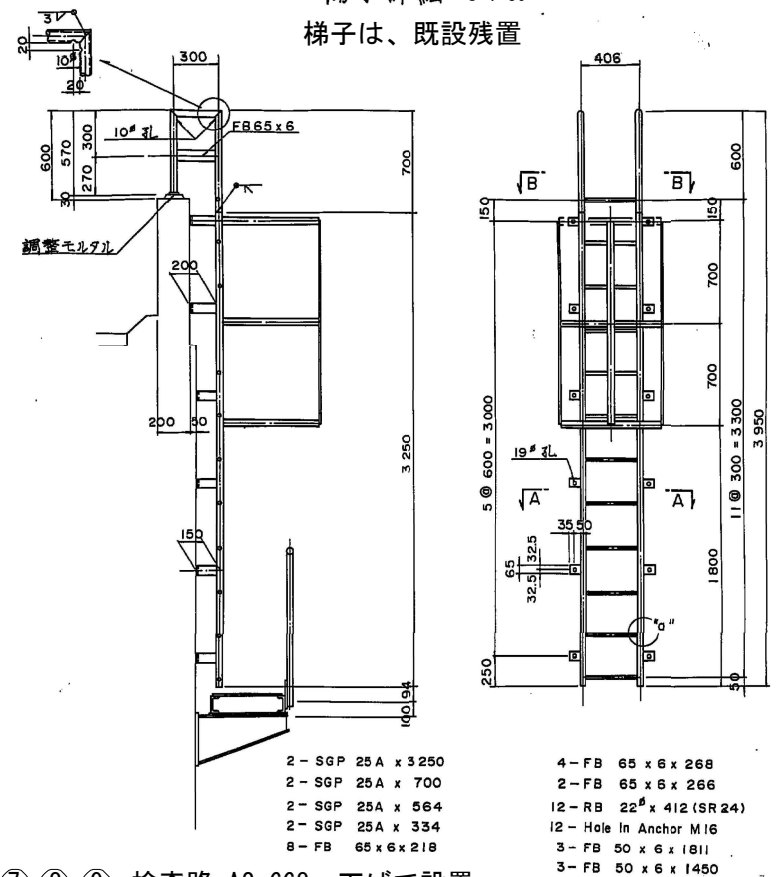


里根川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2) S=1:50

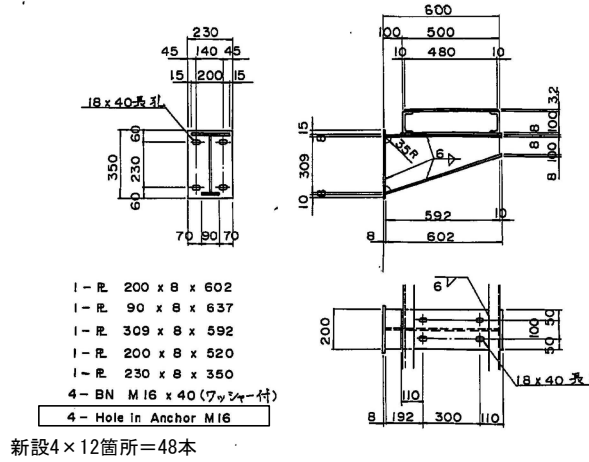
A2橋台



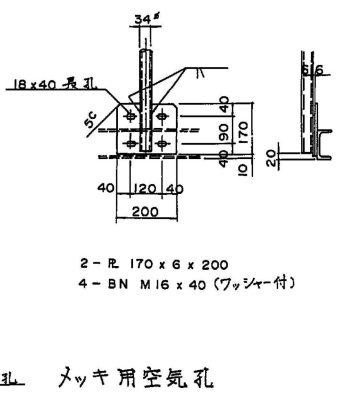
梯子詳細 S=1:50  
梯子は、既設残置



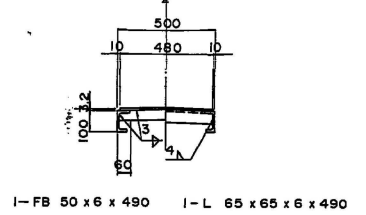
ブラケット詳細 S=1:37.5



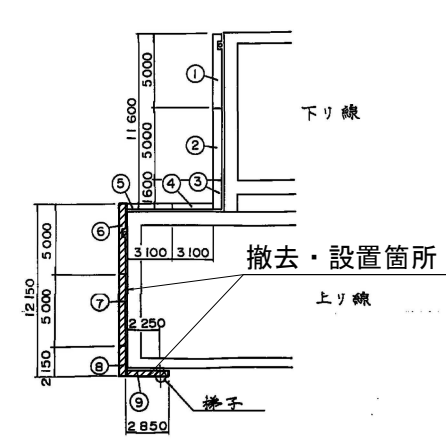
②部詳細 S=1:25



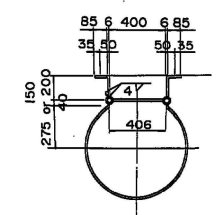
中間部 端部



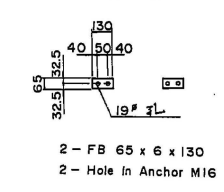
配置図 ②



A-A



B-B



注記

1. 特記なき材質は全てSS41とする。

2. 部材は全て亜鉛メッキを施す。

3. 亜鉛の付着量はJISH8641のHDZ55とする。

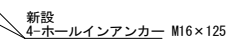
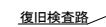
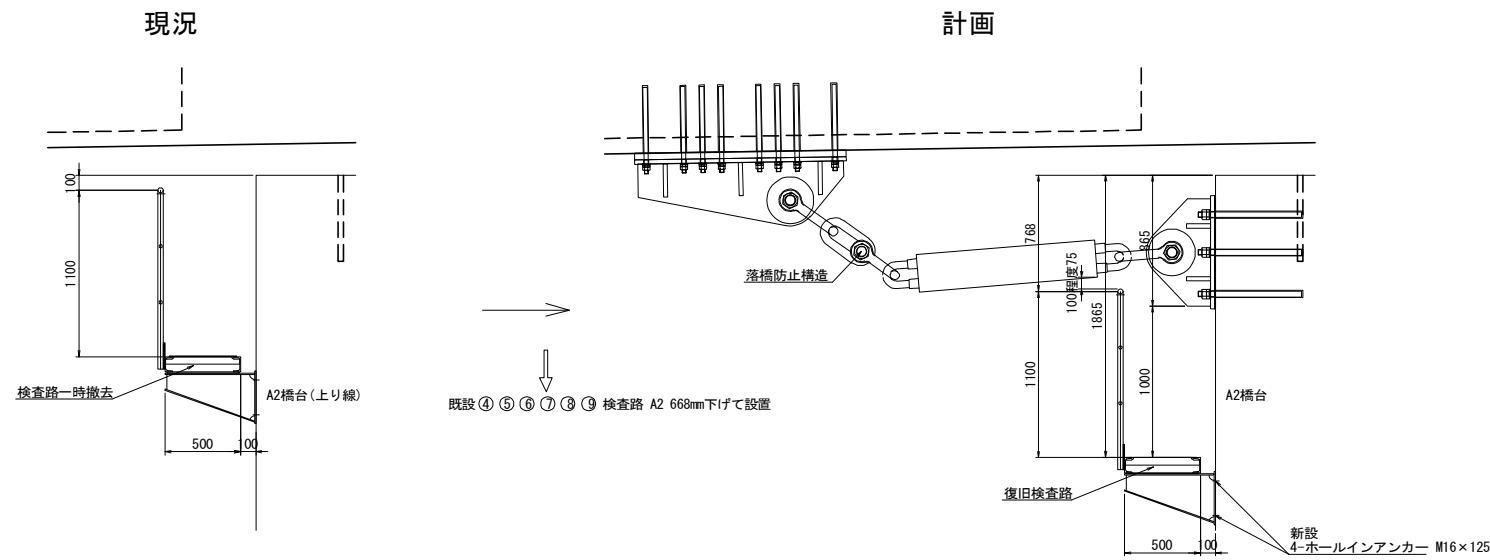
4. 但しボルト、ナットの付着量はHDZ35Aとする。

※完成図を基に作成している。

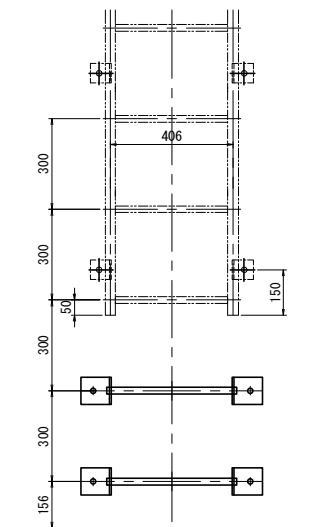
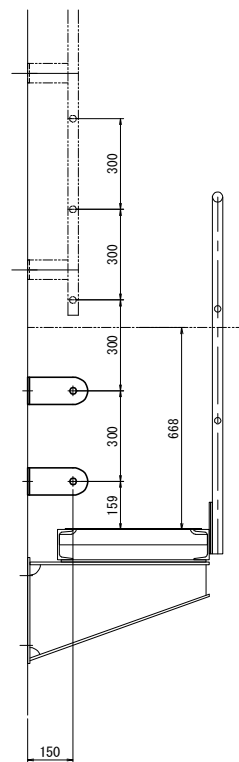
常磐自動車道	関本高架橋耐震補強工事
図面の種類	里根川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2)
縮尺	図示 図面番号 69/72
設計会社名	大日本デザインコンサルタント株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	水戸管理事務所



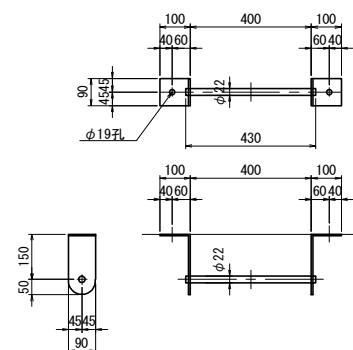
A2橋台(上り線) 検査路



梯子詳細 (1箇所) S=1:25



## ステップ詳細



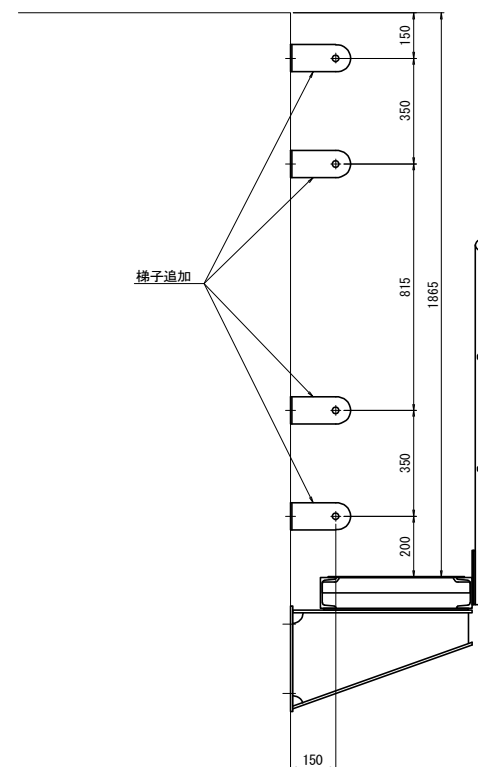
製作数:n=10  
1-RB φ22x430  
2-FB 90x6x300  
2-ホールインアンカー M16x125

1-RB  $\phi 22 \times 430$

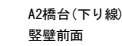
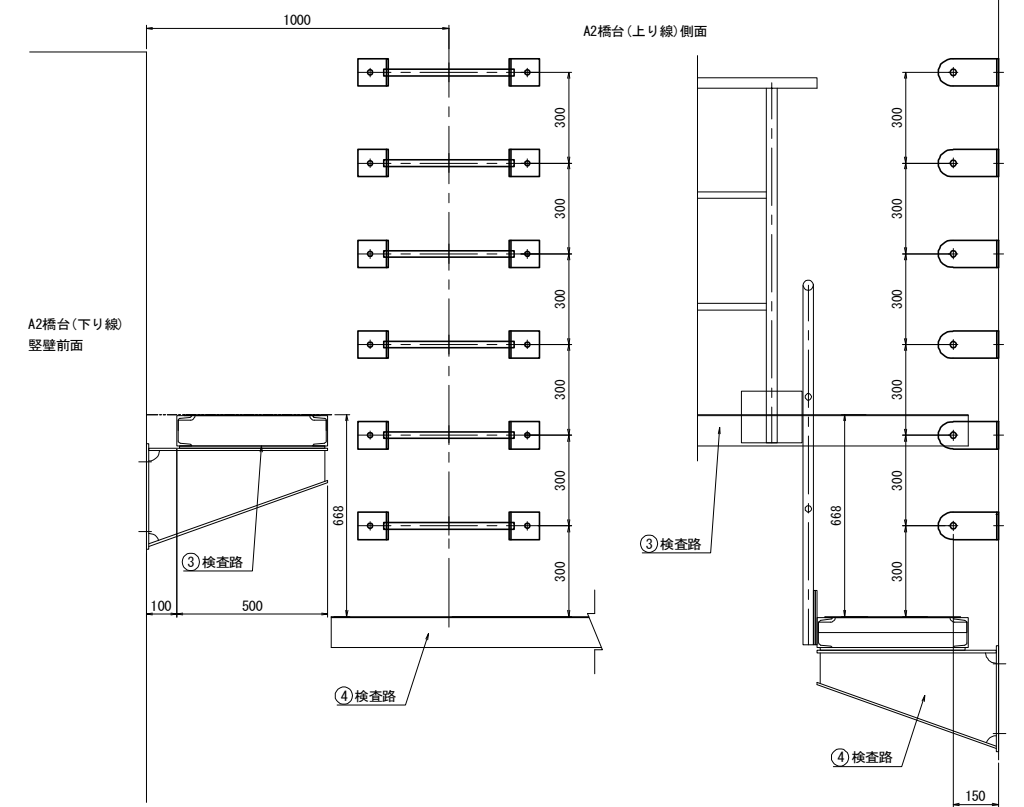
2-FB 90x6x300

2-ホールインアンカー M16x125

支前 梯子追加詳細 S=1:25  
 (2箇所)



③-④間 梯子詳細 S=1:25



製作数: n=6  
1-RB  $\phi 22 \times 430$   
2-FB  $90 \times 6 \times 300$   
2-ホールインアンカー M16 $\times$ 125

1-RB  $\phi 22 \times 430$

2-FB 90x6x300

2-ホールインアンカー M16x125

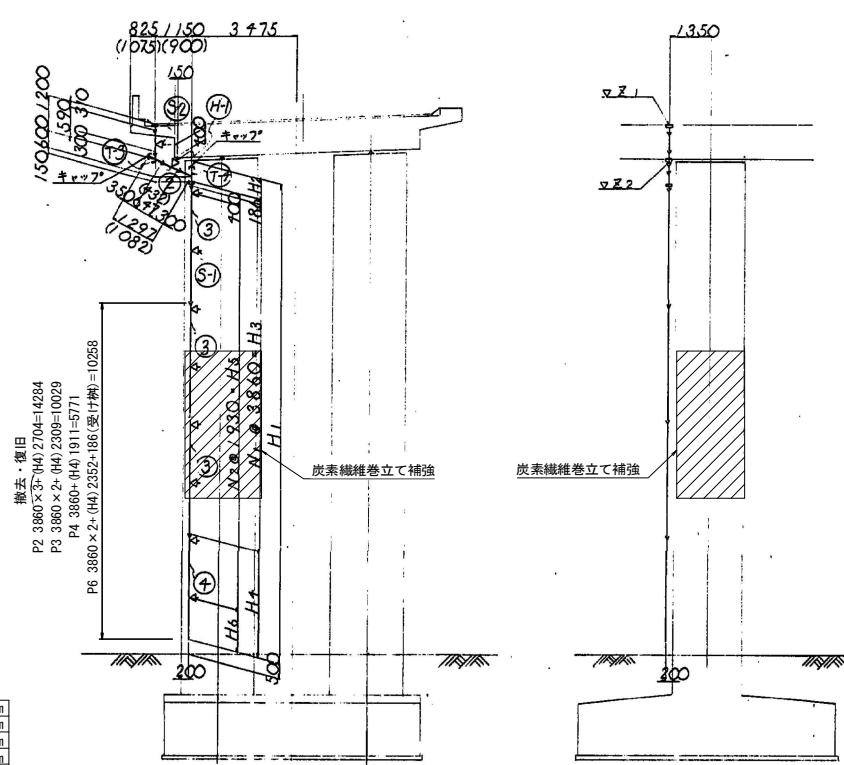
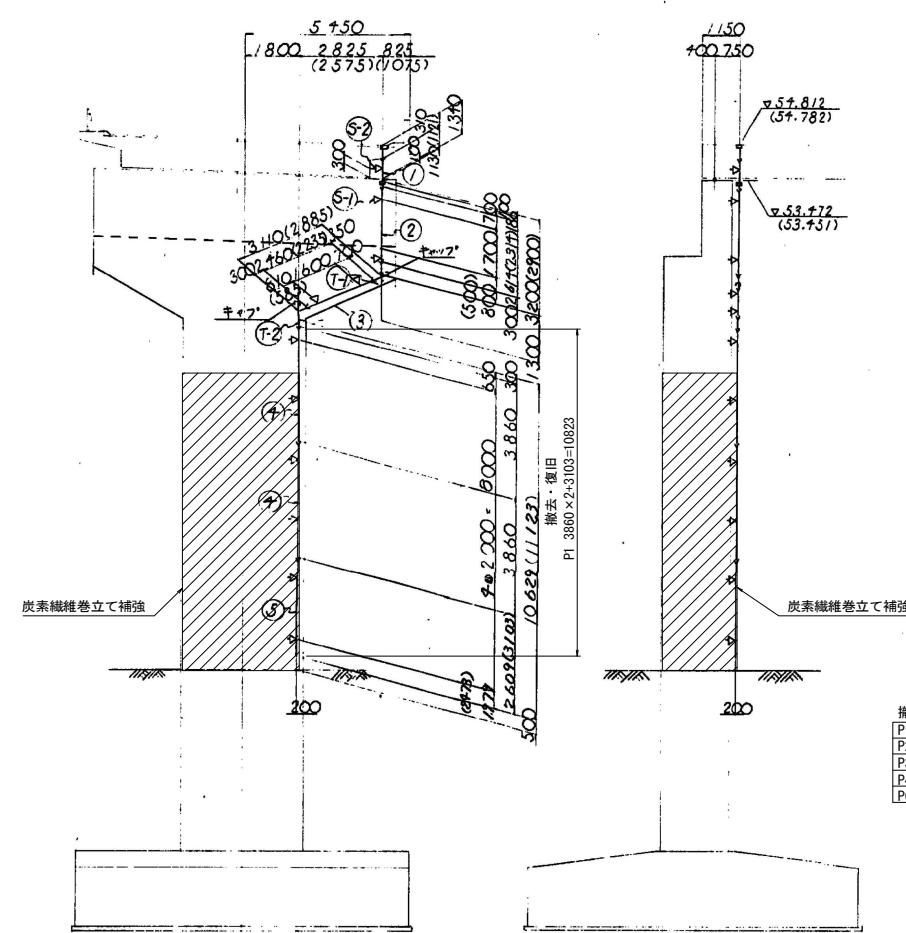
- 注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
  2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
  3. ボルト・ナットは緩止め機能のあるものを使用する。
  4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。  
亜鉛の膜厚は JIS H 8641 HDZ777とする。  
但し、厚さ 3.2mm未満の銅材及びボルト、ナット類は  
HDZT49とする。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	70/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

里根川橋(上り線) P1~P4、P6橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図 S=1:250

P<sub>1</sub> 下り線 (P<sub>1</sub>' 上り線)

P<sub>2</sub>~P<sub>6</sub> 下り線 (P<sub>2</sub>'~P<sub>6</sub>' 上り線)



撤去復旧延長

P1	10.823m
P2	14.284m
P3	10.029m
P4	5.771m
P6	10.258m

- ① 1-VP 150A × 590
- ② 1-VP 150A × 677 (+32)
- ③ 7-VP 150A × 1000
- ④ 1-VP 150A × 2

- ① 1-VP 150A × 1110 (+130)
- ② 1-VP 150A × 3054 (+2754)
- ③ 1-VP 150A × 2600 (+2375)
- ④ 2-VP 150A × 1000
- ⑤ 1-VP 150A × 2852 (+231)

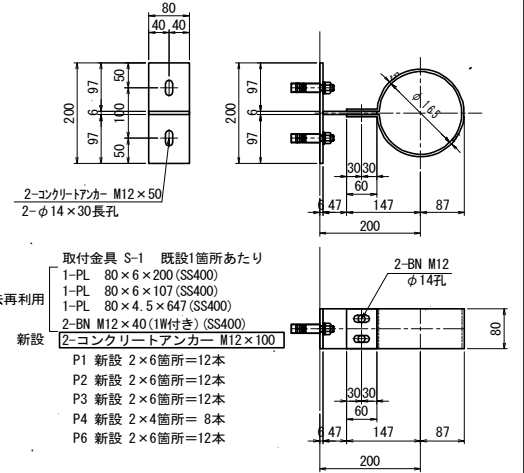
下り線

	P <sub>2</sub>	P <sub>3</sub>	P <sub>4</sub>	P <sub>5</sub>	P <sub>6</sub>
H <sub>1</sub>	15.163	14.264	14.384	13.307	12.311
H <sub>2</sub>	830	832	833	835	836
N <sub>1</sub>	3	3	3	3	2
H <sub>3</sub>	11.580	11.580	11.580	11.580	7.720
H <sub>4</sub>	2.567	2.166	1.785	2.06	3.569
N <sub>2</sub>	7	7	6	6	5
H <sub>5</sub>	13.510	13.510	11.580	11.580	9.650
H <sub>6</sub>	23	22	1.071	492	1.425
n	3	3	3	3	2
l	3.257	2.257	2.179	521	3.838
Σ <sub>1</sub>	54.973	55.173	55.395	55.637	55.902
Σ <sub>2</sub>	53.853	54.055	54.279	54.522	54.788

上り線

	P <sub>2</sub> '	P <sub>3</sub> '	P <sub>4</sub> '	P <sub>5</sub> '	P <sub>6</sub> '
H <sub>1</sub>	15.209	14.285	14.499	13.246	11.084
H <sub>2</sub>	819	820	822	824	826
N <sub>1</sub>	3	3	3	3	2
H <sub>3</sub>	11.580	11.580	11.580	11.580	7.720
H <sub>4</sub>	2.707	2.307	1.911	656	2.552
N <sub>2</sub>	7	6	6	6	5
H <sub>5</sub>	13.510	11.580	11.580	11.580	9.650
H <sub>6</sub>	56	2.095	1.697	442	2.08
n	3	3	3	3	2
l	3.520	2.113	2.129	1.761	2.877
Σ <sub>1</sub>	54.936	55.129	55.342	55.577	55.833
Σ <sub>2</sub>	53.805	53.999	54.214	54.451	54.709

取付金具 S-1 S=1:15

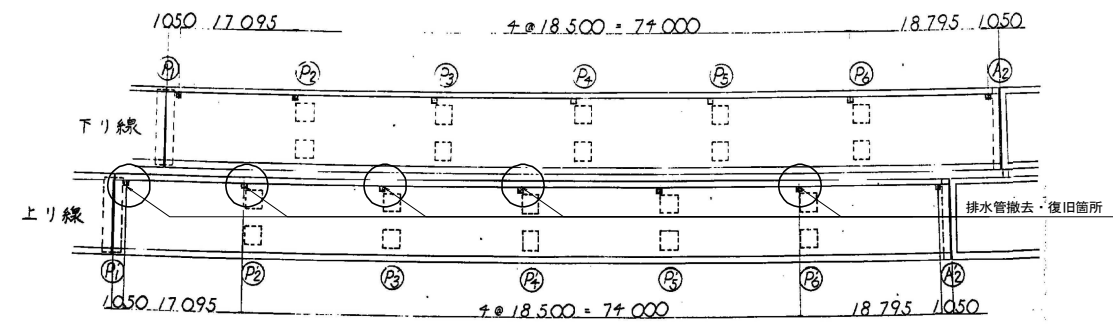


- 取付金具 S-1 既設1箇所あたり
- 1-PL 80×6×200 (SS400)
  - 1-PL 80×6×107 (SS400)
  - 1-PL 80×4.5×647 (SS400)
  - 2-BN M12×40 (1W付き) (SS400)
  - 2-コンクリートアンカー M12×100
- 新設
- P1 新設 2×6箇所=12本
  - P2 新設 2×6箇所=12本
  - P3 新設 2×6箇所=12本
  - P4 新設 2×4箇所= 8本
  - P6 新設 2×6箇所=12本
- 一時撤去再利用

材料表

名称	単位	P <sub>1</sub>	P <sub>2</sub>	P <sub>3</sub>	P <sub>4</sub>	P <sub>5</sub>	P <sub>6</sub>	A <sub>2</sub>	小計	P <sub>1</sub> '	P <sub>2</sub> '	P <sub>3</sub> '	P <sub>4</sub> '	P <sub>5</sub> '	P <sub>6</sub> '	A <sub>2</sub>	小計	合計	備考
排水桝	個	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	7	14	
チ-ス管	個	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	7	2	
受付桝	個	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	7	10	
サポート	個	10	8	8	7	7	6	5	52	10	8	7	7	6	5	4	79	101	
ハ-リ	個	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	7	14	
排水延長	m	10.839	16.512	16.111	15.730	14.651	13.654	11.008	106.005	17.948	16.432	16.057	15.659	14.404	12.240	8.270	101.030	207.035	

配置図



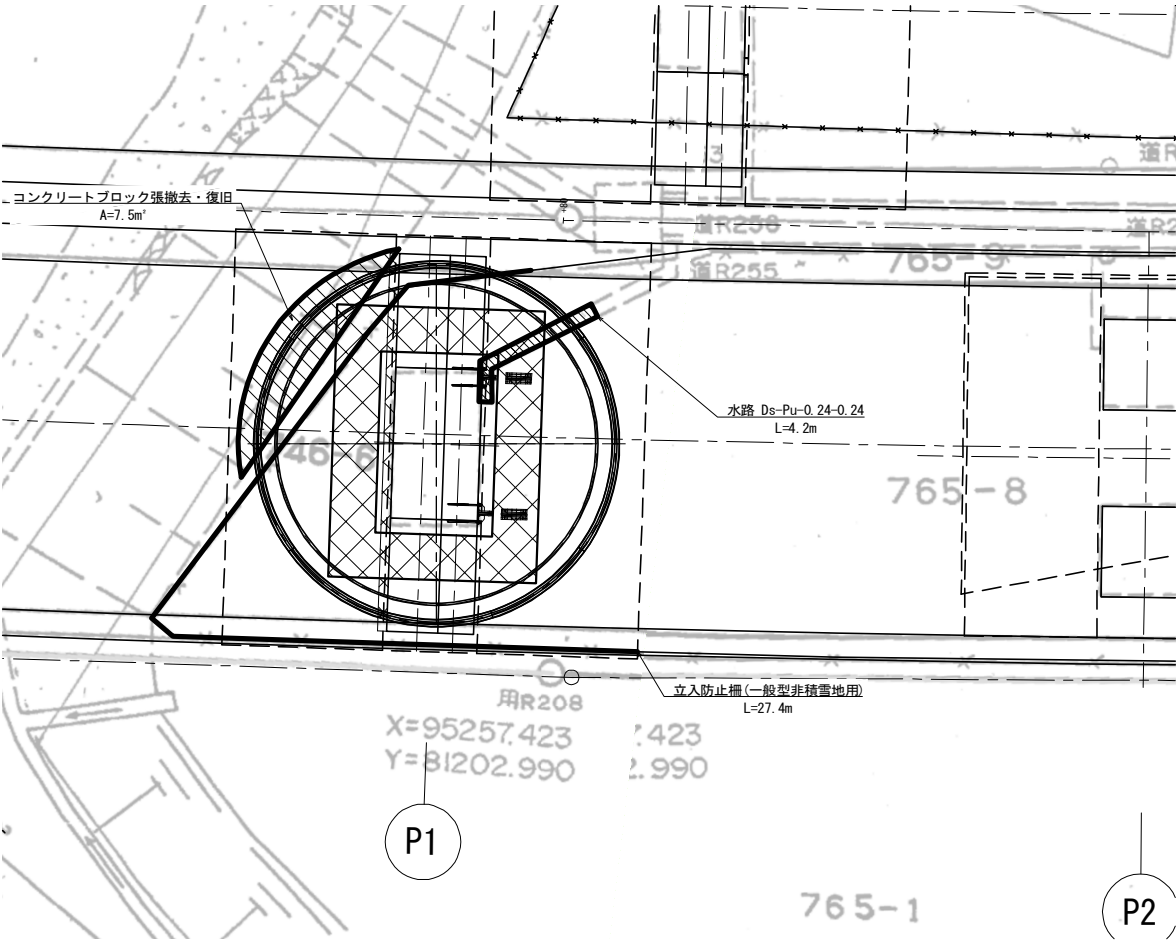
※完成図を基に作成している。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事	図面の種類	里根川橋(上り線) P1~P4、P6橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図
縮 尺	図示	図面番号 71/72
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社	
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社	
事務所名	水戸管理事務所	

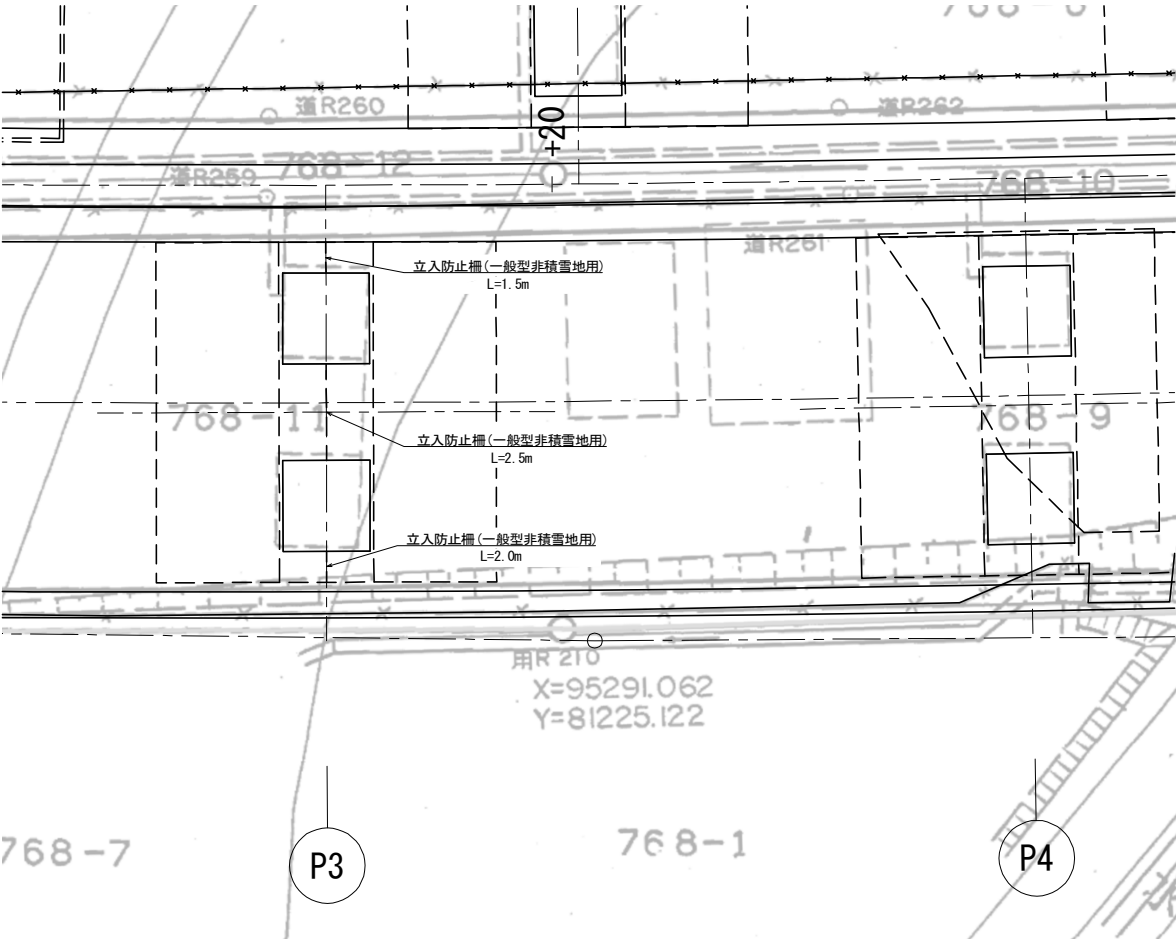
里根川橋(上り線) 撤去・再設置図  
P1・P3橋脚耐震補強施工時

凡 例	
	水路
	側溝
	立入防止柵 (一般型非積雪地用)
	張コンクリート

平面図 S=1:200



平面図 S=1:200



- 注記
- 水路（樋管）の設置深さは簡易計測による推定である。
  - 施工に際しては試掘を行い、樋管の管底を確認すること。
  - 構造物掘削が樋管の管底よりも低い場合は、施工余裕幅を狭めて施工しても良い。

常磐自動車道 関本高架橋耐震補強工事			
図面の種類	里根川橋(上り線) 撤去・再設置図		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	大日本ダイヤモンドコンサルタント株式会社		72/72
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		